

玄海原子力発電所

第 3 号機

点検計画

計画期間中における点検の実施状況等

(第 1 6 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備^{*1}（事後保全を実施する資機材等を除く）

② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備も含む

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{*2}の点検等）については、「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」に基づき策定している。なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備に記載している。

※2：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レギュレータ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記している。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」^{※3}又は「F」^{※3}により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「**「「」**」に**「「」**に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」^{※4}、「プラント運転中」^{※4}の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」^{※4}に実施することとしている。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第16保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるが、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/106
原子炉本体（原子炉容器）	1/106
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/106
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/106
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	2/106
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	2/106
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	6/106
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	13/106
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	17/106
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	22/106
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	28/106
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	35/106
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	36/106
計測制御系統施設（制御材）	36/106
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	36/106
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	37/106
計測制御系統施設（制御用空気設備）	39/106
計測制御系統施設（その他設備）	42/106
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	44/106
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	44/106
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	56/106
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	56/106
放射線管理施設（換気設備）	56/106
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	70/106
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	71/106
原子炉施設（その他設備）	75/106
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	78/106
蒸気タービン（調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	79/106
蒸気タービン（復水器）	81/106
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	81/106
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	83/106
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	91/106
その他発電用原子炉の附属施設（補助ボイラー）	92/106
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	94/106
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	100/106
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	101/106

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	103/106
火災防護設備（その他設備）	104/106
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	105/106
浸水防護設備（その他設備）	105/106
非常用取水設備（取水設備）	105/106
土木建築設備	105/106
プラント総合全般機器	106/106
竜巻防護設備	106/106
緊急時対策所	106/106

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/15
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/15
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	2/15
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	5/15
計測制御系統施設（計測装置）	6/15
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	7/15
計測制御系統施設（制御用空気設備）	7/15
計測制御系統施設（その他設備）	8/15
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	8/15
放射線管理施設（換気設備）	9/15
原子炉格納施設（圧力低減設備）	9/15
原子炉施設（その他設備）	10/15
非常用電源設備	10/15
緊急時対策所	15/15

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

別紙－1 クラス1機器、Ni基合金溶接部（供用期間中検査対象）

別紙－2 クラス2機器（供用期間中検査対象）

別紙－3 クラス2管（原子炉格納容器内）のうち

一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）

別紙－4 重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象）

別紙－5 重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象）

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	1.5	GN3-2 燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	1.5		※：炉心設計による
原子炉本体 (原子炉容器)	燃料集合体 193体	外観点検	高	1C	○	1.5	GN3-3 燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. ベーンホルボイスン 3. フラキングデハイス 4. 2次中性子線	外観点検	高	1C	○	1.5		
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-81 炉物理解検査 GN3-84 炉心炉心検査	定検起動後 定検起動後
	原子炉容器本体	開放点検	高	13M	○	1.5		
	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	1.5		一部プラント運転中
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		一部プラント運転中
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	1.5		
	燃料取替クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M	○	1.5		一部プラント運転中
	使用済燃料ピットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		一部プラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	1. 燃料移送装置 (リフティングフレーム) 2台 2. 燃料取替クレーン 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料取扱クレーン 2. 燃料取扱エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	GN3-75 燃料取扱装置機能検査	
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-95 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	
	1. 燃料取扱クレーン 2. 新燃料取扱エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	1.5		
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	1.5		
	燃料取替キャナル (原子炉格納容器内/燃料取扱棟内)	外観点検	高	1C	○	1.5		
	キャスクピット	外観点検	高	1C	○	1.5		
	新燃料貯蔵庫	外観点検	低	1C	○	1.5		
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料放置ラック	外観点検	低	1C	○	1.5	GN3-95 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等)	
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-202 使用済燃料貯蔵庫冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット含む
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵庫冷却浄化設備)	3 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検 (組入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2020年度		
	3 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	3 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検 (組入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
	分解点検		4Y	—	2020年度			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱用水設備)	3 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	3 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	3 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	○	2012年度		プラント運転中
	3 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	3 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	○	2012年度		プラント運転中
	3 A 使用済燃料ピット配管器	外観点検	低	1C	○	15		
	3 B 使用済燃料ピット配管器	外観点検	低	1C	○	15		
	3号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検 (油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2020年度		
	3号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
	3号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		駆動部点検		10Y	—	2015年度		
		分解点検		10Y	—	2015年度		
		機能・性能試験		10F	—	2015年度	03-85 1次系非検査	プラント運転中
		電動機分解点検		10Y	—	2015年度		
原子炉内相系統施設 (一次冷媒内の循環設備)	3V-SF-094 3号 S F P 配管水補給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	03-87 1次系逆止弁検査	
	3 A 燃料取扱用水ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	○	2021年度		プラント運転中 (振動診断; 切替後)
		分解点検		4Y	—	2020年度		
	3 A 燃料取扱用水ポンプ	機能・性能試験		4F	—	2020年度	03-84 1次系ポンプ機能検査	
		分解点検		4Y	—	2020年度		プラント運転中 (振動診断; 切替後)
	3 B 燃料取扱用水ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	○	2021年度		プラント運転中 (振動診断; 切替後)
		分解点検		4Y	—	2021年度		
	3 B 燃料取扱用水ポンプ	機能・性能試験		4F	—	2021年度	03-84 1次系ポンプ機能検査	
		分解点検		4Y	—	2021年度		プラント運転中 (振動診断; 切替後)
	3号 燃料取扱用水タンク	開放点検	高	130M	—	13		
	3号 燃料取扱用水補助タンク	開放点検	低	130M	—	13		
	3 A 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上下水洗含む)	高	13M	○	15		
	3 B 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上下水洗含む)	高	13M	○	15		
	3 C 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上下水洗含む)	高	13M	○	15		
	3 D 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上下水洗含む)	高	13M	○	15		
3 A 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	20M	—	15	03-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
3 B 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	20M	○	14	03-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
3 C 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	20M	○	14	03-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3 D 蒸気発生器伝熱管 3, 352本		非破壊試験	高	20M	—	1.5	GN3-6 蒸気発生器伝熱管本体損傷検査	
		分解点検	高	10年間	—	1.2		一部プラント運転中
3 A 1次冷却材ポンプ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
3 A 1次冷却材ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検	高	10年間	○	8		一部プラント運転中
3 B 1次冷却材ポンプ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
3 B 1次冷却材ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	—	1.3		
		分解点検	高	10年間	—	1.4		一部プラント運転中
3 C 1次冷却材ポンプ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
3 C 1次冷却材ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	—	1.4		
		分解点検	高	10年間	—	1.5		一部プラント運転中
3 D 1次冷却材ポンプ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
3 D 1次冷却材ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	—	1.5		
		分解点検	高	10年間	—	1.4		一部プラント運転中
3 A 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	20M	○	1.4	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
3 B 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	20M	○	1.4	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
3 C 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	20M	○	1.4	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
3 D 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	20M	○	1.5	GN3-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		開放点検	高	13M	○	1.5		
加圧器本体		非破壊試験	高	78M	—	1.2	GN3-110 炉内計装用シンブルチューブ体損傷検査	
		分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-10 加圧器安全弁分解検査	
3V-RC-055 3号 加圧器安全弁A		漏えい試験	高	1C	○	1.5	GN3-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-8 加圧器安全弁機能検査	
3V-RC-056 3号 加圧器安全弁B		分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験	高	1C	○	1.5	GN3-9 加圧器安全弁漏えい検査	
3V-RC-057 3号 加圧器安全弁C		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-8 加圧器安全弁機能検査	
		分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験	高	1C	○	1.5	GN3-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-8 加圧器安全弁機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術	
3PCV-452A 3号 加圧器速がし弁A		駆動部点検	高	52M	—	1.3	GN3-13 加圧器速がし弁分解検査		
		分解点検		13M	○	1.5			
		漏えい試験		1C	○	1.5			GN3-12 加圧器速がし弁漏えい検査
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-11 加圧器速がし弁機能検査
3PCV-452B 3号 加圧器速がし弁B		駆動部点検	高	52M	—	1.3	GN3-13 加圧器速がし弁分解検査		
		分解点検		13M	○	1.5			
		漏えい試験		1C	○	1.5			GN3-12 加圧器速がし弁漏えい検査
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-11 加圧器速がし弁機能検査
3V-RC-051A 3号 加圧器速がし弁A元弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5	GN3-14 加圧器速がし弁元弁機能検査		
		分解点検		130M	—	1.5			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			
		電動機分解点検		130M	—	1.5			
3V-RC-051B 3号 加圧器速がし弁B元弁		駆動部点検	高	130M	○	1.3			
		分解点検		130M	○	6			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-14 加圧器速がし弁元弁機能検査
		電動機分解点検		130M	○	6			
3PCV-451A 3号 加圧器スブレイ弁A		駆動部点検	高	26M	—	1.5			
		分解点検		26M	—	1.5			
		機能・性能試験		2C	—	1.5			GN3-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		26M	○	1.4			
3PCV-451B 3号 加圧器スブレイ弁B		駆動部点検	高	26M	○	1.4			
		分解点検		26M	○	1.4			
		機能・性能試験		2C	○	1.4			GN3-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		26M	○	1.4			
3V-RC-017 3号 抽出ライン元弁		分解点検	高	65M	—	1.5			
		分解点検	高	39M	○	1.3			
		分解点検	高	39M	—	1.4			
		分解点検	高	39M	—	1.5			
3V-RC-019A 3号 Aグループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	○	1.3			
		分解点検	高	39M	—	1.4			
		分解点検	高	39M	—	1.5			
		分解点検	高	39M	○	1.3			
3V-RC-077 3号 PRT自動ガス分岐ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1.4			
		分解点検	高	130M	—	1.4			
		駆動部点検	高	130M	—	1.1			
		分解点検	高	130M	—	1.1			
3V-RC-078 3号 PRT自動ガス分岐ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6			
		分解点検	高	130M	○	6			
		駆動部点検	高	130M	○	6			
		分解点検	高	130M	○	6			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-BC-005 3号PRT冷却水ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検						
3V-BC-088 3号PRTネライン逆止弁		駆動部点検	低	130M	—	1.0		
		機能・性能試験						
加圧器比例ヒータ 1式		機能・性能試験	低	1C	○	1.5		
		機能・性能試験						
加圧器後備ヒータ 1式		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
		機能・性能試験						
3V-DB-101A 3A SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検						
3V-DB-101B 3B SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検						
3V-DB-101C 3C SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検						
3V-DB-101D 3D SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検						
3V-DB-016A 3A S/Gサンフルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検						
3V-DB-016B 3B S/Gサンフルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検						
3V-DB-016C 3C S/Gサンフルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検						
3V-DB-016D 3D S/Gサンフルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検						
3V-DB-039 3号SGBDモニタ出口速がし弁		漏えい試験	低	10C	—	9		
		機能・性能試験						
3V-DB-103A 3A SGBD止弁		駆動部点検	高	65M	—	1.4		
		分解点検						
3V-DB-103B 3B SGBD止弁		駆動部点検	高	65M	—	1.4		
		分解点検						
3V-DB-103C 3C SGBD止弁		駆動部点検	高	65M	—	1.4		
		分解点検						
3V-DB-103D 3D SGBD止弁		駆動部点検	高	65M	—	1.4		
		分解点検						
3V-DB-117 3号BDDドレンライン逆止弁		駆動部点検	低	130M	—	9		
		分解点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	3PCV-3610 3 A 主蒸気速がし弁	駆動部点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検		13M	○	1 5		
		漏えい試験		1C	○	1 5	GN3-28 主蒸気速がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-27 主蒸気速がし弁機能検査 GN3-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
3PCV-3620 3 B 主蒸気速がし弁	駆動部点検	高	26M	—	1 5			
	分解点検		13M	○	1 5			
	漏えい試験		1C	○	1 5	GN3-28 主蒸気速がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-27 主蒸気速がし弁機能検査 GN3-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
3PCV-3630 3 C 主蒸気速がし弁	駆動部点検	高	26M	○	1 4			
	分解点検		13M	○	1 5			
	漏えい試験		1C	○	1 5	GN3-28 主蒸気速がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-27 主蒸気速がし弁機能検査 GN3-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
3PCV-3640 3 D 主蒸気速がし弁	駆動部点検	高	26M	—	1 5			
	分解点検		13M	○	1 5			
	漏えい試験		1C	○	1 5	GN3-28 主蒸気速がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-27 主蒸気速がし弁機能検査 GN3-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
3PCV-3615 3 A 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検 (オフライン・オフ取替)	高	26M	—	1 5			
	駆動部点検		52M	○	1 2			
	分解点検		130M	—	1 1	GN3-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	1 1			
3PCV-3625 3 B 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検 (オフライン・オフ取替)	高	26M	—	1 5			
	駆動部点検		52M	—	1 4			
	分解点検		130M	○	6	GN3-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	○	6			
3PCV-3635 3 C 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検 (オフライン・オフ取替)	高	26M	—	1 5			
	駆動部点検		52M	—	1 5			
	分解点検		130M	—	1 3	GN3-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	1 3			
3PCV-3645 3 D 主蒸気隔離弁バイパス弁	簡易点検 (オフライン・オフ取替)	高	26M	○	1 4			
	駆動部点検		52M	○	1 2			
	分解点検		130M	—	1 4	GN3-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	1 4			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3V-MS-523A 3 A 主蒸気運転がし弁元弁		簡易点検 (フラットパネ取替)	高	65M	—	1.5		
		駆動部点検		65M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	GN-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3V-MS-523B 3 B 主蒸気運転がし弁元弁		簡易点検 (フラットパネ取替)	高	65M	—	1.3		
		駆動部点検		65M	—	1.2		
		分解点検		130M	—	1.2		
		機能・性能試験		10C	—	1.2	GN-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.2		
3V-MS-523C 3 C 主蒸気運転がし弁元弁		簡易点検 (フラットパネ取替)	高	65M	—	1.3		
		駆動部点検		65M	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.3		
		機能・性能試験		10C	—	1.3	GN-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.3		
3V-MS-523D 3 D 主蒸気運転がし弁元弁		簡易点検 (フラットパネ取替)	高	65M	—	1.4		
		駆動部点検		65M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	GN-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		
3V-MS-526A 3 A 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5		
		漏えい試験		2C	—	1.5	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	1.5		
		漏えい試験		2C	—	1.5	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
3V-MS-526B 3 B 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
		機能・性能試験		26M	○	1.4		
		分解点検		2C	○	1.4	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		26M	○	1.4		
3V-MS-526C 3 C 1 主蒸気安全弁		分解点検	高	2C	○	1.4	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		26M	○	1.4		
		分解点検		2C	○	1.4	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁漏えい検査	
3V-MS-526D 3 D 1 主蒸気安全弁		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	1.4		
		漏えい試験		2C	○	1.4	GN-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1.5	GN-25 主蒸気安全弁漏えい検査	
		分解点検		26M	○	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-MS-527A 3 A 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-527B 3 B 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-527C 3 C 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	1.4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-527D 3 D 2 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	1.4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-528A 3 A 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-528B 3 B 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-528C 3 C 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	1.4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-528D 3 D 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	1.4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-529A 3 A 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-529B 3 B 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	1.5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-MS-529C 3 C 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	1.4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		漏えい試験		2C	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-MS-520D 3 D 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	20M	○	1 4		
		漏えい試験		2C	○	1 4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-25 主蒸気安全弁機能検査	
3V-MS-530A 3 A 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	20M	—	1 5		
		漏えい試験		2C	—	1 5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-25 主蒸気安全弁機能検査	
3V-MS-530B 3 B 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	20M	—	1 5		
		漏えい試験		2C	—	1 5	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-25 主蒸気安全弁機能検査	
3V-MS-530C 3 C 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	20M	○	1 4		
		漏えい試験		2C	○	1 4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-25 主蒸気安全弁機能検査	
3V-MS-530D 3 D 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	20M	○	1 4		
		漏えい試験		2C	○	1 4	GN3-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-25 主蒸気安全弁機能検査	
3V-MS-533A 3 A 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1 3		
		分解点検		20M	—	1 5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-533B 3 B 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1 3		
		分解点検		20M	—	1 5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-533C 3 C 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		分解点検		20M	—	1 5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-533D 3 D 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		分解点検		20M	○	1 4	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-536A 3 A 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		分解点検		20M	○	1 4	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-536B 3 B 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		分解点検		20M	○	1 4	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 5	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-536C 3 C 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	52M	—	1 5		
		分解点検		20M	—	1 5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 4	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	
3V-MS-536D 3 D 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	20M	○	1 4		
		分解点検		20M	—	1 5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	1 4	GN3-29 主蒸気隔離弁機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-MS-570A 3号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁A		駆動部点検	高	65M	○	1.1		
		分解点検		130M	—	1.3		
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
3V-MS-570B 3号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁B		駆動部点検	高	65M	○	1.1		
		分解点検		130M	—	1.3		
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
3V-MS-575A 3号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁A		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)	高	65M	—	1.5		
		駆動部点検		65M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-MS-575B 3号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁B		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)	高	65M	—	1.5		
		駆動部点検		65M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3V-MS-576A 3号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁A		分解点検	高	39M	○	1.3		
		分解点検	高	39M	○	1.3		
		駆動部点検	高	65M	—	1.4		
分解点検	130M	—		1.4				
機能・性能試験	10C	—		1.2	GN3-85 1次系弁検査			
3V-MS-585A 3号 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		電動機分解点検	高	130M	—	1.2		
		駆動部点検		65M	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.3		
3V-MS-585B 3号 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		機能・性能試験	高	10C	—	1.3		
		電動機分解点検		130M	—	1.3		
		駆動部点検		65M	—	1.4		
3V-MS-585C 3号 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		分解点検	高	130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
3V-MS-585D 3 D 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	1.5			
		分解点検		130M	—	1.5			
		機能・性能試験		10C	—	1.5			GN3-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	1.5			
3TCV-500A 3 A タービンバイパス弁		駆動部点検	低	26M	○	1.4			
		分解点検		13M	○	1.5			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
		電動機分解点検		26M	○	1.4			
3TCV-500B 3 B タービンバイパス弁		駆動部点検	低	13M	○	1.5			
		分解点検		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
		機能・性能試験		39M	○	1.3			
		電動機分解点検		39M	○	1.3			
3TCV-500C 3 C タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	1.3			
		簡易点検 (フラットヘッド取替)		39M	○	1.3			
		分解点検		65M	○	1.1			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
3TCV-500D 3 D タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	1.3			
		簡易点検 (フラットヘッド取替)		39M	○	1.3			
		分解点検		65M	○	1.1			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
3TCV-500E 3 E タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.4			
		簡易点検 (フラットヘッド取替)		39M	—	1.4			
		分解点検		65M	—	1.2			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
3TCV-500F 3 F タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.4			
		簡易点検 (フラットヘッド取替)		39M	—	1.4			
		分解点検		65M	—	1.2			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査
3TCV-500G 3 G タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.5			
		簡易点検 (フラットヘッド取替)		39M	—	1.5			
		分解点検		65M	—	1.3			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-62 タービン弁弁ス非機能検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
3TCV-500H 3 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.5		
		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)		39M	—	1.5		
		分解点検		65M	—	1.3		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3TCV-500J 3 J タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	1.4		
		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)		39M	○	1.4		
		分解点検		65M	—	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3TCV-500K 3 K タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	1.4		
		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)		39M	○	1.4		
		分解点検		65M	—	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3TCV-500L 3 L タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.5		
		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)		39M	—	1.5		
		分解点検		65M	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3TCV-500M 3 M タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	1.5		
		簡易点検 (ドラフト・ネジ取替)		39M	—	1.5		
		分解点検		65M	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3RCV-460 3 A 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	1.5		
		分解点検	13M	○	1.5			
3RCV-470 3 B 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	1.5		
		分解点検	13M	○	1.5			
3RCV-480 3 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	1.5		
		分解点検	13M	○	1.5			
3RCV-490 3 D 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	1.5		
		分解点検	13M	○	1.5			
3RCV-461 3 A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	1.5		
		分解点検	52M	—	1.5			
3RCV-471 3 B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	1.3		
		分解点検	52M	—	1.3			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉炉身系統施設 (余熱除去設備)	3CV-481 3 C 主給水パイパス制御弁	駆動部点検	高	52M	—	1.5			
		分解点検		52M	—	1.5			
	3RCV-491 3 D 主給水パイパス制御弁	駆動部点検	高	52M	○	1.2			
		分解点検		52M	○	1.3			
	3V-FW-520A 3 A 主給水隔離弁	簡易点検 (OTランドハネ/取替)	高	52M	○	1.3			
		駆動部点検		130M	—	1.3			
		分解点検		130M	—	1.3	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	1.3			
	3V-FW-520B 3 B 主給水隔離弁	簡易点検 (OTランドハネ/取替)	高	52M	—	1.5			
		駆動部点検		130M	—	1.5			
		分解点検		130M	—	1.5	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	1.1			
3V-FW-520C 3 C 主給水隔離弁	簡易点検 (OTランドハネ/取替)	高	52M	—	1.4				
	駆動部点検		130M	—	1.4				
	分解点検		130M	—	1.4	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	電動機分解点検		130M	—	1.4				
3V-FW-520D 3 D 主給水隔離弁	簡易点検 (OTランドハネ/取替)	高	52M	○	1.2				
	駆動部点検		130M	○	1.3				
	分解点検		130M	○	6	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	電動機分解点検		130M	○	6				
3 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	1.3				
	開放点検		130M	—	1.3				
3 B 余熱除去冷却器	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		52M	○	1.3	GN3-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査			
3 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		52M	—	1.3				
3 B 余熱除去ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		52M	—	1.5	GN3-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査			
3 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		52M	○	1.3				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 する 設 備 診 断 技 術
3RCV-601 3 A 余熱除去ポンプミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検			—	8		
		機能・性能試験			—	8	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	8		
3RCV-603 3 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	1.3		
		分解点検			—	1.4		
		機能・性能試験			—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	1.4		
3RCV-604 3 A 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検			—	1.4		
		機能・性能試験			—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	1.4		
3RCV-611 3 B 余熱除去ポンプミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
		機能・性能試験			—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	1.4		
3RCV-613 3 B 余熱除去冷却器出口流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検			—	1.4		
		機能・性能試験			—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	1.4		
3RCV-614 3 B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検			—	1.4		
		機能・性能試験			—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	1.4		
3RCV-420 3 A 余熱除去ラインBグループ高温側出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1.1		
		分解点検			—	—	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験			—	1.1		
		電動機分解点検			—	1.1		
3RCV-420 3 B 余熱除去ラインCグループ高温側出口弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検			—	—	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験			—	9		
		電動機分解点検			—	8		
3V-RH-002A 3 A 余熱除去ポンプ入口内漏継弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検			—	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験			—	1.5		
		電動機分解点検			—	1.5		
		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検			—	—		
		機能・性能試験			—	—		
		電動機分解点検			—	—		

第1.3回定検で弁本体取替

第1.3回定検で弁本体取替

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
3V-RH-002B 3 B 余熱除去ポンプ入口内漏離弁		駆動部点検	高	130M	○	7			
		分解点検		130M	—	13			GN3-85 1次系弁検査
		機能・性能試験		10C	—	13			
		電動機分解点検		130M	○	6			
3V-RH-004A 3 A 余熱除去ポンプ入口遮がし弁		分解点検	高	130M	—	13			
		漏えい試験		10C	—	13			GN3-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	13			
		電動機分解点検		130M	○	13			
3V-RH-004B 3 B 余熱除去ポンプ入口遮がし弁		分解点検	高	130M	○	13			
		漏えい試験		10C	○	13			GN3-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	○	13			
		駆動部点検		130M	—	—			第13回定検より追加
3V-RH-005A 3 A 余熱除去ポンプ入口弁		分解点検	高	130M	—	—			
		駆動部点検		130M	—	—			第13回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—			第13回定検より追加
		分解点検		130M	—	—			第13回定検より追加
3V-RH-012A 3 A 余熱除去ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	13			
		駆動部点検		130M	—	14			
		電動機分解点検		130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
3V-RH-018A 3 A 余熱除去ポンプRWS T側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
		駆動部点検		130M	○	6			
3V-RH-018B 3 B 余熱除去ポンプRWS T側入口弁		分解点検	高	130M	○	6			
		電動機分解点検		130M	○	6			
		駆動部点検		130M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
3V-RH-026A 3 A 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		機能・性能試験	高	10C	—	15			
		電動機分解点検		130M	—	15			GN3-85 1次系弁検査
		駆動部点検		130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
3V-RH-026B 3 B 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		機能・性能試験	高	10C	—	14			
		電動機分解点検		130M	—	14			GN3-85 1次系弁検査
		駆動部点検		130M	—	15			
		分解点検		130M	—	15			
3V-RH-042A 3 A 余熱除去冷却器出口遮がし弁		分解点検	低	130M	—	15			
		漏えい試験		10C	—	15			GN3-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	15			
		電動機分解点検		130M	—	15			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-RH-042B 3 B 余熱除去冷却器出口逆止弁		分解点検	低	130M	—	1 3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 3		
		機能・性能試験		10C	—	1 3		
3V-RH-043A 3 A 余熱除去冷却器出口外圍離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-RH-043B 3 B 余熱除去冷却器出口外圍離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		
		機能・性能試験		10C	—	1 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 4		
3V-RH-045A 3 A 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2		
		分解点検		130M	—	1 3		
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-RH-047A 3 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 A		電動機分解点検	高	130M	—	1 5		
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
3V-RH-047B 3 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 B		駆動部点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 4		
		駆動部点検		130M	—	1 2		
3V-RH-048A 3 A 余熱除去ラインBグループ高温側入口弁		分解点検	高	130M	—	1 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
		駆動部点検		130M	—	1 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-RH-048B 3 B 余熱除去ラインCグループ高温側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	9		
3V-RH-050A 3号 余熱除去ラインAグループ低温側入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 3	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	1 0		
3V-RH-050B 3号 余熱除去ラインBグループ低温側入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 2		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 4		
3V-RH-051A 3号 余熱除去ラインBグループ高温側入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 3	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 4		
3V-RH-071 3号AM用代替再循環ポンプ出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 4	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	3V-RH-072 3号 AM用代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	3V-RH-073 3号 AM用代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検	高	130M	—	1.4		
	3号 AM用代替再循環ポンプ	電動機簡易点検	高	1C	○	1.5		
		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-16 非常用炉心冷却系機能検査	
	3 A 高圧注入ポンプ	簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検 (生・加圧→4設群)		52M	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		104M	—	1.4	GN3-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	3 A 高圧注入ポンプ用電動機	分解点検	高	78M	—	1.3		(振動診断: 1ヶ月)
		簡易点検 (組入替他)	高	13M	○	1.5		
	分解点検 (生・加圧→4設群)	52M		—	1.5		(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検	104M		—	1.5	GN3-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	3 B 高圧注入ポンプ用電動機	分解点検	高	78M	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A 蓄圧タンク	開放点検	高	130M	—	1.3		
		開放点検	高	130M	—	1.3		
	3 C 蓄圧タンク	開放点検	高	130M	—	1.4		
開放点検		高	130M	—	1.3			
3 A 格納容器再循環サンブ	外観点検	高	1C	○	1.5			
	外観点検	高	1C	○	1.5			
3 A 格納容器再循環サンブスクリーン	外観点検	高	1C	○	1.5			
	外観点検	高	1C	○	1.5			
3V-SI-002A 3 A 安全注入系ポンプRWS T側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	1.1			
	分解点検		130M	—	1.4			
	電動機分解点検		130M	—	1.1			
3V-SI-003B 3 B 安全注入系ポンプRWS T側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	1.1			
	分解点検		130M	—	1.4			
	電動機分解点検		130M	—	1.1			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-S1-00A 3 A 安全注入系ポンプ入口逆がし弁		分解点検	高	130M	—	1 5	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
3V-S1-00B 3 B 安全注入系ポンプ入口逆がし弁		分解点検	高	130M	—	1 3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 3		
		機能・性能試験		10C	—	1 3		
3V-S1-01A 3 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 4		
3V-S1-01B 3 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-01A 3 A 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	1 1		
		分解点検		130M	—	1 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 1		
3V-S1-01B 3 B 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	1 2		第 1.3 回定検で弁本体取替
		分解点検		130M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-S1-01A 3 A 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	1 1		
		分解点検		130M	—	1 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 1		
3V-S1-01B 3 B 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	1 2		
		分解点検		130M	—	1 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-S1-02A 3 A 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	1 1	GN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 1		
3V-S1-02B 3 B 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	1 2	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-S1-062A 3 A 高圧注入ライン外漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 1		
		分解点検		130M	—	1 1		
		機能・性能試験		10C	—	GN2-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	1 1		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-S1-062B 3 B 高圧注入ライン外圍離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 2	G3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 2		
		機能・性能試験		10C	—	1 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-S1-064A 3 A 高圧注入ライン隔離逆止弁		分解点検	高	195M	—	—	第1.6回定検より追加	
		分解点検	高	195M	—	—		
3V-S1-064B 3 B 高圧注入ライン隔離逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 4		
		駆動部点検		130M	—	1 3		
3V-S1-066A 3 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁 A		駆動部点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4		
		電動機分解点検		130M	—	1 4		
		駆動部点検		130M	—	1 3		
3V-S1-066B 3 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁 B		分解点検	高	130M	—	1 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 3		
		駆動部点検		130M	—	1 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 3		
3V-S1-067A 3号 A Bグループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
		駆動部点検		130M	—	7		
3V-S1-067B 3号 C Dグループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
		駆動部点検		130M	—	8		
3V-S1-072A 3号 Aグループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 5	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-072B 3号 Bグループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-072C 3号 Cグループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 5	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-072D 3号 Dグループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 5	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-079A 3号 Aグループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-079B 3号 Bグループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-079C 3号 Cグループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-079D 3号 Dグループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-082A 3号 Aグループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-082B 3号 Bグループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-082C 3号 Cグループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-S1-082D 3号 Dグループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 2	G3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 G3-204 その他原子炉注水水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-093A 3 A C/V再循環サンフ外圍離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-S1-093B 3 B C/V再循環サンプル外漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 0		
		分解点検		130M	—	1 0		
		電動機分解点検		130M	—	1 0		
3V-S1-095A 3 A 安全注入系ポンプC/V再循環サンプル側入口逆止弁 3V-S1-096B 3 B 安全注入系ポンプC/V再循環サンプル側入口逆止弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	—	1 2		
		分解点検		130M	—	1 2	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
3V-S1-132A 3 A 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	—	1 2		
		駆動部点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
3V-S1-132B 3 B 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	—	1 3		
		駆動部点検		130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	1 3		
3V-S1-132C 3 C 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1 4		
		分解点検		130M	—	1 4	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 4		
3V-S1-132D 3 D 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
3V-S1-133A 3 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	10C	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		130M	—	7	GN-85 1次系弁検査	
3V-S1-133B 3 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN-85 1次系弁検査	
3V-S1-133C 3 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GN-85 1次系弁検査	
3V-S1-133D 3 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	1 0		
		分解点検		130M	—	1 0		
		機能・性能試験		10C	—	1 0	GN-85 1次系弁検査	
3V-S1-134A 3 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁 3V-S1-134B 3 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 3	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	1 5	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	7	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
3V-S1-134C 3 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁 3V-S1-134D 3 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	9	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	9	GN-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-S1-135A 3 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		
3V-S1-135B 3 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
3V-S1-135C 3 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9		
3V-S1-135D 3 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
		機能・性能試験		10C	—	1.0		
3V-S1-136A 3 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	1.3	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	1.3	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
3V-S1-136B 3 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	1.3	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
3V-S1-143 3号安全注入系逆止弁テストライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検	高	130M	○	6		
		駆動部点検	高	130M	○	6		
3V-S1-144 3号安全注入系逆止弁テストライン外隔離弁		分解点検	高	130M	○	6		
		駆動部点検	高	130M	—	1.2		
		分解点検	高	130M	—	1.2		
3V-S1-154 3号蓄圧タンク補給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検	高	65M	—	1.2		
		分解点検	高	130M	—	1.3		
3V-S1-165 3号蓄圧タンク蒸気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	低	10C	—	1.3		
		分解点検	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験	10C	—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査		
3V-S1-169 3号蓄圧タンク蒸気供給ライン安全弁		駆動部点検	低	130M	—	1.3		
		分解点検	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験	10C	—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査		
3V-S1-172A 3 A 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	1.3		
		補えい試験	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験	低	10C	—	1.3		
3V-S1-172B 3 B 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	1.3		
		補えい試験	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験	低	10C	—	1.3		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保令方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却システム施設 (化学体積削減設備)	3V-S1-172C 3 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	1 3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 3		
		機能・性能試験		10C	—	1 3		
	3V-S1-172D 3 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	1 3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 3		
		機能・性能試験		10C	—	1 3		
	3 A 充てんポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断；切替症)
		分解点検		39M	—	1 5		
		機能・性能試験		1C	○	1 5		
	3 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断；切替症)
		分解点検		52M	—	1 4		
		機能・性能試験		13M	○	1 5		
3 B 充てんポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断；切替症)	
	分解点検		39M	○	1 3			
	機能・性能試験		1C	○	1 5			
3 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断；切替症)	
	分解点検		52M	—	1 5			
	機能・性能試験		13M	○	1 5			
3 C 充てんポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断；切替症)	
	分解点検		39M	—	1 4			
	機能・性能試験		1C	○	1 5			
3 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1 5	0N3-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断；切替症)	
	分解点検		52M	○	1 3			
	機能・性能試験		130M	—	1 3			
3号 体積削減タンク	開放点検	高	130M	—	1 3			
3号 非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	1 3			
3号 余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M	—	1 4			
3号 再生熱交換器	外観点検	高	1C	○	1 5			
3号 封水冷却器	開放点検	高	130M	—	1 3			
3号 冷却材フィルタ	開放点検	高	26M	○	1 4			
3 A 冷却材懸濁物入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	1 4			
3 B 冷却材懸濁物入口フィルタ	開放点検	高	39M	○	1 3			
3 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	○	1 3			
3 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	1 4			
3号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M	—	1 4			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	3 A 冷却材液相式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	3 B 冷却材液相式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	3号 冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
3RCV-138 3号 充てんライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	—	1.3		
	分解点検	高	13M	○	○	1.5		
	機能・性能試験	高	1C	○	○	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-140 3号 封水注入ライン流量制御弁	駆動部点検	高	52M	—	—	1.3		
	分解点検	高	13M	○	○	1.5		
	機能・性能試験	高	1C	○	○	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-190 3号 余剰抽出流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	—	7		
	分解点検	高	130M	—	—	7		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-451 3号 抽出ライン第一止弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.2		
	分解点検	高	39M	—	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
	機能・性能試験	高	3C	—	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-452 3号 抽出ライン第二止弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.2		
	分解点検	高	39M	—	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
	機能・性能試験	高	3C	—	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-104 3号 抽出ライン圧力制御弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.3		
	分解点検	高	13M	○	○	1.5		
	機能・性能試験	高	1C	○	○	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-104 3号 冷却材脱塩塔入口三方弁	駆動部点検	高	52M	—	—	1.3		
	分解点検	高	130M	—	—	1.1		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-102 3号 底圧抽出ライン流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.1		
	分解点検	高	130M	—	—	1.1		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-108 3号 冷却材陽イオン脱塩塔通水流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.1		
	分解点検	高	130M	—	—	1.1		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査	
3RCV-121A 3号 V C T 入口三方弁	駆動部点検	高	130M	—	—	1.4		
	分解点検	高	130M	—	—	1.4		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3LCV-121B 3号 VCT第一出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	03-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
3LCV-121C 3号 VCT第二出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	03-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		
3LCV-121D 3号 CHP非常用補給弁A		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	03-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
3LCV-121E 3号 CHP非常用補給弁B		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	03-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
3V-CS-005A 3 A 抽出オリフイス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.1	03-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		52M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	7	03-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3V-CS-005C 3 C 抽出オリフイス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
		分解点検		130M	—	8	03-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1.5		
		分解点検		10C	—	1.5	03-86 1次系安全弁検査	
3V-CS-006 3号 抽出オリフイス逃がし弁		機能・性能試験	低	10C	—	1.5		
		駆動部点検		130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	7	03-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3V-CS-008 3号 抽出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	03-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1.3		
		分解点検		10C	—	1.3	03-86 1次系安全弁検査	
3V-CS-025 3号 治療機駆動弁入口逆止弁		機能・性能試験	低	10C	—	1.3		
		駆動部点検		130M	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.3		
		電動機分解点検		10C	—	1.3	03-86 1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CS-020A 3 A 冷却材配管入口弁		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-020B 3 B 冷却材配管入口弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-038 3号 冷却材陽イオン脱塩器入口弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-048 3号 冷却材脱塩器出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	○	6		
		分解点検		130M	—	9	GN3-87 1次系逆止弁検査	
3V-CS-128 3号 VCTカバ-ガス供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		漏えい試験		10C	—	13	GN3-86 1次系安全弁検査	
3V-CS-134 3号 VCT逃がし弁		機能・性能試験	低	10C	—	13		
		分解点検		130M	—	15		
		分解点検		130M	—	9		
3V-CS-162A 3 A CHP ミニフローライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	15		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	○	6		
3V-CS-162B 3 B CHP ミニフローライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-CS-162C 3 C CHP ミニフローライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
3V-CS-165A 3 A CHP 出口逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-165B 3 B CHP 出口逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
3V-CS-165C 3 C CHP 出口逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
3V-CS-215 3号 充てん流量制御補助オリフィス切替弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-217 3号 充てんライン止弁		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		駆動部点検		130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14	GN2-145 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3V-CS-220 3号 充てんライン外隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	14		
		駆動部点検		130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
3V-CS-222 3号 充てんライン隔離逆止弁		電動機分解点検	高	130M	—	14		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式又は頻 度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3W-CS-227 3号 加圧器補助スプレイ弁		駆動部点検	高	130M	—	1.1		
		分解点検		130M	—	1.1		
		機能・性能試験		10C	—	1.1		
3W-CS-229 3号 加圧器補助スプレイ逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検	高	130M	—	—	0N3-85 1次系弁検査	第1.1回定検で取替
		分解点検	高	130M	—	—	0N3-85 1次系弁検査	第1.1回定検で取替
3W-CS-236 3号 Dループ充てんライン弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		65M	—	1.5		
		機能・性能試験		5C	—	1.5		
3W-CS-253 3号 封水注入流量制御補助オリフイス切替弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.4		
		駆動部点検		130M	—	1.1		
3W-CS-271A 3A RCP封水注入ライン外隔離弁		分解点検	高	130M	—	1.1		
		機能・性能試験		10C	—	1.1	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
3W-CS-271B 3B RCP封水注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.2		
		分解点検		130M	—	1.2		
		機能・性能試験		10C	—	1.2	0N3-85 1次系弁検査	
3W-CS-271C 3C RCP封水注入ライン外隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	1.2		
		駆動部点検		130M	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.3		
3W-CS-271D 3D RCP封水注入ライン外隔離弁		機能・性能試験	高	10C	—	1.3	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.3		
		駆動部点検		130M	—	1.3		
3W-CS-276A 3A RCP封水注入ライン第一逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	0N3-85 1次系弁検査	
3W-CS-276B 3B RCP封水注入ライン第一逆止弁		電動機分解点検	高	130M	—	1.4		
		駆動部点検		130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
3W-CS-276C 3C RCP封水注入ライン第一逆止弁		機能・性能試験	高	10C	—	1.4	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		
		駆動部点検		130M	—	1.4		
3W-CS-278A 3A RCP封水注入ライン第二逆止弁		電動機分解点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	9	0N3-85 1次系弁検査	
3W-CS-278B 3B RCP封水注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3W-CS-278C 3 C R C P 封水注入ライン第二逆止弁 3 D R C P 封水注入ライン第二逆止弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	高	130M	—	9	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検	高	130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		分解点検	低	130M	—	1.5		
3W-CS-283 3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	漏えい試験	低	10C	—	1.5	0N3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.5		
		駆動部点検	高	130M	—	7		
3W-CS-294A 3 A 封水戻りオリフイストバイパス弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	高	130M	—	7		
		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検	高	130M	—	7		
3W-CS-294B 3 B 封水戻りオリフイストバイパス弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	高	130M	—	7		
		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検	高	130M	—	7		
3W-CS-294C 3 C 封水戻りオリフイストバイパス弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	高	130M	○	6		
		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検	高	130M	○	6		
3W-CS-294D 3 D 封水戻りオリフイストバイパス弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検	高	130M	○	6		
		分解点検	高	130M	○	6		
3W-CS-301 3号 余剰抽出ライン第一止弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検	高	130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
3W-CS-302 3号 余剰抽出ライン第二止弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検	高	130M	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
3W-CS-306 3号 余剰抽出冷却器出口三方弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検	高	130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
3W-CS-307 3号 R C P 封水戻りライン逃がし弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1.3		
		漏えい試験		10C	○	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1.3		
3W-CS-310 3号 R C P 封水戻りライン内隔離弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	1.1		
		分解点検	高	130M	—	1.1	0N3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
3W-CS-311 3号 R C P 封水戻りライン外隔離弁	3号 R C P へばり水ヘッドタンク逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	1.2		
		分解点検	高	130M	—	1.2	0N3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.2		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 する 設 備 診 断 技 術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	3W-CS-322 3号 排水冷却器入口戻り水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	9	GN3-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C	—	9			
		機能・性能試験		10C	—	9			
	3PCV-0122A 3号 V C T 水素放出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	1.5			
		分解点検		65M	—	1.2			
		駆動部点検		130M	—	1.5			
	3PCV-0122B 3号 V C T 酸素放出ライン止弁	分解点検	高	65M	—	1.2			
		機能・性能試験		1C	○	1.5			GN3-15 原子炉補機冷却系機能検査
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5			
	3 A 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	52M	○	1.3		(振動診断; 切替症)	
		機能・性能試験		4C	○	1.3			GN3-84 1次系ポンプ機能検査
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5			
3 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	52M	○	1.3		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5				
	機能・性能試験		4C	—	1.4			GN3-84 1次系ポンプ機能検査	
3 C 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		52M	—	1.4				
	機能・性能試験		13M	○	1.5				
3 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	52M	—	1.3		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5				
	機能・性能試験		4C	—	1.3			GN3-84 1次系ポンプ機能検査	
3 E 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		52M	—	1.4				
	機能・性能試験		13M	○	1.5				
3 F 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	52M	—	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5				
	機能・性能試験		4C	—	1.5			GN3-84 1次系ポンプ機能検査	
3 G 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		52M	—	1.5				
	機能・性能試験		13M	○	1.5				
3 H 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	52M	—	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5				
	機能・性能試験		4C	—	1.5			GN3-84 1次系ポンプ機能検査	
3 I 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替症)		
	簡易点検 (油入替他)		52M	—	1.5				
	機能・性能試験		13M	○	1.5				
3 J 原子炉補機冷却水ポンプ	分解点検	高	26M	○	1.5	GN3-92 1次系熱交換器検査	第16回定検で伝熱管取替 (定期事業者検査は実施しない)		
	開放点検		52M	○	1.5				
	非破壊試験		52M	○	1.5				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3 B 原子炉補機冷却水冷却器		簡易点検 (重釘板取替他)	高	13M	○	1 5	GN3-92 1次系熱交換器検査	第16回定検で伝熱管取替 (定期事業者検査は実施しない)
		開放点検		20M	○	1 4		
		非破壊試験		52M	○	1 4		
3 号 原子炉補機冷却水サージタンク		開放点検	高	65M	○	1 3		第16回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	—	—		
3 号 CCWサージタンク水位制御弁		分解点検	低	130M	—	1 5	GN3-58 1次系真空破壊弁検査	
		外観点検	低	10C	—	1 5		
3V-CC-010 3号 CCWサージタンク選がし弁		分解点検	低	195M	—	9		
		補えし試験		15C	—	9	GN3-56 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		15C	—	9		
3V-CC-014A 3号 CCWサージライン止弁A		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
3V-CC-024 3号 CCWサージタンク補給ライン連絡弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
3V-CC-025 3号 CCWサージタンクB側補給ライン切替弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
3V-CC-026 3号 CCWサージタンクA側補給ライン切替弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		駆動部点検	高	195M	—	1 4		
		分解点検	高	195M	—	1 4	GN3-55 1次系弁検査	
3V-CC-02 3 C CCW戻り母管止弁		電動機分解点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検		195M	—	—		第16回定検より追加
3V-CC-03A 3 A C CCW戻り母管連絡弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	1 1		
3V-CC-03B 3 B C CCW戻り母管連絡弁		分解点検	高	195M	—	3		
		分解点検	高	195M	—	2		
		分解点検	高	195M	—	4		
3V-CC-03A 3 A C CWP出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 0		
		分解点検	低	195M	—	1 0		
		機能・性能試験	15C	—	1 0	GN3-55 1次系弁検査		
3V-CC-056A 3 A C CCWサージタンク選がしライン止弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
3V-CC-056B 3 B C CCW供給母管連絡弁		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第16回定検より追加

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CC-057A 3号 C C W P 出口連絡弁 A	3V-CC-057B 3号 C C W P 出口連絡弁 B	分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
3V-CC-058 3 C C C W 供給母管止弁		駆動部点検	高	195M	—	1.3		
		分解点検		195M	—	1.3	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
		駆動部点検		195M	—	9		
3V-CC-063A 3 A C C W P 出口弁		分解点検	高	195M	—	9		
		機能・性能試験		15C	—	9	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		195M	—	9		
3V-CC-063B 3 B C C W P 出口弁		分解点検	高	195M	—	9		
		機能・性能試験		15C	—	9	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		195M	—	4		
3V-CC-063C 3 C C C W P 出口弁		分解点検	高	195M	—	4		
		機能・性能試験		15C	—	4	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
		駆動部点検		195M	—	1.4		
3V-CC-063D 3 D C C W P 出口弁		分解点検	高	195M	—	4		
		機能・性能試験		15C	—	4	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	4		
		駆動部点検		195M	—	1.4		
3V-CC-064A 3 A C C W 冷排器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		機能・性能試験		15C	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検		195M	—	—		
3V-CC-064B 3 B C C W 冷排器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	1.3		
		機能・性能試験		15C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		電動機分解点検		15C	—	1.3		
		駆動部点検		195M	—	1.3		
3V-CC-065 3号 C C W 戻り母管遮りし弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		機能・性能試験		15C	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検		195M	—	—		
3V-CC-082 3号 A M 用酸素マニホールド出口ライン安全弁		分解点検	高	195M	—	1.3		
		機能・性能試験		15C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		電動機分解点検		15C	—	1.3		
		駆動部点検		195M	—	1.3		
3V-CC-083 3号 A M 用酸素マニホールド出口弁		分解点検	高	195M	—	1.3		
		機能・性能試験		15C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
		電動機分解点検		15C	—	1.3		
		駆動部点検		195M	—	1.3		
3V-CC-106A 3 A B C C W P モーター C C W 出口止弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		機能・性能試験		15C	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検		195M	—	—		
3V-CC-107A 3 A R H R 冷排器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		機能・性能試験		15C	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検		195M	—	—		
3V-CC-107B 3 B R H R 冷排器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		機能・性能試験		15C	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		
		駆動部点検		195M	—	—		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3V-CC-114A 3A RHR冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	093-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 3		
3V-CC-114B 3B RHR冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	8		
		分解点検		195M	—	8		
		機能・性能試験		15C	—	8	093-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-CC-118B 3B S I PモータCCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-124A 3A RHRP、ポンプ、モータCCW入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-127B 3B S I P、ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-133 3号 AM用 3A RHR Pポンプ、モータCCW第一入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-134 3号 AM用 3A RHR Pポンプ、モータCCW第二入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-136 3号 AM用 3A RHR Pポンプ、モータCCW第二出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
3V-CC-137 3号 AM用 3A RHR Pポンプ、モータCCW出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	093-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-CC-149A 3A SFP冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	1 0		
		分解点検		195M	—	8		
		機能・性能試験		15C	—	8	093-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 0		
3V-CC-149B 3B SFP冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-CC-165 3号 封水冷却器CCW出口弁弁A		駆動部点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-CC-178A 3A C/Vスプレイ冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	—		第1 6 回定検より追加
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	093-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定例回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CC-178B 3 B C/V スプレイ冷却器CCW第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	5		
		分解点検		195M	—	8		
		機能・性能試験		15C	—	8	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-CC-180A 3 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
		駆動部点検		195M	—	8		
3V-CC-180B 3 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン外漏離弁		分解点検	高	195M	—	6	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	1.3		
		漏えい試験		10C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
3V-CC-195A 3 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁		機能・性能試験	低	10C	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.2		
		漏えい試験		10C	—	1.2	0N3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.2		
3V-CC-195B 3 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁		駆動部点検	高	195M	—	1.1		
		分解点検		195M	—	1.1	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
		駆動部点検		195M	—	1.1		
3V-CC-198B 3 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		分解点検	高	195M	—	1.1	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
		駆動部点検		195M	—	1.1		
		電動機分解点検		130M	—	1.1		
3V-CC-198C 3 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	—	1.0		
		分解点検		195M	—	1.0	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
		駆動部点検		195M	—	1.0		
3V-CC-198D 3 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		分解点検	高	195M	—	1.0	0N3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
		駆動部点検		195M	—	1.0		
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3V-CC-207A 3 A 制御用空圧縮装置CCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		第1.6回定検より追加
		駆動部点検		195M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
3V-CC-207B 3 B 制御用空圧縮装置CCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検		130M	—	—		第1.6回定検より追加
		駆動部点検		195M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CC-210 3号 AM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-CC-211 3号 AM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-CC-212 3号 AM用代替再循環ポンプCCW出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 3		
		分解点検		130M	—	9		
		漏えい試験 機能・性能試験		10C	—	9	GN3-86 1次系安全弁検査	
3V-CC-213 3号 AM用代替再循環ポンプCCW入口ライン遮断弁		分解点検	高	10C	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-223B 3 B CHP CCW入口ライン第2切替弁B		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-223C 3 C CHP ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-223B 3 B CHP モータCCW入口弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-241 3 A C C W冷却器海水供給ライン第二止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-246 3 B S I P ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-247 3 B 制御用空圧箱装置冷却水戻りライン海水排水止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-248A 3 A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-248B 3 B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-251 3 B CHP 自己冷却水供給ライン第二止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-252 3 B CHP 自己冷却水戻りライン第一止弁		分解点検	高	195M	—	—		
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
		分解点検		195M	—	—	第1 6回定検より追加	
3V-CC-348 3号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	—	2		
		分解点検		195M	—	2	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 2		
3V-CC-401 3号 RCP、余熱抽出冷却器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-CC-403 3号 RCP、余熱抽出冷却器CCW入口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	—	6		
		分解点検		195M	—	6	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	6		
3V-CC-405 3号 RCP、余熱抽出冷却器CCW入口ライン漏離逆止弁		分解点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3RCV-1319 3A RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第1.6回定検より追加
		分解点検						
3RCV-1320 3B RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第1.6回定検より追加
		分解点検						
3RCV-1321 3C RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第1.6回定検より追加
		分解点検						
3RCV-1322 3D RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第1.6回定検より追加
		分解点検						
3V-CC-421A 3A RCP熱源へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	1.2		
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
3V-CC-421B 3B RCP熱源へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	10C	—	1.2	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
3V-CC-421C 3C RCP熱源へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	10C	—	1.2	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
3V-CC-421D 3D RCP熱源へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	1.3		
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
3V-CC-425 3号RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン逃がし弁		分解点検	低	10C	—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
3V-CC-427 3号RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン内漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検						
		電動機分解点検						
3V-CC-429 3号RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	—	6	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検						
		電動機分解点検						
3V-PS-002B 3B CHPスタフィンボックス冷卻水入口弁(継手側)		分解点検	高	130M	—	—		第1.6回定検より追加
		電動機分解点検						
3V-PS-006B 3B CHPスタフィンボックス冷卻水入口弁(軸封側)		分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全度 重要度	保全方式 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉補機冷却海水系 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4個	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-115 原子炉補機冷却海水系機能検査	
		簡易点検 (O'ラッド・ネグ取替他)		13M	—	1.5		第16回定検で取替
		分解点検	高	26M	—	1.4	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	1.4		保温材施工附属配管部
	3 A 海水ポンプ	機能・性能試験	高	2C	—	1.4	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	第16回定検で取替
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		普通点検 (軸受点検)		26M	○	1.5		
		分解点検		52M	—	1.5		
	3 B 海水ポンプ	簡易点検 (O'ラッド・ネグ取替他)	高	13M	—	1.5		第16回定検で取替
		分解点検		26M	—	1.4	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	1.4		保温材施工附属配管部
		機能・性能試験		2C	—	1.4	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	第16回定検で取替
3 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)	
	普通点検 (軸受点検)		26M	○	1.4			
	分解点検		52M	○	1.4			
	機能・性能試験		13M	—	1.5			
3 C 海水ポンプ	簡易点検 (O'ラッド・ネグ取替他)	高	26M	—	1.5	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	第16回定検で取替	
	分解点検		4C	—	1.4		保温材施工附属配管部	
	外観点検		2C	—	1.5	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	第16回定検で取替	
	機能・性能試験		13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)	
3 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	26M	—	1.5		第16回定検で取替	
	普通点検 (軸受点検)		52M	—	1.4			
	分解点検		13M	—	1.5			
	機能・性能試験		26M	—	1.5			
3 D 海水ポンプ	簡易点検 (O'ラッド・ネグ取替他)	高	4C	—	1.4		保温材施工附属配管部	
	分解点検		2C	—	1.5	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	第16回定検で取替	
	外観点検		13M	—	1.5		(振動診断; 切替毎)	
	機能・性能試験		26M	—	1.5			
3 D 海水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	4C	—	1.4		保温材施工附属配管部	
	普通点検 (軸受点検)		2C	—	1.5	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	第16回定検で取替	
	分解点検		13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)	
	機能・性能試験		26M	—	1.5			
3V-SW-502A 3 A S W P 出口逆止弁	簡易点検 (油入替他)	高	52M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	普通点検 (軸受点検)		65M	—	1.5			
	分解点検		65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	機能・性能試験		65M	—	1.5			
3V-SW-502B 3 B S W P 出口逆止弁	簡易点検 (油入替他)	高	65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	普通点検 (軸受点検)		65M	—	1.5			
	分解点検		65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	機能・性能試験		65M	—	1.5			
3V-SW-502C 3 C S W P 出口逆止弁	簡易点検 (油入替他)	高	65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	普通点検 (軸受点検)		65M	—	1.5			
	分解点検		65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	機能・性能試験		65M	—	1.5			
3V-SW-502D 3 D S W P 出口逆止弁	簡易点検 (油入替他)	高	65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	普通点検 (軸受点検)		65M	—	1.5			
	分解点検		65M	—	1.5		第1.6回定検より追加	
	機能・性能試験		65M	—	1.5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材 の補えいを監視する装置)	3S-SW-507A 3 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	1.5			
	3S-SW-507B 3 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	1.5			
	3S-SW-507C 3 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	1.5			
	3S-SW-507D 3 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	1.5			
	3V-SW-509A 3 A S W P出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第1.6回定検より追加	
	3V-SW-509B 3 B S W P出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第1.6回定検より追加	
	3V-SW-509C 3 C S W P出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第1.6回定検より追加	
	3V-SW-509D 3 D S W P出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第1.6回定検より追加	
	3V-SW-590A 3号海水供給母管連絡弁A	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 65M 130M	— ○ —	1.0 1.3 8		GN3-123 2次系弁検査	
	3V-SW-590B 3号海水供給母管連絡弁B	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 65M 130M	— ○ —	1.0 1.3 9		GN3-123 2次系弁検査	
	3V-SW-570A 3 A C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 130M 130M	○ ○ ○	6 1.3 6		GN3-85 1次系弁検査	
	3V-SW-570B 3 B C C W冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 130M 130M	— — —	1.3 1.3 8		GN3-85 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材 の補えいを監視する装置)	海水配管 (屋外)	開放点検	高	39M	○	1.5			
	海水配管 (屋内)	開放点検	高	65M	○	1.4			
	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5		GN3-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮 液量測定装置漏えい検出器機能検査	
	1. 停止グループ制御棒クラスタ 24本 2. 制御グループ制御棒クラスタ 29本	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		GN3-30 制御棒駆動系機能検査 GN3-107 制御棒クラスタ動作検査	
	1. 制御棒クラスタ 2. ハーナブルボイス 3. 2次中性子源 4. フラキシングデハイス	外観点検	高	1C	○	1.5		GN3-108 制御棒クラスタ検査	
	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	○	1.5		GN3-109 制御棒位置指示装置設定値検査	
	制御棒系統施設 (制御棒駆動装置)	3 A M Gセット用発電機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		
			普通点検 (軸受点検)	低	39M	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)
			分解点検	低	65M	—	1.4		

※: 炉心設計による

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	3 B MGセット用発電機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)	
		普通点検 (軸受点検)		39M	—	1.5			
		分解点検		65M	—	1.3			
	3 A MGセット用電動機	分解点検	39M	低	—	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検	39M	低	—	—	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		簡易点検 (油入替他)	13M	高	○	—	1.5		
	分解点検	39M	—		—	1.5	GN3-31 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)	
	機能・性能試験	1C	○		—	1.5	GN3-56 ほう酸ポンプ機能検査		
	3 A ほう酸ポンプ用電動機	分解点検	39M	高	—	—	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		簡易点検 (油入替他)	13M	高	○	—	1.5		
		分解点検	39M		—	—	1.4	GN3-31 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
	機能・性能試験	1C	○		—	1.5	GN3-56 ほう酸ポンプ機能検査		
3 B ほう酸ポンプ用電動機	分解点検	39M	高	—	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)	
	開放点検	130M	高	—	—	1.3			
	開放点検	130M	高	—	—	1.3			
3 A ほう酸タンク	開放点検	65M	高	○	—	1.3			
	駆動部点検	130M	低	—	—	1.5			
	分解点検	130M		—	—	1.5			
機能・性能試験	10C	—		—	1.5	GN3-85 1次系弁検査			
3 B ほう酸タンク	開放点検	130M	高	—	—	1.3			
	駆動部点検	130M	低	—	—	1.3			
	分解点検	130M		—	—	1.3			
機能・性能試験	10C	—		—	1.3	GN3-85 1次系弁検査			
3号 ほう酸フィルタ	駆動部点検	130M	低	—	—	1.1			
	分解点検	130M		—	—	1.1			
	機能・性能試験	10C		—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査		
3RCV-220A 3号 ほう酸補給ライン流量制御弁	駆動部点検	130M	高	—	—	1.2			
	分解点検	130M		—	—	1.5			
	機能・性能試験	3C		—	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査		
3RCV-220B 3号 1次系純水補給ライン流量制御弁	駆動部点検	130M	低	—	—	1.2			
	分解点検	130M		—	—	1.5			
	機能・性能試験	10C		—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査		
3RCV-223A 3号 1次系純水補給ライン流量制御弁	駆動部点検	130M	高	—	—	1.2			
	分解点検	130M		—	—	1.5			
	機能・性能試験	10C		—	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査		
3RCV-223B 3号 ほう酸混合器VCT入口側補給弁	駆動部点検	130M	低	—	—	1.2			
	分解点検	39M		—	—	1.5			
	機能・性能試験	3C		—	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査		
3V-CS-62A 3 A B A T入口弁	駆動部点検	130M	低	—	—	1.5			
	分解点検	130M		—	—	1.5			
	機能・性能試験	10C		—	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CS-62B 3 B B A T 入口弁		駆動部点検	低	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-473 3号ほう機補給タンク出口逆止弁		分解点検	低	130M	—	1.0	GN3-87 1次系逆止弁検査	
		駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
機能・性能試験	10C	—		1.0	GN3-85 1次系弁検査			
3V-CS-478A 3 A B A T 出口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-478B 3 B B A T 出口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-486A 3 A ほう機ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検	高	130M	—	8		
		駆動部点検	高	130M	—	1.1		
分解点検	130M	—		1.1				
機能・性能試験	10C	—		1.1	GN3-85 1次系弁検査			
3V-CS-500A 3 A B A T 循環弁		駆動部点検	高	130M	—	1.2		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CS-500B 3 B B A T 循環弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		機能・性能試験		10C	—	1.5	GN3-88 1次系真空破壊弁検査	
3V-CS-501A 3 A ほう機タンク真空速がし弁		分解点検	低	130M	—	1.5		
		外観点検	低	10C	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
3V-CS-501B 3 B ほう機タンク真空速がし弁		分解点検		低	130M	—	1.5	
		外観点検	10C		—	1.5		
		分解点検	130M		—	1.5		
3V-CS-502 3号 B A T 緊急供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	9	GN3-87 1次系逆止弁検査	
		分解点検	低	130M	—	1.5		
		漏えい試験		10C	—	1.5	GN3-86 1次系安全弁検査	
3V-CS-505A 3 A B A T 速がし弁		機能・性能試験		低	10C	—	1.5	
		分解点検	130M		—	1.3		
		漏えい試験	10C		—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査	
3V-CS-505B 3 B B A T 速がし弁		機能・性能試験	低	10C	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.4		
		漏えい試験		10C	—	1.4		
3V-CS-526 3号 緊急ほう機注入弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4		
		機能・性能試験		10C	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保安方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術			
V-CS-584A A H T遮がし弁	分解点検	漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y	—	2015年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中			
									2015年度	GN-86 1次系安全弁検査	
									2015年度	GN-86 1次系安全弁検査	
	V-CS-584B B H T遮がし弁	分解点検	漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y	—	2016年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中		
										2016年度	GN-86 1次系安全弁検査
										2016年度	GN-86 1次系安全弁検査
	V-CS-584C C H T遮がし弁	分解点検	漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y	—	2017年度	GN-86 1次系安全弁検査	プラント運転中		
										2017年度	GN-86 1次系安全弁検査
										2017年度	GN-86 1次系安全弁検査
	A 1次系純水タンク	開放点検	簡易点検 (油入替他)	低	130M	—	1.2				
										1.3	
										1.3	
A 1次系補給水ポンプ	分解点検	機能・性能試験	低	39M	○	1.3	GN-84 1次系ポンプ機能検査				
									1.3		
									1.3		
A 1次系補給水ポンプ用電動機	分解点検	機能・性能試験	低	39M	—	1.5					
									1.5		
									1.5		
B 1次系補給水ポンプ	簡易点検 (油入替他)	分解点検	低	39M	—	1.4					
									1.4		
									1.4		
B 1次系補給水ポンプ用電動機	分解点検	機能・性能試験	低	39M	—	1.4	GN-84 1次系ポンプ機能検査				
									1.4		
									1.4		
V-PMT-102A A 1次系純水タンク真空遮がし弁	分解点検	機能・性能試験	低	130M	—	1.3	GN-88 1次系真空破壊弁検査				
									1.3		
									1.3		
V-PMT-106A A 1次系純水タンク真空遮がし弁	分解点検	機能・性能試験	低	130M	—	1.5	GN-88 1次系真空破壊弁検査				
									1.5		
									1.5		
V-PW-505A A PMT ミニフロー切替弁	駆動部点検	分解点検	低	130M	—	1.2					
									1.2		
									1.2		
V-PW-517A A PMT ミニフロー切替弁	駆動部点検	機能・性能試験	低	10C	—	1.2	GN-85 1次系弁検査				
									1.2		
									1.2		
V-PW-515A 3号 脱気水 PMT ハイパス逆止弁	分解点検	機能・性能試験	低	130M	—	1.0	GN-87 1次系逆止弁検査				
									1.0		
									1.0		
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用空気分岐連絡弁 1台 3. 制御用空気中給送管連絡弁 2台 4. 制御用空気格納容器内供給元弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-92 制御用空気圧縮系統機能検査				
									1.5		
									1.5		
									1.5		
3 A 制御用空気圧縮機	簡易点検 (油入替他)	分解点検	高	13M	○	1.5		(振動診断; 切替弁)			
									1.5		
3 A 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	機能・性能試験	高	26M	—	1.5		(振動診断; 切替弁)			
3 A 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	機能・性能試験	高	26M	—	1.5		(振動診断; 切替弁)			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術 (振動診断; 超音波)
	3 B 制御用空気圧縮機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			○			
	3 B 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	○	1.4		
		開放点検	高	26M	○	1.4		(振動診断; 超音波)
	3 A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	1.5		
		開放点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	1.5		
		開放点検	高	52M	—	1.4		
	3 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	1.5		
		開放点検	高	52M	—	1.4		
	3 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	78M	—	1.5		
		開放点検	高	78M	—	1.4		
	3 B 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	1.4		
		開放点検	高	78M	—	1.4		
	3 A 制御用空気除湿装置 A1吸着塔	開放点検	高	26M	○	1.4		
		開放点検	高	26M	—	1.5		
	3 A 制御用空気除湿装置 A2吸着塔	開放点検	高	26M	—	1.5		
		開放点検	高	26M	○	1.4		
	3 B 制御用空気除湿装置 B1吸着塔	開放点検	高	26M	—	1.5		
		開放点検	高	26M	—	1.4		
3 B 制御用空気除湿装置 B2吸着塔	開放点検	高	26M	—	1.5			
	開放点検	高	26M	—	1.4			
3 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			
	分解点検	高	52M	—	1.3			
3 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4			
	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5			
3 B 制御用空気除湿装置送風機	分解点検	高	52M	—	1.4			
	分解点検	高	52M	—	1.4			
3 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4			
	駆動部点検	高	130M	—	1.4			
3V-1A-501A 3 A 制御用空気供給母管連絡弁	分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	高	130M	—	9			
3V-1A-501B 3 B 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	1.4			
	分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-85 1次系弁検査		
3V-1A-505A 3 A 制御用空気主蒸気速がし弁等供給元弁	電動機分解点検	高	130M	—	8			
	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検	高	130M	—	9			
	機能・性能試験	高	10C	—	9	GN3-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	高	130M	—	9			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 規 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3V-1A-508B 3 B 制御用空気主蒸気遠がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-1A-508A 3 A 制御用空気供給ライン外漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.4	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1.4		
		駆動部点検		130M	—	9		
3V-1A-508H 3 B 制御用空気供給ライン外漏離弁		分解点検	高	130M	—	9	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
3V-1A-510A 3 A 制御用空気格納容器内供給元弁		電動機分解点検	高	130M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
3V-1A-510B 3 B 制御用空気格納容器内供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
		駆動部点検		130M	—	8		
3V-1C-003A 3 A インタークーラ安全弁		分解点検	低	130M	—	1.3		
		漏えい試験		10C	—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.3		
		分解点検		130M	—	1.3		
3V-1C-003B 3 B インタークーラ安全弁		漏えい試験	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験		10C	—	1.3		
		分解点検		130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN3-86 1次系安全弁検査	
3V-1C-008A 3 A ドレンセパレータ安全弁		機能・性能試験	低	10C	—	9		
		分解点検		130M	—	1.4		
		漏えい試験		10C	—	1.4	GN3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.4		
3V-1C-008B 3 B ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	130M	—	1.4		
		漏えい試験		10C	—	1.4	GN3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.4		
		分解点検		130M	—	1.3		
3V-1C-014A 3 A 制御用空気ため安全弁		漏えい試験	低	10C	—	1.3		
		機能・性能試験		10C	—	1.3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	1.3		
		機能・性能試験		10C	—	1.3		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 類 度 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-1C-014B 3 B 制御用空気ため安全弁		分解点検	低	130M	—	1 3	03-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 3		
		機能・性能試験		10C	—	1 3		
3V-1C-022A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 1 吸着塔入口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-022B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 1 吸着塔入口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-023A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 2 吸着塔入口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-023B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 2 吸着塔入口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-024A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 1 吸着塔再生空気出口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-024B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 1 吸着塔再生空気出口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-025A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 2 吸着塔再生空気出口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-025B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 2 吸着塔再生空気出口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-032A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 1 吸着塔再生空気入口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-032B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 1 吸着塔再生空気入口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-033A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 2 吸着塔再生空気入口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-033B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 2 吸着塔再生空気入口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-037A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 1 吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-037B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 1 吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-038A 3 A 制御用空気除湿装置 3 A 2 吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-038B 3 B 制御用空気除湿装置 3 B 2 吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
3V-1C-093A 3 A 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁		分解点検	高	26M	○	1 4		
		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	26M	○	1 4		
3V-1C-093B 3 B 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁		分解点検	高	26M	—	1 5		
		分解点検	高	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
原子炉トリップ遮断器 (RTA-1)		機能・性能試験	高	78M	—	1 2		
		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
		番勢部点検	高	78M	—	1 2		
原子炉トリップ遮断器 (RTA-2)		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	高	78M	—	1 2		
		番勢部点検	高	1C	○	1 5		
原子炉トリップ遮断器 (RTB-1)		機能・性能試験	高	78M	—	1 2		
		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
		番勢部点検	高	78M	—	1 2		
原子炉トリップ遮断器 (RTB-2)		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	高	78M	—	1 2		
		番勢部点検	高	1C	○	1 5		
原子炉トリップ遮断器 (RTC-1)		機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	高	78M	—	1 2		
		番勢部点検	高	1C	○	1 5		

計測制御系統施設
(その他設備)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全度 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉トリップ遮断器 (TC-2)		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
		劣勢部点検						
原子炉トリップ遮断器 (TD-1)		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
		劣勢部点検						
原子炉トリップ遮断器 (TD-2)		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
		劣勢部点検						
1. 原子炉保護系ロジック回路 29回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 26回路	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 68個 設定器 (保護継電器含む) 146個 (2) 核計測装置 20個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 11個 現場指示計 20個 (2) 核計測装置 中央制御装置 中央制御室指示計 8個	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-33 安全保護系機能検査	
		特性試験						
1. ハーミング系ロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. ハーミング系ロジック回路 1回路 (安全防護系ロジック関連)		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-111 安全保護系機能検査 (ハーミング系ロジック検査)	
		特性試験						
事故時監視計器 指示計 35個		機能・性能試験	高	13M	○	1.5	GN3-35 プラント状態監視設備機能検査	
		特性試験						
事故時燃料採取設備 格納容器旁通気ガス試料採取設備 1台		機能・性能試験	低	1C	○	1.5		
		特性試験						
格納容器旁通気ガスサンプラ冷却器 (3, 4号機共用)		外観点検	高	1C	○	1.5		
		外観点検						
格納容器旁通気ガスサンプラ部分分離器 (3, 4号機共用)		外観点検	高	1C	○	1.5		
		外観点検						
1. 制御機制御系 2. 加圧器及び制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
		特性試験						
1次系及び2次系計測制御装置		機能・性能試験	高	13M	○	1.5	GN3-73 計測制御系監視機能検査	
		特性試験						
原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-113 総合インターロック検査	
		特性試験						
炉外核計測装置 1. 中子線計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台		特性試験	高	13M	○	1.5	GN3-106 核計測装置機能検査	一部定検起動後
		機能・性能試験						
炉内核計測装置 1式		機能・性能試験	低	1C	○	1.5	GN3-106 核計測装置機能検査	
		特性試験						
原子炉安全保護計装盤 1式		機能・性能試験	高	13M	○	1.5		
		特性試験						
原子炉安全保護シークエンス盤 1式		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		更新工事に伴い、第16回定検から原子炉安全保護ロジック盤の機能を統合
		特性試験						
炉外核計装保護盤 1式		機能・性能試験	高	13M	○	1.5		
		特性試験						
6. 6 kV非常用母線電圧保護継電器 1式		機能・性能試験	高	13M	○	1.5		
		特性試験						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1次冷媒材ポンプ電源監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	事故時放熱監視装置 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	制御用空気圧縮機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	制御用空気除湿装置制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	針束電源盤(後備電源盤・切替盤・分電盤含む) 1式	特性試験他	高	13M	○	1.5		
	ディーゼル発電機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	中央制御室外換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	主盤 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	原子炉関連盤 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	空調用冷凍機補助盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	電気ペネトレーション 1式	外観点検	高	1C	○	1.5		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M	○	1.5		
	運転指令設備(ペーシング装置) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	非常用サイレン (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	運転指令設備(デジタル無線ペーシング装置) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPBS) (3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	SPBSデータ表示装置 (3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	機器測定計 (3,4号機共用) [中央制御室用] 3個 (予備含む)	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	二酸化炭素濃度計 (3,4号機共用) [中央制御室用] 3個 (予備含む)	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	中央制御室外原子炉停止盤補機作回路 27回路	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	周辺監視カメラ他 (3,4号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	気体廃棄物処理系 ・ガス圧縮機 2台 ・ガスサージタンク入口弁 ・総排装置、活性能式希ガスホールドアップ装置 1基	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-42 気体廃棄物処理系機能検査	
	A ガスサージタンク	開放点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	B ガスサージタンク	開放点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	C ガスサージタンク	開放点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
	D ガスサージタンク	開放点検	高	10Y	—	2020年度		プラント運転中
	前記諸	外観点検	高	1C	○	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	A ホールドアップ塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	B ホールドアップ塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	C ホールドアップ塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	D ホールドアップ塔	外観点検	高	1C	○	1.5		
	A 除油塔	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 除油塔	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
	C 除油塔	開放点検	低	3Y	—	2021年度		プラント運転中
	脱ガス器分離器	外観点検	低	1C	○	1.5		
	A 脱ガス冷却器	外観点検	低	1C	○	1.5		
	B 脱ガス冷却器	外観点検	低	1C	○	1.5		
	V-WG-038A A ガスサージタンク薬素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WG-038B B ガスサージタンク薬素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WG-038C C ガスサージタンク薬素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WG-038D D ガスサージタンク薬素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WG-045A A ガスサージタンクガス放出弁	駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	V-WG-045B B ガスサージタンクガス放出弁	分解点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	V-WG-045C C ガスサージタンクガス放出弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	V-WG-045D D ガスサージタンクガス放出弁	分解点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	V-WG-046A A ガスサージタンクガス再使用ライン出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2020年度		プラント運転中
	V-WG-046B B ガスサージタンクガス再使用ライン出口弁	分解点検	高	10Y	—	2020年度		プラント運転中
	V-WG-046C C ガスサージタンクガス再使用ライン出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	V-WG-046D D ガスサージタンクガス再使用ライン出口弁	分解点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	V-WG-061 ガスサージタンクガス放出ライン薬素供給逆止弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	V-WG-086 除油器薬素供給ライン逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WG-098 前脱出口薬素供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	GN3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
V-W6-110 除油装置再生用薬液供給ライン逆止弁	V-W6-116 ホールドアップ排出口ライン薬液供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	003-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2018年度	003-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
V-W6-301 薬液供給ヘッド安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	003-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい・点検 機能・性能試験						
V-W6-351 水薬液供給ヘッド安全弁		分解点検	低	10Y	—	2019年度	003-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい・点検 機能・性能試験						
PCV-1149A A. ガスサージタンク入口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1149B A. ガスサージタンクG.Aライン出口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1150A B. ガスサージタンク入口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1150B B. ガスサージタンクG.Aライン出口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1151A C. ガスサージタンク入口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1151B C. ガスサージタンクG.Aライン出口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1152A D. ガスサージタンク入口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検						
PCV-1152B D. ガスサージタンクG.Aライン出口弁		駆動部点検	高	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検						
A. ガス圧縮機		簡易点検 (油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検						
A. ガス圧縮機用電動機		分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検						
B. ガス圧縮機		簡易点検 (油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検						
B. ガス圧縮機用電動機		分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
		分解点検						
A. 気水分離器		外観点検	低	1C	○	1.5		プラント運転中
		外観点検						
B. 気水分離器		外観点検	低	1C	○	1.5		プラント運転中
		開放点検						
A. 封水冷却器		開放点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
		開放点検						
B. 封水冷却器		開放点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		開放点検						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
A ガス圧縮装置アキュムレータ	A ガス圧縮装置アキュムレータ	外観点検	低	1C	○	1.5		
		外観点検	低	1C	○	1.5		
A ガス圧縮装置封水循環ポンプ	A ガス圧縮装置封水循環ポンプ	分解点検	低	6V	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検	低	6V	—	2019年度		プラント運転中
V-0C-004A A ガス圧縮装置気水分離器安全弁	A ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	10V	—	2014年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2014年度	GN3-56 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2014年度		
		分解点検		10V	—	2013年度		
V-0C-004B B ガス圧縮装置気水分離器安全弁	B ガス圧縮装置気水分離器安全弁	漏えい試験	低	10F	—	2013年度	GN3-56 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2013年度		
		分解点検		10V	—	2015年度	GN3-57 1次系逆止弁検査	
V-WG-008 ガスコンタミネーション逆止弁	3号 加圧器逃がしタンク	開放点検	低	39M	○	1.3		
		開放点検	低	39M	—	1.4		
3号 格納容器冷却材ドレンタンク	3号 格納容器サンプ	外観点検	低	1C	○	1.5		
		開放点検	低	3V	—	2020年度		プラント運転中
3号 補助建屋サンプタンク	3号 補助建屋サンプファイラ	開放点検	低	10V	—	2014年度		プラント運転中
		開放点検	低	7V	—	2018年度		プラント運転中
3 A 格納容器サンプポンプ	3 A 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	3C	—	1.5	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		39M	—	1.5		
		分解点検		39M	—	1.5	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.5		
3 B 格納容器サンプポンプ	3 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	○	1.3	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C	○	1.3		
3 B 格納容器サンプポンプ用電動機	3 B 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	1.4	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.4		
3 A 補助建屋サンプポンプ	3 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6V	—	2020年度	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2020年度		
3 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	3 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6V	—	2020年度	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2020年度		
3 B 補助建屋サンプポンプ	3 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6V	—	2021年度	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2021年度		
3 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	3 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6V	—	2021年度	GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2021年度		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
3 A 格納容器冷却材ドレンポンプ		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5			
		分解点検		78M	—	1.5			
		機能・性能試験		6C	—	1.5			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		39M	—	1.5			
		機能・性能試験		3C	—	1.5			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5			
3 B 格納容器冷却材ドレンポンプ		分解点検	低	78M	—	1.4			
		機能・性能試験		6C	—	1.4			
		分解点検		39M	—	1.4			
		機能・性能試験		3C	—	1.4			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		6V	—	2.0 2.1 年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2.0 2.1 年度			
A 廃棄物処理建屋サンポンポンプ		分解点検	低	5V	○	2.0 1.7 年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		5F	○	2.0 1.7 年度			
		分解点検		6V	—	2.0 1.8 年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2.0 1.8 年度			
		分解点検		5V	—	2.0 2.0 年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		5F	—	2.0 2.0 年度			
3V-088 3号 CVD T G、Aライイン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		65M	—	1.2			
		駆動部点検		130M	—	7			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		65M	—	1.2			
		駆動部点検		130M	—	8			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		65M	—	1.3			
3V-089 3号 CVD T G、Aライイン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		65M	—	1.3			
		駆動部点検		130M	—	1.3			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		65M	—	1.3			
		駆動部点検		130M	—	9			GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検		65M	—	1.4			
3V-093 3号 CVD T ベントラライイン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.1			
		分解点検		65M	—	1.1			
		駆動部点検		130M	—	1.1			GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検		65M	—	1.1			
		駆動部点検		130M	—	1.4			GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検		65M	—	1.4			
3V-143 3号 C/Vサンポンポンプ出口ライイン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.3			
		分解点検		65M	—	1.3			
		駆動部点検		130M	—	1.5			GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検		65M	—	1.5			
		駆動部点検		130M	—	1.5			GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検		65M	—	1.5			
3V-1000 3号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライイン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1.3			
		分解点検		130M	—	1.5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-013 3号C/V冷媒材ドレンポンプ出口ライン外漏離弁	3V-008 3号CVDT選がし弁	駆動部点検	高	130M	—	1.5	0N3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	1.5		
	3V-005 3号CVDT塞供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	○	6	0N3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい・点検 機能・性能試験		10C	○	6		
	3V-012 3号凝縮液測定装置配管逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	0N3-87 1次系逆止弁検査	
		分解点検	低	130M	—	1.0		
	V-WL-264A A.WHITサンプリングライン逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2016年度	0N3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度		
	V-WL-708 A.D.T水位計管逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	0N3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2018年度		
V-WL-724 A.D.Tサンプリングライン逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	0N3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中	
	開放点検	低	130M	○	1.1			
A.冷媒材貯蔵タンク	開放点検	低	130M	—	2009年度	0N3-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中	
	開放点検	低	130M	—	1.3			
A.ほう酸回収装置混床式脱塩塔	外観点検	低	1C	○	1.5	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	外観点検	低	1C	○	1.5			
A.ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	開放点検	低	5Y	—	2019年度	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	開放点検	低	5Y	—	2020年度			
A.ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	簡易点検 (組入替他)	低	1Y	○	2021年度	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検	低	6Y	—	2019年度			
A.ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6F	—	2019年度	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検	低	6Y	—	2019年度			
B.ほう酸回収装置給水ポンプ	機能・性能試験	低	1Y	○	2021年度	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検	低	6Y	—	2020年度			
B.ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6F	—	2020年度	0N3-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検	低	6Y	—	2020年度			
ほう酸回収装置 2基	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	0N3-95 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中	
	分解・開放点検	低	3Y~10Y	○	2021年度			
ほう酸回収装置 一式	機能・性能試験	低	3Y~10Y	—	2019年度	0N3-95 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中	
	分解・開放点検	低	3Y~10Y	—	2019年度			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
V-BE-037 A ほう殿回収装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2017年度		
		機能・性能試験		10F	—	2017年度		
V-BE-337 B ほう殿回収装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2018年度		
		機能・性能試験		10F	—	2018年度		
V-BE-039 A ほう殿回収装置薬液供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-CS-890A A ほう殿回収装置 濃縮液サンプリングライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
		分解点検		10Y	—	2018年度		
A 廃液貯蔵タンク		開放点検	低	10Y	—	2020年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2021年度		
		開放点検		10Y	—	2021年度		
A 廃液蒸留水タンク		開放点検	低	10Y	○	2012年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	○	2013年度		
		開放点検		10Y	—	2014年度		
B 洗浄排水タンク		開放点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2015年度		
		開放点検		10Y	—	2015年度		
酸液ドレンタンク		外観点検	低	1C	○	15	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		外観点検		1C	○	15		
		外観点検		1C	○	15		
A 廃液蒸留水配管		外観点検	低	1C	○	15	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		外観点検		1C	○	15		
		外観点検		1C	○	15		
A 廃液フィルタ		開放点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2019年度		
		開放点検		10Y	—	2019年度		
B 廃液フィルタ		開放点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2015年度		
		開放点検		10Y	—	2019年度		
A 洗浄排水フィルタ		開放点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2015年度		
		開放点検		10Y	—	2019年度		
A 廃液給水ポンプ		簡易点検 (組入替他)	低	1Y	○	2021年度	03-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
A 廃液給水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2018年度	03-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
		簡易点検 (組入替他)		1Y	○	2021年度		
B 廃液給水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度	03-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
		分解点検		6Y	—	2019年度		
B 廃液給水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度	03-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
		分解点検		6Y	—	2019年度		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
A 廃液蒸留水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中	
		分解点検		6Y	—	2021年度			
		機能・性能試験		6F	—	2021年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		分解点検		6Y	—	2021年度			
		機能・性能試験		6F	—	2021年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
B 廃液蒸留水ポンプ		分解点検	低	6Y	○	2016年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	○	2016年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	○	2016年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	○	2016年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
A 洗浄排水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2019年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2019年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2019年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
A 洗浄排水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2019年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
B 洗浄排水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
B 洗浄排水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
酸液ドレンポンプ		分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
酸液ドレンポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-97 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
廃液蒸発装置 2基		分解点検	低	1C	○	1.5		プラント運転中	
		機能・性能試験		3Y~10Y	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-57 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-57 液体廃棄物処理系設備検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
A 廃液蒸発装置 一式		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		10F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-56 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-56 1次系安全弁検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
B 廃液蒸発装置 一式		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		10F	—	2020年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2020年度			GN3-56 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		6F	—	2020年度			GN3-56 1次系安全弁検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
V-WF-131 A 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2013年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		10F	—	2013年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2013年度			GN3-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		6F	—	2013年度			GN3-86 1次系安全弁検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
V-WF-231 B 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2013年度		プラント運転中	
		機能・性能試験		10F	—	2013年度			
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			
		分解点検		6Y	—	2013年度			GN3-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		6F	—	2013年度			GN3-86 1次系安全弁検査
		簡易点検 (油入替他)		1Y	○	2021年度			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
V-WE-174 中和剤注入装置酸性ソーダ注入ポンプ出口ライン逆がし弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度		
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
V-WE-374 薬品注入装置酸性ソーダ注入ポンプ出口ライン逆がし弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度		
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
V-WE-106 A. 脱液蒸発装置中和剤入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
		分解点検		10Y	—	2016年度		
V-WE-206 B. 脱液蒸発装置中和剤入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度		
		分解点検		10Y	—	2016年度		
V-WE-124 A. 脱液蒸発装置蒸発器 洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WE-224 B. 脱液蒸発装置蒸発器 洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
		分解点検		10Y	—	2018年度		
V-WE-225 B. 脱液蒸発装置蒸発器 上脱洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
		分解点検		10Y	—	2018年度		
V-WE-361A A. 脱液蒸発装置濃縮液サンプリングライン洗浄水逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
		分解点検		10Y	—	2018年度		
A. 使用済樹脂貯蔵タンク		外観点検	低	1C	○	15	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		外観点検		1C	○	15		
		外観点検		1C	○	15		
ベイヤ 一式		分解点検	低	3Y	○	2020年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
		機能・性能試験		1C	○	15		
燃焼式難固体廃棄物減容処理設備 一式		分解・開放点検	低	2Y~14Y	○	2021年度	03-87 1次系逆止弁検査 固体廃棄物処理系統中機能検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
		漏えい試験		10F	—	2018年度		
V-HI-4821 窒素タンク安全弁 (窒素ガス発生装置)		機能・性能試験	低	10F	—	2018年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		外観点検		10F	—	2018年度		
		外観点検		10F	—	2018年度		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
V-II-4647 C/F 逆送空気コンプレッサ第一段安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験				2017年度		
		機能・性能試験				2017年度		
		外観点検				2017年度		
V-II-4648 C/F 逆送空気コンプレッサ第二段安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験				2017年度		
		機能・性能試験				2017年度		
		外観点検				2017年度		
V-II-4342 三重田節節散水ライン逆止弁 (配排水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4478 アラニューレータ水位検出ライン逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4502 アラニューレータ水位検出ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4509 主燃焼室スリット燃焼空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4503 上燃焼室ハイローットバーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4575 補助燃焼室ハイローットバーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
		分解点検				2018年度		
V-II-4577 後燃焼室選流がし排気ラインバーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4587 補助燃焼室ITVサイトグラスバーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
V-II-4589 後燃焼室サイトグラスバーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4595 2次空気混合部燃焼空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4597 補助排ガスファン入口バーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
V-II-4599 補助排ガスファン出口バーナ空気逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
V-II-4711 上燃焼室バーナ燃料逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
V-II-4714 補助燃焼室バーナ燃料逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4804 三重田節節燃素ガス逆止弁 (低純度)		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4815 主燃焼室バーナバーナ逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
		分解点検				2015年度		
V-II-4819 補助燃焼室バーナバーナ逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
V-II-4889 N ₂ ポンプガス逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
		分解点検				2017年度		
セメント固化装置	機能・性能試験	機能・性能試験	低	1C	○	15	03-135 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	プラント運転中
		機能・性能試験						
		機能・性能試験						
		機能・性能試験						
セメント固化装置 一式	分解・開放点検	分解・開放点検	低	2Y~14Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検						
		分解点検						
		分解点検						
V-AC-3487 A C二酸化炭素供給装置安全弁		漏えい試験	低	10F	—	2018年度	03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験				2018年度		
		機能・性能試験				2018年度		
		外観点検				2018年度		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
V-AC-3507 濃縮装置蒸発缶安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-56 1次系安全弁検査	アラント運転中
		漏えい・異音 機能・性能試験		10F	—	2017年度		
V-AC-3758 機器洗浄水タンク水位計ブロー逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3761 機器洗浄水タンク出口ラインエアブロー逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3817 機器洗浄水タンク出口ラインエアブロー逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3643 凝縮水ポンプ出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3680 酸液ドレン受入タンク液位計洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3681 酸液ドレン受入タンク出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3682 酸液ドレン受入タンクライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3684 酸液ドレン受入ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3688A A 混練機ノズル洗浄用配水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3812 機器洗浄水上澄水タンク出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3813 機器洗浄水サランブルライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-AC-3814 機器洗浄水上澄水タンク水位計洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2016年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5310A A 原液受入タンク水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5310B B 原液受入タンク水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5313A A 原液受入タンク出口ライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5313B B 原液受入タンク出口ライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5314A A 原液受入タンクサランブルライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5314B B 原液受入タンクサランブルライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2017年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5320 予備凝縮液タンク水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5322 予備凝縮液タンク出口ライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5323 予備凝縮液サランブルライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5340 上澄水タンク水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5343 上海水サランブルライン洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2018年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	○	2013年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5380 前処理液p h計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	○	2012年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5407 濃縮装置蒸発缶水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
V-DW-5409 濃縮液タンク水位計洗浄逆止弁 (配塩水)		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中
		分解点検	低	10Y	—	2015年度	03-57 1次系逆止弁検査	アラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （）内は適用する設備診断技術
V-DW-010 濃縮タンク水位計ブロー逆止弁 種別体積却設備		分解点検	低	10Y	—	2015年度	G03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験	低	1C	○	15	G03-87 固体廃棄物処理システム卸中機能検査	プラント運転中
ZPC-003 フロハン気化器前送がし弁		分解点検	低	2Y~10Y	○	2020年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F	— —	2018年度 2018年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZCA-007 予熱器出口送がし弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2015年度 2015年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZIE-009 焼却炉送がし弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2015年度 2015年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZPC-009 気化器出口安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2017年度 2017年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZEX-005 灰取出口ボックス送がし弁		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2020年度 2020年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZCF-S01 加圧用蒸気タンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2019年度 2019年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZSA-123 1次Ce/Fバルブジェット逆浄装置逆送用空気源安全弁		分解点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2019年度 2019年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZNP-011 冷却水膨張タンク蒸気送がし弁		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2020年度 2020年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZNP-014 蒸気供給ライン送がし弁		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2020年度 2020年度	G03-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
ZEX-006 灰取出口ボックス逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2018年度 2018年度	G03-87 1次系逆止弁検査 G03-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
ZCA-001 燃焼空気送止弁		分解点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2020年度 2020年度	G03-87 1次系逆止弁検査 G03-88 1次系逆止弁検査	プラント運転中
ZNP-012 冷却水膨張タンク真空破壊弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		漏えい試験 機能・性能試験	低	10F	—	2017年度 2017年度	G03-88 1次系逆止弁検査 G03-88 1次系逆止弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定例回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術		
放射性廃棄物の廃棄施設 (原子炉格納容器本体水の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置)	補助建屋サンブタンク	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	GN3-59 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 機能検査 プラント運転中			
	格納容器サンブ	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	冷却貯蔵タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	A, B 使用済樹脂貯蔵タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	C 使用済樹脂貯蔵タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃液貯蔵タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃液蒸留水タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	洗淨排水処理設備室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃棄物処理建屋サンブタンク	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃棄物処理建屋A廃液受入タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃棄物処理建屋B廃液受入タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	廃棄物処理建屋予備濃縮液タンク室	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	機器洗浄水タンク	機能・性能試験	低	1C	○	1.5				
	補助建屋貯蔵建屋ドレンサンブタンク	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度				
	焼却炉廃液受入タンク室	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度				
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	格納容器内高レンジエリアモニタ 4台	特性試験	高	13M	○	1.5	GN3-209 エリアモニタ機能検査			
	1. エリアモニタ 14台	特性試験	低	13M	○	1.5	GN9-77 放射線監視装置機能検査			
	2. プロセスモニタ 21台	機能・性能試験		1C	○	1.5				
放射線管理施設 (排気設備)	1. モニタリングステーション * 1台	特性試験	低	13M	○	1.5	GN3-53 野外モニタ機能検査			
	2. モニタリングポスト * 2台									
	* (1~4号機共用、重大事故等時のみ3,4号機共用)									
	3. モニタリングタワー (フィールドモニタ) 1式									
	3V-IC-305A 3号 C/V水素ハーシガスライン外隔離弁A	駆動部点検	分解点検	高	130M	—	7			
									機能・性能試験	
									駆動部点検	
	3V-IC-305B 3号 C/V水素ハーシガスライン外隔離弁B	駆動部点検	分解点検	高	130M	—	7			
									機能・性能試験	
									駆動部点検	
	3V-IC-307A 3号 C/V水素ハーシガスライン内隔離弁A	駆動部点検	分解点検	高	10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査		
									機能・性能試験	
									駆動部点検	
	3V-IC-307B 3号 C/V水素ハーシガスライン内隔離弁B	駆動部点検	分解点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査		
									機能・性能試験	
電動機分解点検										
	駆動部点検	分解点検	高	130M	—	7				
								機能・性能試験		
								電動機分解点検		
	駆動部点検	分解点検	高	10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査			
								機能・性能試験		
								電動機分解点検		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	09-78 1次系換気空調設備検査	
	3 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	3 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4V	—	2020年度		プラント運転中
	3 B 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	3 B 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4V	—	2019年度		プラント運転中
	3 A 格納容器排気ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	低	2Y 6Y	○ ○	2020年度 2016年度		プラント運転中
	3 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4V	—	2020年度		プラント運転中
	3 B 格納容器排気ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	低	2Y 6Y	○ ○	2019年度 2015年度		プラント運転中
	3 B 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4V	—	2019年度		プラント運転中
	3 A 格納容器排気ファンユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	3 B 格納容器排気ファンユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	3V-AS-054 3号 C/V給気ライン外隔離弁	開放点検 分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	3V-AS-055 3号 C/V給気ライン内隔離弁	開放点検 分解点検	高	130M 130M	— —	9 9		
	3V-AS-056 3号 C/V排気ライン内隔離弁	開放点検 分解点検	高	130M 130M	— —	1.0 1.0		
	3V-AS-057 3号 C/V排気ライン外隔離弁	開放点検 分解点検	高	130M 130M	— —	9 9		
	30-AS-060A 3 A C/V排気ファン出口ダンパ	開放点検	高	52M	—	1.4		
	30-AS-060B 3 B C/V排気ファン出口ダンパ	開放点検	高	52M	—	1.5		
	30-AS-061 3号 C/V排気ダンパ	開放点検	高	52M	—	1.5		
	30-AS-061A 3 A C/V給気ファン出口ダンパ	開放点検	低	52M	—	1.4		
	30-AS-061B 3 B C/V給気ファン出口ダンパ	開放点検	低	52M	—	1.5		
	30-AS-062 3号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	開放点検	高	52M	—	1.4		
	30-AS-063 3号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	開放点検	高	52M	○	1.3		
	30-AS-068 3号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	開放点検	高	52M	—	1.4		
	30-AS-069 3号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	開放点検	高	52M	○	1.3		
	格納容器再循環装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	09-78 1次系換気空調設備検査	
	3 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	30M	—	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	3 A 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	1 5		
	3 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	1 4		
	3 B 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	1 4		
	3 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	1 5		
	3 C 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	1 5		
	3 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	1 4		
	3 D 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	1 4		
	3 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	1 5		冷却コイル点検含む
	3 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	1 5		冷却コイル点検含む
	3 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	1 5		冷却コイル点検含む
	3 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	1 5		冷却コイル点検含む
	格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	○	1 5	09-78 1次系換気空調設備検査	
	3 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	1 4		
	3 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	1 4		
	3 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	1 5		
	3 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	1 5		
	3号 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M	○	1 4		
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	1 5	09-38 アニュラス循環排気系機能検査	
	3 A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	1 4		(振動診断：1ヶ月)
	3 A アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	1 4		
	3 B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	1 5		(振動診断：1ヶ月)
	3 B アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	1 5		
	3 A アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	1 4		
	3 A アニュラス空気浄化フィルタユニット	機能・性能試験	高	2C	—	1 5	09-39 アニュラス循環排気系フィルタ—性能検査	
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	1 5		
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット	機能・性能試験	高	2C	○	1 4	09-39 アニュラス循環排気系フィルタ—性能検査	
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1 5		
	3F-NS-101A	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3 A アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火タンパ	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火タンパ	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3F-NS-102A	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3 A アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火タンパ	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3F-NS-102B	機能点検	高	13M	○	1 5		
	3 B アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火タンパ	機能点検	高	13M	○	1 5		
	30-NS-101A	駆動部点検	高	52M	—	1 4		
	3 A アニュラス空気浄化ファン入口タンパ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		
	3 B アニュラス空気浄化ファン入口タンパ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
3V-NS-102A 3 A アニュラス空気浄化缶駆排気弁		分解点検	高	52M	—	1 5	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1 5		
3V-NS-102B 3 B アニュラス空気浄化缶駆排気弁		分解点検	高	52M	—	1 4	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1 4		
3V-NS-103A 3 A アニュラス空気浄化少駆排気弁		分解点検	高	52M	—	1 5	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1 5		
3V-NS-103B 3 B アニュラス空気浄化少駆排気弁		分解点検	高	52M	—	1 4	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	1 4		
3D-NS-104A 3 A アニュラス戻りダンパ		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		駆動部点検		52M	—	1 4		
3D-NS-104B 3 B アニュラス戻りダンパ		駆動部点検	高	52M	○	1 3		
		駆動部点検		52M	○	1 3		
補助建屋空調装置		機能・性能試験	高	1C	○	1 5	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 GN3-78 1次系換気空調設備検査	定検停止中又はプラント運転中
		簡易点検 (油入替他)		2Y	○	2 0 2 0年度		
3 A 補助建屋給気ファン		分解点検	低	6Y	—	2 0 1 8年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2 0 1 8年度		
3 B 補助建屋給気ファン		簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2 0 1 9年度		
3 B 補助建屋給気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 2 0年度		
3 C 補助建屋給気ファン		簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2 0 2 0年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2 0 2 0年度		
3 C 補助建屋給気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2 0 2 0年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 2 0年度		
3 A 補助建屋排気ファン		簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2 0 1 8年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2 0 1 8年度		
3 A 補助建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	○	2 0 1 8年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 1 9年度		
3 B 補助建屋排気ファン		簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2 0 1 9年度		
3 B 補助建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 2 0年度		
3 C 補助建屋排気ファン		簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2 0 2 0年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2 0 2 0年度		
3 C 補助建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	4Y	—	2 0 2 0年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 2 0年度		
3 A 補助建屋排気ファンユニット		開放点検	低	6Y	—	2 0 1 8年度		プラント運転中
		開放点検		6Y	—	2 0 1 8年度		
3 B 補助建屋排気ファンユニット		開放点検	低	6Y	—	2 0 1 9年度		プラント運転中
		開放点検		6Y	—	2 0 1 9年度		
3 A 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	6Y	—	2 0 1 8年度		プラント運転中
		開放点検		6Y	—	2 0 1 8年度		
3 B 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	6Y	—	2 0 1 9年度		プラント運転中
		開放点検		6Y	—	2 0 1 9年度		
3D-NS-105 3号 排気出入口第一ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	1 4		
		駆動部点検		52M	—	1 4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
30-NS-106 3号 排気吸入口第二ダンパ		駆動部点検	高	52M	○	1.2		
30-NS-201A 3 A. A/B給気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	—	1.4		
30-NS-201B 3 B. A/B給気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	—	1.5		
30-NS-201C 3 C. A/B給気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	○	1.2		
30-NS-307A 3 A. A/B排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	—	1.4		
30-NS-207B 3 B. A/B排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	—	1.5		
30-NS-207C 3 C. A/B排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	低	52M	○	1.2		
安全補機室空気浄化設備		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	0N3-78 1次系換気空調設備検査	(稼働診断：1ヶ月)
3 A 安全補機室空気浄化ファン		分解点検	高	52M	—	1.5		
3 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機		分解点検	高	52M	—	1.5		(稼働診断：1ヶ月)
3 B 安全補機室空気浄化ファン		分解点検	高	52M	○	1.2		(稼働診断：1ヶ月)
3 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機		分解点検	高	52M	○	1.3		(稼働診断：1ヶ月)
3号 安全補機室空気浄化フィルタユニット		開放点検	高	26M	○	1.4		
		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	0N3-94 1次系換気空調設備検査 (換気空調系の分解等)	
3号 安全補機室空気浄化フィルタユニット A電気加熱コイル		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3号 安全補機室空気浄化フィルタユニット B電気加熱コイル		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3F-NS-302 3号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火ダンパ		機能点検	高	13M	○	1.5		
3F-NS-303 3号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ		機能点検	高	13M	○	1.5		
30-NS-310A 3 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	1.4		
30-NS-210B 3 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ		駆動部点検	高	52M	○	1.3		
30-NS-311A 3 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	1.4		
30-NS-311B 3 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M	○	1.3		
3 A 安全補機室冷却ファン		分解点検	高	52M	—	1.5		
3 A 安全補機室冷却ファン用電動機		分解点検	高	39M	—	1.5		
3 B 安全補機室冷却ファン		分解点検	高	52M	○	1.2		
3 B 安全補機室冷却ファン用電動機		分解点検	高	39M	—	1.4		
3 A 安全補機室冷却ユニット		開放点検	高	26M	—	1.5		
3 B 安全補機室冷却ユニット		開放点検	高	26M	○	1.4		
3F-NS-211A 3 A 赤てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
3F-NS-211B 3 B 赤てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
3F-NS-212A 3 A 赤てんポンプ室排気防火ダンパ		機能点検	高	26M	○	1.4		
3F-NS-212B 3 B 赤てんポンプ室排気防火ダンパ		機能点検	高	26M	○	1.4		
3F-NS-213A 3 A 赤てんポンプ室給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中
3F-NS-213B 3 B 赤てんポンプ室給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2019年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	3F-NS-215 3号 赤てんポンプバブルエア給気防火ダンパ	機能点検	高	2T	○	2019年度		プラント運転中
	3F-NS-216 3号 赤てんポンプバブルエア排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-217A 3号 B赤てんポンプ送給気防火ダンパA	機能点検	高	2T	○	2019年度		プラント運転中
	3F-NS-217B 3号 B赤てんポンプ送給気防火ダンパB	機能点検	高	2T	○	2019年度		プラント運転中
	3F-NS-218A 3号 B赤てんポンプ送排気防火ダンパA	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-218B 3号 B赤てんポンプ送排気防火ダンパB	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-222 3号 封水注入フィルタエリアA系給気防火ダンパ	機能点検	高	2T	○	2019年度		プラント運転中
	3F-NS-223 3号 封水注入フィルタエリアB系給気防火ダンパ	機能点検	高	2T	○	2019年度		プラント運転中
	3F-NS-224 3号 封水注入フィルタエリアA系排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-225 3号 封水注入フィルタエリアB系排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-301A 3 A 安全補機送給気浄化系防火ダンパ	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3F-NS-301B 3 B 安全補機送給気浄化系防火ダンパ	機能点検	高	26M	○	1.4		
	3D-NS-301 3号 安全補機送給気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3D-NS-302 3号 安全補機送給気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	1.2		
	3D-NS-307 3号 安全補機送排気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	1.2		
	3D-NS-308 3号 安全補機送排気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3E-NS-303A 3 A 安全補機送冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	1.5		
	3E-NS-303B 3 B 安全補機送冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	1.5		
	3E-NS-304A 3号 封水注入フィルタエリア給気逆止ダンパA	機能点検	高	130M	—	1.4		
	3E-NS-304B 3号 封水注入フィルタエリア給気逆止ダンパB	機能点検	高	130M	—	1.4		
	3E-NS-305A 3号 封水注入フィルタエリア排気逆止ダンパA	機能点検	高	130M	—	1.4		
	3E-NS-305B 3号 封水注入フィルタエリア排気逆止ダンパB	機能点検	高	130M	—	1.4		
	3E-NS-306A 3 A 安全補機送排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	3E-NS-306B 3 B 安全補機送排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	3E-NS-312A 3 A 安全補機送給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	3E-NS-312B 3 B 安全補機送給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	7		
	3 A 安全補機閉閉器空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M	○	1.4		（振動診断；切替毎）
	3 A 安全補機閉閉器空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4		（振動診断；切替毎）
	3 B 安全補機閉閉器空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M	—	1.5		（振動診断；切替毎）
	3 B 安全補機閉閉器空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.5		（振動診断；切替毎）
	3 A 安全補機閉閉器空調ユニット	開放点検	高	26M	○	1.4		（振動診断；切替毎）
	3 B 安全補機閉閉器空調ユニット	開放点検	高	26M	—	1.5		（振動診断；切替毎）

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	30-NS-532A 3 A SWGR空調ユニット入口連絡タンバ	駆動部点検	高	52M	—	1 4		
	30-NS-532B 3 B SWGR空調ユニット入口連絡タンバ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		
	30-NS-533A 3 A SWGR空調ユニット入口タンバ	駆動部点検	高	52M	—	1 4		
	30-NS-533B 3 B SWGR空調ユニット入口タンバ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		
	30-NS-534A 3 A SWGR空調ファン出口タンバ	駆動部点検	高	52M	—	1 4		
	30-NS-534B 3 B SWGR空調ファン出口タンバ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		
	30-NS-535A 3 A SWGR給気連絡タンバ	駆動部点検	高	52M	—	1 4		
	30-NS-535B 3 B SWGR給気連絡タンバ	駆動部点検	高	52M	○	1 3		
	30-NS-536A 3 A インバータ室給気第一防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-536B 3 B インバータ室給気第一防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-537A 3 A インバータ室給気第二防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-537B 3 B インバータ室給気第二防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-538A 3 A E.P.燃室給気防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-538B 3 B E.P.燃室給気防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-539A 3 A SWGR室戻り第一防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-539B 3 B SWGR室戻り第一防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-540A 3 A 継電器室給気第一防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-540B 3 B 継電器室給気第一防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-541A 3 A 継電器室戻り防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-541B 3 B 継電器室戻り防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-542A 3 A 継電器室給気第二防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-542B 3 B 継電器室給気第二防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-543A 3 A 継電器室戻り防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-543B 3 B 継電器室戻り防火兼流量設定タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-544A 3 A 継電器室給気防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-544B 3 B 継電器室給気防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-545A 3 A 継電器室戻り防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中
	30-NS-545B 3 B 継電器室戻り防火タンバ	機能点検	高	2Y	○	2 0 2 1 年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3 A 中間種機線空調ファン		簡易点検 (油入替他)	高	26M	○	1.4		
		分解点検		52M	—	1.4		
3 A 中間種機線空調ファン用電動機		分解点検	高	52M	—	1.4		
		簡易点検 (油入替他)	高	26M	—	1.5		
3 B 中間種機線空調ファン		分解点検	高	52M	—	1.5		
		簡易点検	高	52M	—	1.5		
3 B 中間種機線空調ファン用電動機		分解点検	高	52M	—	1.5		
		開放点検	高	52M	—	1.4		
3 B 中間種機線空調ユニット		開放点検	高	52M	—	1.5		
		機能点検	高	130M	—	1.3		
3 B M/D A F W P 室給気防火兼流量設定ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B M/D A F W P 室戻り防火兼流量設定ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A 制御用空気圧縮機送給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B 制御用空気圧縮機送給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A 制御用空気圧縮機室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B 制御用空気圧縮機室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A 空調用冷凍機室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B 空調用冷凍機室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A 空調用冷凍機送給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A D/G 電気盤送給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B D/G 電気盤送給気防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 A D/G 電気盤室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
3 B D/G 電気盤室戻り防火ダンパ		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		プラント運転中
		機能点検	高	2Y	○	2.0.20年度		
中央制御室空調装置		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	083-78 1次系機室空調設備検査	
中央制御室		漏えい試験	高	6F	○	1.3	089-214 中央制御室の居住性確認検査	
3 A 中央制御室空調ユニット		開放点検	高	26M	—	1.5		
3 B 中央制御室空調ユニット		開放点検	高	26M	○	1.4		
3 A 中央制御室空調ファン		簡易点検 (油入替他)	高	26M	—	1.5		(振動診断：別冊付)
		分解点検	高	52M	—	1.5		

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	3 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.5		(振動診断; 切替症)
	3 B 中央制御室空調ファン	簡易点検 (油入替他) 分解点検	高	26M 52M	○ —	1.4 1.4		(振動診断; 切替症)
	3 B 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4		(振動診断; 切替症)
	3 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3 A 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3 A 中央制御室室外気取入ダンパ	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 中央制御室室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 A 中央制御室室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3 B 中央制御室室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3 A 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 B 中央制御室室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 A 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 B 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3 A プラントデータ管理センター室給気第一助火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3 B プラントデータ管理センター室給気第二助火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3 A 中央制御室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3 B 中央制御室戻り防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3 A 中央制御室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3 B プラントデータ管理センター室戻り防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	3号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-41 中央制御室非常用循環系フィルタ-性能検査	
	3 A 中央制御室非常用循環ファン	開放点検	高	26M	○	1.4		
	3 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	○	1.4		(振動診断; 1ヶ月)
	3 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	1.4		(振動診断; 1ヶ月)
	3 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	1.5		(振動診断; 1ヶ月)
	3号 中央制御室非常用循環フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		(振動診断; 1ヶ月)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	3号 中央制御室非常用循環フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	3F-NS-604 3号 中央制御室給気第一防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3F-NS-605 3号 中央制御室給気第二防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3F-NS-608 3号 中央制御室非常用循環F/U入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3F-NS-609 3号 中央制御室非常用循環F/U出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	1.5		
	3D-NS-605A 3A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3D-NS-605B 3B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3D-NS-2841 3A 中央制御室非常用外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3D-NS-2842 3A 中央制御室非常用循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	3D-NS-2851 3B 中央制御室非常用外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	3D-NS-2852 3B 中央制御室非常用循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.5		
	中央制御室排気ファン	分解点検	低	65M	○	1.1	NS-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	中央制御室排気ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	1.4		
	D-NS-610 中央制御室排気ファン入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	1.4		
	D-NS-611 中央制御室排気ファン入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	1.3		
	3A ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	1.4		
	3A ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	1.4		
	3B ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	1.5		
	3B ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	1.5		
	3A ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	3B ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
	3F-NS-201 3号 ほう酸ポンプ室給気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中	
	3F-NS-204 3号 ほう酸ポンプ室排気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中	
	3G-NS-210A 3A ほう酸ポンプ室空調ファン出口遮止ダンパ	機能点検	高	130M	○	2010年度		
	3G-NS-210B 3B ほう酸ポンプ室空調ファン出口遮止ダンパ	機能点検	高	130M	○	2010年度		
	3A デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3A デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3B デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3B デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3C デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3C デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.5		
	3D デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3D デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	1.4		
	3F-NS-101A 3A、D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術
3F-NS-401B 3 B D / G 密 給 気 防 火 兼 流 量 設 定 タ ン バ 3F-NS-401C 3 C D / G 密 給 気 防 火 兼 流 量 設 定 タ ン バ 3F-NS-401D 3 D D / G 密 給 気 防 火 兼 流 量 設 定 タ ン バ 40-NS-402A 3 A D / G 密 排 気 タ ン バ 30-NS-402B 3 B D / G 密 排 気 タ ン バ 3C-NS-401A 3 A D / G 密 給 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ 3C-NS-401B 3 B D / G 密 給 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ 3C-NS-401C 3 C D / G 密 給 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ 3D-NS-401D 3 D D / G 密 給 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ 試 料 採 取 室 空 調 装 置	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中		
	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中		
	機能点検	高	2Y	○	2020年度	プラント運転中		
	駆動部点検	高	65M	—	—	1.4		
	駆動部点検	高	65M	—	—	1.5		
	機能点検	高	10Y	—	—	2020年度		プラント運転中
	機能点検	高	10Y	—	—	2020年度		プラント運転中
	機能点検	高	10Y	—	—	2020年度		プラント運転中
	機能点検	高	10Y	—	—	2020年度		プラント運転中
	機能・性能試験	高	1C	○	—	1.5		09-78 1次系換気空調設備検査
A 試 料 採 取 室 給 気 フ ァ ン A 試 料 採 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機 B 試 料 採 取 室 給 気 フ ァ ン B 試 料 採 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機 A 試 料 採 取 室 給 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 用 電 動 機 B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 用 電 動 機 A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 入 口 逆 止 タ ン バ B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 用 電 動 機 試 料 採 取 室 給 気 ニ ュ ー ト 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ イ ル タ ル ニ ュ ー ト D-NS-702A A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 入 口 タ ン バ D-NS-702B B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 入 口 タ ン バ D-NS-703A A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 出 口 タ ン バ D-NS-703B B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 出 口 タ ン バ 燃 料 取 取 室 空 調 装 置	分解点検	低	4Y	○	2018年度	プラント運転中		
	分解点検	低	4Y	○	2018年度	プラント運転中		
	分解点検	低	4Y	○	2019年度	プラント運転中		
	分解点検	低	4Y	—	—	2019年度		プラント運転中
	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	—	2020年度		プラント運転中
	分解点検	低	4Y	○	—	2018年度		プラント運転中
	分解点検	低	4Y	○	—	2018年度		プラント運転中
	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	—	2021年度		プラント運転中
	分解点検	低	4Y	○	—	2019年度		プラント運転中
	分解点検	低	4Y	—	—	2019年度		プラント運転中
開 放 点 検 機 能 ・ 性 能 試 験 開 放 点 検 D-NS-702A A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 入 口 タ ン バ D-NS-702B B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 入 口 タ ン バ D-NS-703A A 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 出 口 タ ン バ D-NS-703B B 試 料 採 取 室 排 気 フ ァ ン 出 口 タ ン バ 燃 料 取 取 室 空 調 装 置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	09-78 1次系換気空調設備検査		
	開放点検	低	52M	○	1.5			
	駆動部点検	高	52M	—	—	1.4		
	駆動部点検	高	52M	—	—	1.5		
	駆動部点検	高	52M	—	—	1.4		
	駆動部点検	高	52M	—	—	1.5		
	機能・性能試験	低	1C	○	—	1.5		09-78 1次系換気空調設備検査
	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	—	2020年度		プラント運転中
	分解点検	低	6Y	—	—	2020年度		プラント運転中
	分解点検	低	4Y	—	—	2020年度		プラント運転中
A 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン A 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機 B 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン B 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	—	2020年度	プラント運転中	
	分解点検	低	6Y	—	—	2020年度	プラント運転中	
A 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機 B 燃 料 取 取 室 給 気 フ ァ ン 用 電 動 機	分解点検	低	4Y	—	—	2020年度	プラント運転中	
	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	—	2019年度	プラント運転中	
分解点検	低	6Y	—	—	2021年度	プラント運転中		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	B 燃料取扱機排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 燃料取扱機排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ —	2020年度 2020年度		プラント運転中
	A 燃料取扱機排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 燃料取扱機排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ —	2019年度 2021年度		プラント運転中
	B 燃料取扱機排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	燃料取扱機排気ファン用電動機	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	燃料取扱機排気ファン用電動機	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	燃料取扱機排気ファン用電動機	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	燃料取扱機排気ファン用電動機	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	30-VS-256A 3 A F H / B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	1.4		
	30-VS-256B 3 B F H / B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	1.5		
	出入管理室空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	093-78 1次系換気空調設備検査	定検中止中又はプラント運転中
	A 出入管理室給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ ○	2020年度 2016年度		プラント運転中
	A 出入管理室排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 出入管理室給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ ○	2019年度 2015年度		プラント運転中
	B 出入管理室排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 出入管理室給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ ○	2020年度 2016年度		プラント運転中
	A 出入管理室排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 出入管理室給気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y 6Y	○ ○	2019年度 2015年度		プラント運転中
	B 出入管理室排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	出入管理室給気ユニット	開放点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中
	0-VS-658A A 出入管理室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	1.5		
	0-VS-658B B 出入管理室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	1.4		
	ベイラ排気装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	093-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	ベイラ排気ファン	分解点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中
	ベイラ排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	ベイラ排気ファン用電動機	開放点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中
	廃棄物処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	093-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	A 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	○	2017年度		プラント運転中
	A 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	B 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	A 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y	○	2017年度		プラント運転中
	A 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	B 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	C 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y	○	2017年度		プラント運転中
	C 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	オフガス装置	機能・性能試験	低	1C	○	1.5	GN-78 1次系排気空調設備検査	プラント運転中
	A オフガスファン	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	○	2018年度		
	A オフガスファン用電動機	分解点検	低	3Y	—	2019年度		プラント運転中
	B オフガスファン	簡易点検 (油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	—	2021年度		
	B オフガスファン用電動機	分解点検	低	3Y	○	2018年度		プラント運転中
	廃棄物処理建屋給気ユニット	開放点検	低	9Y	○	2015年度		プラント運転中
	A 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	9Y	○	2015年度		プラント運転中
	B 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	9Y	○	2015年度		プラント運転中
	A オフガスフィルタ	開放点検	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	B オフガスフィルタ	開放点検	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	D-WS-5875 WD / B 給気元タンバ	駆動部点検	低	14Y	○	2011年度		プラント運転中
	D-WS-5876 WD / B 排気元タンバ	駆動部点検	低	14Y	○	2011年度		プラント運転中
	3V-CHT-101 空調用冷水膨脹タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1.5	GN-58 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	3V-CHP-262 3号 空調用冷水膨脹タンク純水補給弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.6回定検より追加
	3 A 空調用冷凍機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検		39M	—	1.5		
		非破壊試験		39M	—	1.5		
	3 A 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M	—	1.5		
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5		
		分解点検	高	39M	—	1.4		
		非破壊試験		39M	—	1.4		
	3 B 空調用冷凍機	分解点検	高	39M	—	1.4		
		簡易点検		39M	—	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3 C 空調用冷凍機		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.5		
		非破壊試験			—	1.5		
3 C 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	1.5		
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.4		
3 D 空調用冷凍機		非破壊試験	高	39M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
		簡易点検 (油入替他)			—	1.4		
3 D 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	1.4		
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.5		
3 A 空調用冷水ポンプ		分解点検	高	39M	—	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	39M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
3 A 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	1.4		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.4		
3 B 空調用冷水ポンプ		分解点検	高	39M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	39M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
3 B 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.5		
3 C 空調用冷水ポンプ		分解点検	高	39M	—	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	39M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
3 C 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	1.4		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.5		
3 D 空調用冷水ポンプ		分解点検	高	39M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	39M	—	1.4		
		分解点検			—	1.4		
3 D 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		
		分解点検			—	1.5		
3号 空調用冷水膨張タンク		開放点検	高	130M	—	1.5		
		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検			—	1.2		
3V-CH-354 3号 DRPI室冷却ユニット出入口外漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	9	GN3-55 1次系弁検査	
		分解点検			—	1.2		
		簡易点検 (油入替他)			—	1.2		
3V-CH-358 3号 DRPI室冷却ユニット出入口外漏離弁		駆動部点検	高	130M	—	9	GN3-55 1次系弁検査	
		分解点検			—	1.2		
		簡易点検 (油入替他)			—	1.2		
3V-CH-253 3号 空調用冷水膨張タンクN。供給逃がし弁		分解点検	低	10C	—	1.0	GN3-56 1次系安全弁検査	
		漏えい試験			—	1.0		
		機能・性能試験			—	1.0		
3V-CH-356 3号 DRPI室冷却ユニット逃がし弁		分解点検	低	130M	—	1.0	GN3-56 1次系安全弁検査	
		漏えい試験			—	1.0		
		機能・性能試験			—	1.0		
3V-CH-500 3号 空調用冷水C母管逃がし弁		分解点検	低	130M	—	1.0	GN3-56 1次系安全弁検査	
		漏えい試験			—	1.0		
		機能・性能試験			—	1.0		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉格納容器 (原子炉格納容器)	3TCV-2760 3 A 1/B空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	3TCV-2770 3 B 1/B空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
	3TCV-2780 3 A SWGR空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
	3TCV-2790 3 B SWGR空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	3TCV-2848 3 A 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	3TCV-2858 3 B 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁	駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
	3V-CH-016A 3 A 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
	3V-CH-016B 3 B 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
	3V-CH-017A 3 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	1.2		
	3V-CH-017B 3 B 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3V-CH-020 3号 C冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検		130M	—	9			
	電動機分解点検		130M	—	9			
3V-CH-021 3号 C冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検		130M	—	9			
	電動機分解点検		130M	—	9			
1. 「1号弁」及び「1号弁上UV弁等との一設」により隔離される弁 65個 2. 「1号弁」により隔離される弁 10個	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	漏えい試験	高	3C	○	1.3	GN-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査		
原子炉格納容器	非破壊試験	高	5年間	—	1.4	GN-105 プレスレスコンクリート格納容器使用期間中検査		
	外観点検 (T=5.70~4)	高	10C	—	1.0			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 (圧力収容設備その他の安全設備)	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	1.5	GN-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		開放点検		13M	○	1.5		
	非常用エアロック	分解点検 (イソキギ7及び駆動部)	高	65M	—	1.3		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		漏えい試験		1C	○	1.5	GN-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	機器類入口	開放点検	高	13M	○	1.5		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		漏えい試験		65M	—	1.3		
	配管貫通部 8個, 電線貫通部 46個	開放点検	高	1C	○	1.5		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		漏えい試験		13M	○	1.5	GN-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	燃料移送管	開放点検	高	1C	○	1.5		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		漏えい試験		13M	○	1.5	GN-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器隔離弁 52個	開放点検	高	1C	○	1.5		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		漏えい試験		13M	○	1.5	GN-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器スプレイス ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・主-1号駆動弁 6個 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	○	1.5		定期事業者検査は36ヶ月で2回実施
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5		
	3 A 格納容器スプレイポンプ	分解点検 (注-3a1号→取替)	高	52M	—	1.4		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		104M	—	1.4	GN-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
	3 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		78M	—	1.3		
	3 B 格納容器スプレイポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検 (注-3b1号→取替)		52M	—	1.5		
3 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	分解点検	高	104M	—	1.5	GN-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)	
	簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5			
3 A 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	78M	○	1.0		(振動診断: 1ヶ月)	
	開放点検		130M	—	1.3			
3 B 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M	—	1.3		(振動診断: 1ヶ月)	
	開放点検		130M	—	1.3			
3号より蒸気除去薬品タンク	開放点検	高	130M	—	1.3		(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		130M	—	1.5	GN-58 1次系蒸気破壊弁検査		
3V-CPT-101 より蒸気除去薬品タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1.5	GN-58 1次系真空破壊弁検査	(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		130M	—	1.5	GN-58 1次系真空破壊弁検査		
3V-CPT-102 より蒸気除去薬品タンク真空逃がし弁	駆動部点検	高	130M	—	1.0		(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		130M	—	1.0			
3V-CP-001A 3 A C/VスプレイポンプRWST側入口弁	電動機分解点検	高	130M	—	1.0		(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		130M	—	1.0			
	電動機分解点検		130M	—	1.0			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-CP-001B 3 B C/VスプレイポンプRWST側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	1 0		
		分解点検		130M	—	1 0		
		電動機分解点検		130M	—	1 0		
3V-CP-014A 3 A C/Vスプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 3		
		分解点検	高	130M	—	1 0		
		駆動部点検	高	130M	○	6	GN3-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
3V-CP-021A 3 A C/Vスプレイライライン外隔離弁		分解点検	高	130M	○	6		
		電動機分解点検	高	130M	○	6		
		駆動部点検	高	130M	—	7		
3V-CP-024B 3 B C/Vスプレイライライン外隔離弁		分解点検	高	130M	—	7	GN3-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	1 1		
		駆動部点検	高	130M	—	8		
3V-CP-051A 3 A よう素除去薬品注入弁		分解点検	高	130M	—	8	GN3-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		駆動部点検	高	130M	—	8		
3V-CP-054B 3 B よう素除去薬品注入弁		分解点検	高	130M	—	8	GN3-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		駆動部点検	高	130M	—	8		
3V-CP-056A 3 A よう素除去薬品注入弁後弁		分解点検	高	130M	—	8		
		機能・性能試験	高	10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	8		
3V-CP-056B 3 B よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検	高	130M	—	8		
		機能・性能試験	高	10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
3V-CP-068 3号 よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	1 3		
		漏えい試験	低	10C	—	1 3	GN3-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験	低	10C	—	1 3		
3V-CP-084 3号 AM用水消火ライン止弁		分解点検	高	130M	—	1 3		
		分解点検	高	130M	—	9	GN3-87 1次系逆止弁検査	
		開放点検	低	13M	○	1 5	GN3-94 1次系換気空調設備検査 (換気空調系の分解等)	
3号 格納容器減圧排気フィルタユニット 3号 AM用水消火ライン止弁		機能・性能試験	低	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	低	1C	○	1 5		
		機能・性能試験	低	1C	○	1 5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-PP-31A 3号 C/V減圧ライン内隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	8	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-PP-31B 3号 C/V減圧ライン内隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	8	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
3V-PP-31A 3号 C/V減圧ライン外隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-PP-31B 3号 C/V減圧ライン外隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	7	GN-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
3V-PP-035 3号 A/L所内用空気加圧ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	1.0		
		漏えい試験		10C	—	1.0		
		機能・性能試験		10C	—	1.0		
3V-RM-001 3号 C/V空気サンプリング取出ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-RM-002 3号 C/V空気サンプリング取出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		65M	—	1.2		
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-RM-008 3号 C/V空気サンプリング戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		65M	—	1.2		
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-TG-009 3号 炉内核計測装置ガスハーフライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-TG-010 3号 炉内核計測装置ガスハーフライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.5		
		分解点検		130M	—	1.5		
		電動機分解点検		130M	—	1.5		
3V-FS-502 3号 水消火ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.0	GN-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.0		
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3V-FS-536 3号 AM用水消火ライン第一隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
3V-FS-527 3号 AM用水消火ライン第二隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.0		
		分解点検		130M	—	1.0		
		電動機分解点検		130M	—	1.0		
3A サンプル冷却器		外観点検	高	1C	○	—		第1.6回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 する 設 備 診 断 技 術
3V-SS-503 3号 加圧器気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	1.2	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.4		
3V-SS-523 3号 加圧器液相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	1.5	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	1.2		
3V-SS-524 3号 加圧器, Aルーブサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	1.2		
3V-SS-543A 3号 Aルーブサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	7		
3V-SS-543B 3号 Bルーブサンプルライン内隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	8		
3V-SS-544 3号 Bルーブサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	1.3		
3V-SS-548A 3 A 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		電動機分解点検	高	130M	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	7		
3V-SS-548B 3 B 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	1.2		
3V-SS-563A 3 A 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1.1	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.1		
3V-SS-563B 3 B 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	6		
3V-SS-563C 3 C 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.5		
3V-SS-563D 3 D 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.5		
3V-SS-564 3号 蓄圧タンクサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1.5		
3V-SS-587 3号 V.C.T.気相部サンプル元弁		駆動部点検	低	130M	—	9	GN3-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	1.3		
3V-SS-620 3号 事故時1次冷却材サンプルライン外隔離弁		機能・性能試験	高	5C	—	1.3	GN3-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	1.0		
		分解点検	高	130M	—	1.0	GN3-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.0		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術		
原子炉施設 (その他設備)	3W-SS-658 3号 C/V 蒸気ガスサンプララライン逆止弁	分解点検 駆動部点検	低	130M	—	1.0	GN-87 1次系逆止弁検査			
	3V-SS-691 3号 C/V 蒸気ガスサンプララライン外漏継弁	分解点検 機能・性能試験	高	65M	—	1.4				
原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験 漏えい試験	高	10年間	○	1.5	GN-1 クラス1機器供用期間中検査	[SI]プログラムによる。[別紙-1]		
		非破壊試験	高	1C	○	1.5				
		7年間, 10年間	○	1.5						
	N1 基合金溶接部 1式	外観検査 (X線)	高	3C	○	1.3				
			5年間, 10年間	○	1.5					
			1C	○	1.5					
	原子炉施設 (その他設備)	クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験 漏えい試験	高	10年間	○	1.5	GN-5 クラス2機器供用期間中検査	[SI]プログラムによる。[別紙-2]	
			非破壊試験	高	10年間	○	1.5			
			GN-99 クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	○	1.5					
		原子炉施設 (その他設備)	クラス2管 (原子炉格納容器内) のうち 一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1式	非破壊試験	高	10C	—	1.4	GN-103 耐震健全性検査	
				外観点検	高	10C	—	1.5	GN-103 耐震健全性検査	
				外観点検	高	10C	○	1.0	GN-103 耐震健全性検査	
C/V E.L. -4.7m 【管内】			外観点検	高	10C	—	1.1	GN-103 耐震健全性検査		
			外観点検	高	10C	—	1.1	GN-103 耐震健全性検査		
			外観点検	高	10C	—	1.1	GN-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. -1.3.0m 【管内】			外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査		
			外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査		
			外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査		
A/B E.L. -1.8.0m 【管内】	外観点検		高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査			
	外観点検		高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査			
	外観点検		高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査			
A/B E.L. -1.8.0m (中間床) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -1.3.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
A/B E.L. -1.1.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -1.3.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
A/B E.L. -1.1.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -5.2m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
A/B E.L. -3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -5.2m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
A/B E.L. -3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
A/B E.L. -3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
R/B E.L. -1.1.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				
	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	A/B E.L. 1.1. 3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 1.1. 3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 1.1. 3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 1.1. 3m (中間床) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 2.0. 4m (屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 1.9. 2.5m (屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	屋外 (取水ビット、海水管ダクト、放水ビット)	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	WD/B	外観点検	低	10C	—	1.3	GN-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	—
	余熱除去冷却器 (銅側)	非破壊試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器 (銅側)	非破壊試験	高	10年間	—	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	D/G清冷水冷却器	非破壊試験	高	10年間	○	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	D/G潤滑油冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水ポンプ	非破壊試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	配管	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	漏えい検査	—	—	—	—	—	—	—
	A, B 使用済燃料ビットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A, B 使用済燃料ビットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク及び吸入ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	A, B 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	C, D 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	B 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	1.3	GN-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	制御用空気Cヘッダーライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	A デイゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	○	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	B デイゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A デイゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	B デイゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	外観点検	—	—	—	—	—	—	—
	C/V E.L. -4.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.5	GN-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 11.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	○	1.0	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.8.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.1	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.8.0m (中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.1	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.8.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.1	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.3.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.1.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.1.0m (中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.3.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -1.1.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.2	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -5.2m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -3.5m (中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -5.2m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. -3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管内】 (WST/B E.L.0.0m)	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 1.1.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 1.1.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 1.1.3m (中間床) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 2.0.4m (線L) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 1.9.2.5m (線L) 【管外】	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	
	屋外 (取水ピット、海水管ダクト、放水ピット)	外観点検	高	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン (非凝、円板、副板、噴口)	WD/B	外観点検	低	10C	—	1.3	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.4	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	低	10C	—	1.5	GN-103 曲げモーメント検査		
		外観点検	低	10C	—	1.5	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	高	10F	—	2019年度	GN-104 構造健全性検査		
		外観点検	高	10C	—	1.0	GN-114 レストレイメント検査		
	高圧タービン	WI/B (1~4号機共用)	外観点検	高	10C	—	1.0	GN-114 レストレイメント検査	
			外観点検	高	10C	—	1.0	GN-114 レストレイメント検査	
			外観点検	高	10C	—	1.0	GN-114 レストレイメント検査	
			外観点検	高	1C	○	1.5	GN-127 2次系配管検査	
			外観点検	高	4C	○	1.4	GN-127 2次系配管検査	
			非破壊試験	高	余寿命による	○	1.5	GN-127 2次系配管検査	
			非破壊試験	高	余寿命による	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査	
			非破壊試験	高	余寿命による	○	1.5	GN-136 主蒸気・主給水配管検査	
			開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査	
			開放点検 (非破壊)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査	
第1低圧タービン	高圧タービン	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (組立状況)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	39M	○	1.3	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (組立状況)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	1C	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
第2低圧タービン	高圧タービン	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検 (非破壊)	低	39M	—	1.4	GN-129 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン (调速装置及び非常调速装置並び に调速装置で制御される主蒸汽)	第3 低圧タービン	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (非破壊)		1C	○	1.5			
		開放点検 (組立状況)		13M	○	1.5			
		機能・性能試験 (保安装置)		39M	—	1.5			
	蒸気タービン本体及びその附属設備	開放点検 (組立状況)	1C	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査 GN3-55 総合負荷性能検査	定検起動後
		機能・性能試験 (保安装置)	1C		○	1.5			
		総合性能試験 (負荷)	1C		○	1.5			
		機能・性能試験 (保安装置)	1C		○	1.5			
	# 1 主蒸汽止め弁	タービン调速装置・非常调速装置	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
			開放点検 (目視)		39M	—	1.5		
			開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5		
			開放点検 (組立状況)		3C	—	1.5		
# 2 主蒸汽止め弁		開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (目視)		39M	○	1.3			
		開放点検 (非破壊)		39M	○	1.3			
		開放点検 (組立状況)		3C	○	1.3			
# 3 主蒸汽止め弁		# 1 主蒸汽止め弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
			開放点検 (目視)		39M	○	1.3		
			開放点検 (非破壊)		39M	○	1.3		
			開放点検 (組立状況)		3C	○	1.3		
	# 2 主蒸汽止め弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (目視)		39M	○	1.5			
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5			
		開放点検 (組立状況)		3C	—	1.5			
	# 4 主蒸汽止め弁	# 1 主蒸汽止め弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
			開放点検 (目視)		39M	—	1.4		
			開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
			開放点検 (組立状況)		3C	—	1.4		
# 2 主蒸汽止め弁		開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (目視)		39M	—	1.5			
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5			
		開放点検 (組立状況)		3C	—	1.5			
# 1 蒸気加減弁		# 1 蒸気加減弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
			開放点検 (目視)		39M	—	1.5		
			開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5		
			開放点検 (組立状況)		3C	—	1.5		
	# 2 蒸気加減弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (目視)		39M	○	1.3			
		開放点検 (非破壊)		39M	○	1.3			
		開放点検 (組立状況)		3C	○	1.3			
	# 2 蒸気加減弁	# 2 蒸気加減弁	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
			開放点検 (目視)		39M	○	1.5		
			開放点検 (非破壊)		39M	○	1.5		
			開放点検 (組立状況)		3C	○	1.5		
# 3 蒸気加減弁		開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (目視)		39M	○	1.5			
		開放点検 (非破壊)		39M	○	1.5			
		開放点検 (組立状況)		3C	○	1.5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
# 3 蒸気加減弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5		
		開放点検 (組立状況)		3C	—	1.5		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
# 4 蒸気加減弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
		開放点検 (組立状況)		3C	—	1.4		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
A 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.4		
B 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.5		
C 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.5		
D 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.5		
E 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	○	1.3	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	○	1.3		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	○	1.3		
F 再熟蒸気止め弁		開放点検 (目視)	低	39M	○	1.5	GN3-130 蒸気タービン性能検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	○	1.3		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	○	1.3		
A インターセプト弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.4		
B インターセプト弁		開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN3-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.4		
		機能・性能試験 (保安装置)		1C	○	1.5		
		開放点検 (目視)		39M	—	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	第1段 湿分分離加熱器 (D)	開放点検 (目視)	低	26M	○	—	GN-129 蒸気タービン開放検査	第1.5回定検で故障 開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		26M	○	—		
	第2段 湿分分離加熱器 (A)	開放点検 (目視)	低	26M	—	—	GN-129 蒸気タービン開放検査	第1.5回定検で故障 開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		26M	—	—		
	第2段 湿分分離加熱器 (B)	開放点検 (目視)	低	26M	○	—	GN-129 蒸気タービン開放検査	第1.5回定検で故障 開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		26M	○	—		
	第2段 湿分分離加熱器 (C)	開放点検 (目視)	低	26M	—	—	GN-129 蒸気タービン開放検査	第1.5回定検で故障 開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		26M	—	—		
	第2段 湿分分離加熱器 (D)	開放点検 (目視)	低	26M	○	—	GN-129 蒸気タービン開放検査	第1.5回定検で故障 開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		26M	○	—		
	A 湿分離器	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5		
	B 湿分離器	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5		
	3 A 低圧第1 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	○	1.3	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.3		
	3 B 低圧第1 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.4		
	3 C 低圧第1 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.2		
	3 A 低圧第2 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	○	1.3	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.3		
	3 B 低圧第2 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.4		
	3 C 低圧第2 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.2		
	3 A 低圧第3 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	26M	—	1.5	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.3		
	3 B 低圧第3 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	26M	○	1.4	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.4		
	3 A 低圧第4 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.3		
	3 B 低圧第4 給水加熱器	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M	—	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保令方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備)	3 A 低圧第5給水加熱器	開放点検 (目視) 開放点検 (非破壊)	低	26M 26M	— —	1.5 1.5	G03-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	3 B 低圧第5給水加熱器	開放点検 (目視) 開放点検 (非破壊)	低	26M 26M	○ ○	1.4 1.4	G03-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	3号 グランド蒸気復水器	開放点検 (目視) 開放点検 (非破壊)	低	39M 39M	○ ○	1.3 1.3	G03-126 2次系熱交換器検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	3 A 高圧第7給水加熱器	開放点検 (目視) 開放点検 (非破壊)	低	13M 26M	○ —	— —	G03-126 2次系熱交換器検査	第1.5回定検以降 開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	3 B 高圧第7給水加熱器	開放点検 (目視) 開放点検 (非破壊)	低	13M 26M	○ ○	— —	G03-126 2次系熱交換器検査	第1.5回定検以降 開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	3 A 復水ポンプ	簡易点検 (ドラフト・ホネ取替他) 分解点検 機能・性能試験	低	13M 39M 3C	○ ○ ○	1.5 1.3 1.3	G03-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
	3 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	低	13M 39M	○ ○	1.5 1.3		(振動診断：切替毎)
	3 B 復水ポンプ	簡易点検 (ドラフト・ホネ取替他) 分解点検 機能・性能試験	低	13M 39M 3C	○ — —	1.5 1.4 1.4		(振動診断：切替毎)
	3 B 復水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	低	13M 39M	○ —	1.5 1.4		(振動診断：切替毎)
	3 C 復水ポンプ	簡易点検 (ドラフト・ホネ取替他) 分解点検 機能・性能試験	低	13M 39M 3C	○ — —	1.5 1.5 1.5	G03-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
	3 C 復水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	低	13M 39M	○ —	1.5 1.5		(振動診断：切替毎)
	3 A 復水ブースタポンプ	簡易点検 (油入替他) 分解点検 機能・性能試験	低	26M 2C	— —	1.5 1.5	G03-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
3 A 復水ブースタポンプ用電動機	分解点検 簡易点検 (油入替他)	低	39M 13M	— ○	1.4 1.5		(振動診断：切替毎)	
3 B 復水ブースタポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	26M 2C	○ ○	1.4 1.4		(振動診断：切替毎)	
3 B 復水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	1.3	G03-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3 C 復水ブースタポンプ		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		分解点検		26M	○	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3 C 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (ドラフトホヤ/取替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		分解点検		26M	—	1.5		
機能・性能試験	2C	—		1.5				
3 A 復水器具空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	1.3	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 切替毎)
		簡易点検 (ドラフトホヤ/取替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 切替毎)
		分解点検		26M	○	1.4		
機能・性能試験	2C	○		1.4				
3 B 復水器具空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	1.4	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査			
3 A 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3 B 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3 C 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3 D 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3 E 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3 F 復水監視装置配電盤塔		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 切替毎)
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
3号 復水フィルタ		開放点検	低	130M	—	1.4	GN-125 2次系容器検査	(振動診断; 1ヶ月)
		開放点検	高	13M	○	1.5	GN-125 2次系容器検査	
		開放点検	低	13M	○	1.5	GN-121 2次系ポンプ分解検査	
3号 配気器		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	1.3		
		分解点検		52M	○	1.2		
3号 電動主給水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	1.3		
		分解点検		52M	○	1.2		
3 A タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)
		機能・性能試験	1C	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)	
		分解点検	13M	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)	
3 B タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	1C	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)
		機能・性能試験	1C	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)	
		簡易点検 (油入替他)	13M	○	1.5	GN-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断; 1ヶ月)	
3 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 1ヶ月)
		分解点検		26M	—	1.5		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断; 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	1.4		
		機能・性能試験		1C	○	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保令方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	簡易点検 (OTラッドハネ/取替他)	低	13M	○	1.5	2次系ポンプ分解検査	
		分解点検		39M	○	1.3		
	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	○	1.3		
	3 A タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	分解点検	低	26M	—	1.5		
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
	3 A タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M	—	1.5		
	3 B タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	分解点検	低	26M	○	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
	3 B タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M	○	1.5		
	3 A 循環水ポンプ	分解点検	低	26M	—	1.5		
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
	3 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M	—	1.5		
	3 B 循環水ポンプ	分解点検	低	26M	○	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
	3 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (OTラッドハネ/取替他)	低	13M	○	1.5		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M	○	1.4		
	純水装置樹脂塔 A系	開放点検	低	3Y	—	2021年度		プラント運転中
		開放点検		3Y	○	2019年度		
	純水装置樹脂塔 B系	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
		開放点検		3Y	○	2018年度		
	純水装置樹脂塔 C系	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
		開放点検		3Y	○	2020年度		
	3 A 部分分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	1.5		
		開放点検		26M	○	1.4		
	3 B 部分分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	1.5		
		開放点検		26M	○	1.4		
	3 C 部分分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	1.5		
		開放点検		26M	○	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	3 D 部分離加熱器第 1 段ドレンタンク	開放点検	低	26M	○	1 4		
	3 A 部分離加熱器第 2 段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	1 5		
	3 B 部分離加熱器第 2 段ドレンタンク	開放点検	低	26M	○	1 4		
	3 C 部分離加熱器第 2 段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	1 5		
	3 D 部分離加熱器第 2 段ドレンタンク	開放点検	低	26M	○	1 4		
	3 A 部分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	1 5		
	3 B 部分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	1 5		
	3 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	1 5		
	3 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	1 5		
	3V-AS-006 3 号 配気器加熱蒸気速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	○	1 4	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-AS-007 3 号 配気器加熱蒸気速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5		
	3V-CW-027A 3 A C P 吸込ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-CW-027B 3 B C P 吸込ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	○	1 4	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-CW-027C 3 C C P 吸込ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5		
	3V-CW-028A 3 A 低圧第 1 ヒータ入口復水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-CW-028B 3 B 低圧第 1 ヒータ入口復水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	○	1 4	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-CW-029A 3 A 低圧第 3 ヒータ入口復水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-CW-029B 3 B 低圧第 3 ヒータ入口復水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	○	1 4	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-FW-013A 3 A 高圧第 7 ヒータ入口給水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	—	1 5	6N3-124 2 次系安全弁検査	
	3V-FW-013B 3 B 高圧第 7 ヒータ入口給水ライン速がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	26M	○	1 4	6N3-124 2 次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-RS-121 3号 風分分離加熱器逃がし弁		分解点検	低	13M	○	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
3V-RS-122 3 A 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-123 3 B 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-124 3 C 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-125 3 D 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-126 3 E 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-127 3 F 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	○	1.4	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3V-RS-128 3 G 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-129 3 H 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-130 3 J 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-131 3 K 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-132 3 L 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-133 3 M 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-134 3 N 風分分離加熱器リリーブ弁		分解点検	低	26M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	1.5		
3V-RS-771A 3 A 低圧第3 給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	39M	—	1.5	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.5		
3V-RS-771B 3 B 低圧第3 給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	39M	○	1.3	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	○	1.3		
3V-RS-781A 3 A 低圧第4 給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	39M	○	1.3	083-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	○	1.3		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3V-JS-791B 3 B 低圧第4給水加熱器過がし弁		分解点検	低	39M	—	1.5	GN-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.5		
3V-JS-801A 3 A 低圧第5給水加熱器過がし弁		分解点検	低	39M	○	1.3	GN-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	○	1.3		
3V-JS-801B 3 B 低圧第5給水加熱器過がし弁		分解点検	低	39M	—	1.5	GN-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.5		
3V-JS-821A 3 A 高圧第7給水加熱器過がし弁		分解点検	低	39M	—	1.4	GN-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.4		
3V-JS-821B 3 B 高圧第7給水加熱器過がし弁		分解点検	低	39M	—	1.5	GN-121 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	1.5		
3V-SC-501 3号 スチーム・コム・タンク安全弁		分解点検	低	26M	○	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
V-AS-501 1次系補助蒸気供給ライン安全弁		分解点検	低	5V	—	2019年度		プラント運転中
		補えい・点検		5F	—	2019年度		
		機能・性能試験	低	5F	—	2019年度	GN-56 1次系安全弁検査	
3V-AS-637 3号 ほう酸供給タンク加熱器入口安全弁		分解点検	低	10V	—	2015年度		プラント運転中
		補えい・点検		10F	—	2015年度		
		機能・性能試験	低	10F	—	2015年度	GN-56 1次系安全弁検査	
補助給水系		機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-23 補助給水系機能検査	
3 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	1.5		
3 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	1.5		
3 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	1.3		
3 B 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5	GN-24 補助給水系ポンプ分解検査	
		分解点検		52M	—	1.3		
3号 タービン動補助給水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	1.4		
3号 タービン動補助給水ポンプタービン		簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	1.5		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	1.4		
復水タンク		機能・性能試験	高	4C	—	1.4	GN-54 1次系ポンプ機能検査	
		開放点検		26M	○	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
30CV-3715 3号 T/D AFWP出口流量設定弁A		駆動部点検	高	130M	—	1 0		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
30CV-3725 3号 T/D AFWP出口流量設定弁B		駆動部点検	高	130M	—	1 0		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
30CV-3735 3号 T/D AFWP出口流量設定弁C		駆動部点検	高	130M	—	1 1		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
30CV-3745 3号 T/D AFWP出口流量設定弁D		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN3-85 1次系弁検査	
3V-FW-553A 3 A M/D AFWP出口逆止弁		分解点検	高	39M	○	1 3		
		分解点検	高	39M	—	1 5		
		駆動部点検		130M	—	7		
3V-FW-557A 3 A M/D AFWP出口流量設定弁A		分解点検	高	130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN3-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 1		
3V-FW-557B 3 A M/D AFWP出口流量設定弁B		駆動部点検	高	130M	○	6		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
3V-FW-557C 3 B M/D AFWP出口流量設定弁C		電動機分解点検	高	130M	—	1 2		
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
3V-FW-557D 3 B M/D AFWP出口流量設定弁D		機能・性能試験	高	10C	—	1 5		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
		駆動部点検		130M	○	6		
3V-FW-559A 3 A M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁A		分解点検	高	130M	○	1 3		
		分解点検		130M	○	6		
		機能・性能試験		10C	○	6	GN3-85 1次系弁検査	
3V-FW-559B 3 A M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁B		電動機分解点検	高	130M	—	7		
		分解点検		39M	○	1 3		
		分解点検		39M	—	1 5		
3V-FW-559C 3 B M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁C		分解点検	高	39M	—	1 4		
		分解点検		39M	—	1 4		
		分解点検		39M	—	1 4		
3V-FW-559D 3 B M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁D		分解点検	高	39M	—	1 4		
		分解点検		39M	—	1 4		
		分解点検		39M	—	1 4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
3V-FW-568A 3号 T/D AFWP 出口流量設定弁後逆止弁A 3V-FW-568B 3号 T/D AFWP 出口流量設定弁後逆止弁B 3V-FW-568C 3号 T/D AFWP 出口流量設定弁後逆止弁C 3V-FW-568D 3号 T/D AFWP 出口流量設定弁後逆止弁D 3V-FW-573A 3 A 補助給水逆止弁 3V-FW-573B 3 B 補助給水逆止弁 3V-FW-573C 3 C 補助給水逆止弁 3V-FW-573D 3 D 補助給水逆止弁	3V-FW-568A 3号 T/D AFWP 出口流量設定弁後逆止弁A	分解点検	高	39M	—	1 4			
		分解点検	高	39M	—	1 4			
		分解点検	高	39M	—	1 5			
		分解点検	高	39M	—	1 5			
	3V-FW-573A 3 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	1 4			
		分解点検	高	39M	—	1 4			
		分解点検	高	39M	—	1 4			
		分解点検	高	39M	—	1 4			
	3V-FW-574A 3 A 補助給水隔離弁	簡易点検 (フラットヘッド/取替)			65M	—	1 3		
		駆動部点検			130M	—	1 2		
		分解点検	高	130M	—	1 3			
		機能・性能試験		10C	—	1 2	GN3-S5 1次系弁検査		
	3V-FW-574B 3 B 補助給水隔離弁	電動機分解点検			130M	—	1 2		
		簡易点検 (フラットヘッド/取替)			65M	—	1 3		
		駆動部点検			130M	—	1 3		
		分解点検	高	130M	—	1 3			
3V-FW-574C 3 C 補助給水隔離弁	機能・性能試験			10C	—	1 3	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検			130M	—	1 3			
	簡易点検 (フラットヘッド/取替)			65M	—	1 4			
	駆動部点検			130M	—	1 4			
3V-FW-574D 3 D 補助給水隔離弁	分解点検	高	130M	—	1 4				
	機能・性能試験			10C	—	1 4	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検			130M	—	1 4			
	簡易点検 (フラットヘッド/取替)			65M	—	1 5			
3V-FW-574E 3 E 補助給水隔離弁	駆動部点検			130M	—	1 5			
	分解点検	高	130M	—	1 5				
	機能・性能試験			10C	—	1 5	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検			130M	—	1 5			
3V-FW-580 3号 復水タンクM/D AFWP 側止弁	駆動部点検			130M	—	1 5			
	分解点検	高	130M	—	1 5				
	機能・性能試験			10C	—	1 5	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検			130M	—	1 5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	3V-PW-581 3号 復水タンク T/D AFWP 側止弁	駆動点検	高	130M	—	7				
		分解点検		130M	—	7				
		機能・性能試験		10C	—	7			GN3-85 1次系非検査	
		電動機分解点検		130M	—	7				
	3V-PW-587 3号 T/D AFWP 2次系純水タンク側入口弁	駆動点検	高	130M	—	—			第1.6回定検より追加	
		分解点検		130M	—	—				
		電動機分解点検		130M	—	—				
		分解点検		195M	—	—				
	3V-PW-589 3号 T/D AFWP 2次系純水タンク側止弁 スチームコンバータ	開放点検	低	13M	○	1.5			第1.6回定検より追加	
		開放点検 (目視)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
		開放点検 (非破壊)		39M	—	1.5				
		開放点検 (目視)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
	低溫再熱蒸気管 (A部分離器左側)	開放点検 (目視)	低	78M	—	1.1			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
		開放点検 (目視)		78M	—	1.5				
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
	低溫再熱蒸気管 (A部分離器右側)	開放点検 (目視)	低	78M	—	1.3			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
		開放点検 (目視)		78M	—	1.2				
		開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査
低溫再熱蒸気管 (B部分離器左側)	開放点検 (目視)	低	78M	—	1.2			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
	開放点検 (目視)		78M	—	1.2					
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
低溫再熱蒸気管 (B部分離器右側)	開放点検 (目視)	低	78M	—	1.4			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
	開放点検 (目視)		78M	—	1.4					
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
高温再熱蒸気管 (L P - 1)	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.4			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
	開放点検 (目視)		39M	—	1.4					
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
高温再熱蒸気管 (L P - 2)	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
	開放点検 (目視)		39M	—	1.5					
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
高温再熱蒸気管 (L P - 3)	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.3			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
	開放点検 (目視)		39M	—	1.5					
	開放点検 (非破壊)		13M	○	1.5				GN3-129 蒸気タービン開放検査	
第7出気管	開放点検 (目視)	低	1C	—	1.5			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
			外観点検	1C	○				1.5	
第6出気管	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5			開放点検 (非破壊) については、補修を行う 場合に定期事業者検査として実施		
			外観点検	1C	○				1.5	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術		
その粗差電用原子炉の附属施設 (補助ボイラー)	第5 抽気管	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
	第4 抽気管	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
	第3 抽気管	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
	第2 抽気管	開放点検 (目視)	低	1C	○	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
	第1 抽気管	開放点検 (目視)	低	13M	○	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
	湿分離加熱器第1段加熱蒸気管	開放点検 (目視)	低	39M	—	1.5	GN3-129 蒸気タービン開放検査			
		外観点検		1C	○	1.5				
A 補助ボイラー	機能・性能試験 (負荷試験)	低	23M	○	2.0	2020年度	GN3-132 補助ボイラー性能検査	プラント運転中		
			機能・性能試験 (保安装置)	25M	○	2.0	2020年度			
	特性試験	低	2Y	○	2.0	2020年度	GN3-133 補助ボイラー設備検査			
			機能・性能試験 (負荷試験)	23M	○	2.0	2021年度			
	機能・性能試験 (保安装置)	低	25M	○	2.0	2021年度	GN3-132 補助ボイラー性能検査			
			特性試験	2Y	○	2.0	2021年度		GN3-133 補助ボイラー設備検査	
	A 蒸気ドラム	開放点検	低	25M	○	2.0	2020年度		GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中
		非破壊試験		25M	○	2.0	2020年度			
	B 蒸気ドラム	開放点検	低	25M	○	2.0	2021年度		GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中
		非破壊試験		25M	○	2.0	2021年度			
	A 水ドラム	開放点検	低	25M	○	2.0	2020年度		GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中
		非破壊試験		25M	○	2.0	2020年度			
B 水ドラム	開放点検	低	25M	○	2.0	2021年度	GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中		
	非破壊試験		25M	○	2.0	2021年度				
A 管	開放点検	低	25M	○	2.0	2020年度	GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中		
	非破壊試験		25M	○	2.0	2020年度				
B 管	開放点検	低	25M	○	2.0	2021年度	GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中		
	非破壊試験		25M	○	2.0	2021年度				
A 火炉内部	開放点検	低	25M	○	2.0	2020年度	GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中		
	開放点検		25M	○	2.0	2021年度				
B 火炉内部	分解点検	低	25M	○	2.0	2020年度	GN3-131 補助ボイラー開放検査	プラント運転中		
	非破壊試験		25M	○	2.0	2020年度				
A 安全弁	機能・性能試験	低	25M	○	2.0	2020年度	GN3-132 補助ボイラー性能検査	プラント運転中		
	機能・性能試験		25M	○	2.0	2020年度				

機器又はシステム名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
B 安全弁		分解点検	低	25M	○	2021年度		プラント運転中
		非破壊試験		25M	○	2021年度		
		機能・性能試験		25M	○	2021年度		
A ハーター		分解点検	低	25M	○	2020年度		プラント運転中
		分解点検		25M	○	2021年度		
		分解点検		4Y	○	2018年度		
A 給水ポンプ		非破壊試験	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
		簡易点検（油入替他）		1Y	○	2021年度		
		分解点検		4Y	—	2021年度		
B 給水ポンプ		分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
		非破壊試験		4Y	—	2020年度		
		簡易点検（油入替他）		1Y	○	2021年度		
B 給水ポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2019年度		
		非破壊試験		4Y	○	2019年度		
C 給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2019年度		
		分解点検		4Y	○	2019年度		
C 給水ポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2020年度		
		非破壊試験		2Y	○	2020年度		
A 押込通風機		分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2021年度		
		非破壊試験		2Y	○	2021年度		
B 押込通風機		分解点検	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2021年度		
		非破壊試験		4Y	—	2019年度		
B 押込通風機用電動機		分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検		2F	○	2020年度		
		外観点検		2F	○	2021年度		
A 補助ボイラー系統		外観点検	低	2F	○	2021年度		GN3-133 補助ボイラー設備検査
		分解点検		4Y	○	2018年度		
		駆動部品点検		2Y	○	2020年度		
B 補助ボイラー系統		分解点検	低	2Y	○	2020年度		GN3-133 補助ボイラー設備検査
		分解点検		2Y	○	2020年度		
		非破壊試験		2F	○	2020年度		
A 発生蒸気止弁		機能・性能試験	低	2F	○	2020年度		GN3-133 補助ボイラー設備検査
		電動機分解点検		10Y	—	2014年度		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	3 A No8, 16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No1, 9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No2, 10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	○	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No3, 11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No4, 12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 4	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No5, 13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No6, 14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No7, 15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B No8, 16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	100M	—	1 3	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 A 吸気弁 (3 2 台) 脚取シリンダのみ実施	分解点検	高	100M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B 吸気弁 (3 2 台) 脚取シリンダのみ実施	分解点検	高	100M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 A 排気弁 (3 2 台)	分解点検	高	13M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B 排気弁 (3 2 台)	分解点検	高	13M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 A 燃料噴射弁 (1 6 台)	分解点検	高	13M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 B 燃料噴射弁 (1 6 台)	分解点検	高	13M	○	1 5	GN-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	3 A 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	1 5	GN-134 非常用予備発電機行風設備検査	
	3 A 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	4C	—	1 4	GN-134 非常用予備発電機行風設備検査	屋外保温材施工部
	3 B 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	1 5	GN-134 非常用予備発電機行風設備検査	屋外保温材施工部
	3 B 非常用ディーゼル発電機燃料配管	外観点検	高	4C	—	1 4		屋外保温材施工部
	3 A 潤滑油ブライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A 潤滑油ブライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	1 4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 潤滑油ブライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 潤滑油ブライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	1 4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A 温水箱循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A 温水箱循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	1 4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 温水箱循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 温水箱循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	1 4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A シリンダ冷却水ポンプ (機付)	分解点検	高	26M	—	1 5		
	3 B シリンダ冷却水ポンプ (機付)	分解点検	高	26M	—	1 5		
	3 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検 (フラットホネ取替他)	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 A 燃料弁冷却水ポンプ	分解点検	高	39M	—	1 4	GN-134 非常用予備発電機行風設備検査	
	3 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	1 4		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検 (フラットホネ取替他)	高	13M	○	1 5		(振動診断: 1ヶ月)
	3 B 燃料弁冷却水ポンプ	分解点検	高	39M	—	1 4	GN-134 非常用予備発電機行風設備検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	3 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	1.4		(振動診断：1ヶ月)	
	3 A 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	39M	—	1.5			
	3 B 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	39M	—	1.5			
	3 A 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	1.4			
	3 B 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	1.5			
	3 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検 (セタリング他)	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検				—	1.5		
	3 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	—	1.4		(振動診断：1ヶ月)
		簡易点検 (セタリング他)				○	1.5		
	3 B 燃料油移送ポンプ	分解点検	高	65M	—	○	1.3	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検				—	1.3		
	3 A 通給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M	—	○	1.5		
		分解点検				—	1.5		
	3 B 通給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M	—	○	1.5		
		分解点検				—	1.5		
	3 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査	
		非破壊試験				○	1.5		
	3 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査	
		非破壊試験				○	1.5		
	3 A 清水冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査	
非破壊試験		○				1.5			
3 B 清水冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			
3 A 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			
3 B 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			
3 A-1 空気冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			
3 A-2 空気冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			
3 B-1 空気冷却器	開放点検	高	13M	—	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属風設備検査		
	非破壊試験				○	1.5			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	1.5	69-134 非常用予備発電機行風設備検査	
		非破壊試験		13M	○	1.5		
3 A-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 A-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 B-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 B-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A 燃料冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B 燃料冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	1.4		
3 A 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	1.4		
3 B 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	1.5		
3 A 燃料油サーピスタタンク		開放点検	高	130M	—	1.3		
3 B 燃料油サーピスタタンク		開放点検	高	130M	—	1.3		
3 A 潤滑油逆流こし器		開放点検	低	13M	○	1.5		
3 B 潤滑油逆流こし器		開放点検	低	13M	○	1.5		
3 A 潤滑油主こし器 (右)		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A 潤滑油主こし器 (左)		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B 潤滑油主こし器 (右)		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B 潤滑油主こし器 (左)		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A 燃料油第1こし器1		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 A 燃料油第1こし器2		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B 燃料油第1こし器1		開放点検	高	13M	○	1.5		
3 B 燃料油第1こし器2		開放点検	高	13M	○	1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	3 A 燃料油箱2こし器1	開放点検	高	13M	○	1.5		
	3 A 燃料油箱2こし器2	開放点検	高	13M	○	1.5		
	3 B 燃料油箱2こし器1	開放点検	高	13M	○	1.5		
	3 B 燃料油箱2こし器2	開放点検	高	13M	○	1.5		
	3 A シリンダ安全弁 (1.6台)	分解点検	高	130M	—	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.5		
	3 B シリンダ安全弁 (1.6台)	分解点検	高	130M	—	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.5		
	3 A グラック室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.4		
	3 B グラック室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	1.4	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	1.4		
	3 A 空気圧縮機	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	(稼働診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M	○	1.4		
	3 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	1.3	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	(稼働診断: 1ヶ月)
		簡易点検 (油入替他)		13M	○	1.5		
	3 B 空気圧縮機	分解点検	低	26M	—	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	(稼働診断: 1ヶ月)
		簡易点検		78M	—	1.3		
	3 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	1.3	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	(稼働診断: 1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	1.5		
	3 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		特性試験		1C	○	1.5		
	3 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	52M	—	1.4	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		特性試験		52M	—	1.4		
	3 A 調速装置	分解点検	高	52M	—	1.4	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 B 調速装置	分解点検	高	52M	—	1.4	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 A 計測装置	特性試験	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		特性試験		13M	○	1.5		
	3 A 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 A 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 B 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 B 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 A 非常用ディーゼル発電機 機組本体	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 B 非常用ディーゼル発電機 機組本体	分解点検	高	13M	○	1.5	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		分解点検		13M	○	1.5		
	3 A 燃料油貯槽等 (重入事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	1.3	GN3-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		気密試験		2C	○	1.4		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 適 用 す る 設 備 診 断 技 術	
3V-DC-613A 3A 空気がめ安全弁 (A)	3 A 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	1.5			
	3 A 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—			第1.3回定検より追加
		気密試験			2C	○	1.4		
	3 A 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	○	1.5		
		3 B 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	○	○	1.2	
	気密試験				2C	○	1.4		
	3 B 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	○	1.5		
		3 B 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—		
	気密試験				2C	○	1.4		
	3V-DC-613B 3A 空気がめ安全弁 (A)	3 B 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	1.5		
			分解点検		130M	—	1.3		
			漏えい試験	高	10C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査	
3V-DC-614A 3A 空気がめ安全弁 (A)		機能・性能試験		10C	—	1.3			
		分解点検		130M	—	1.3			
		漏えい試験	高	10C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査		
3V-DC-614B 3A 空気がめ安全弁 (B)		機能・性能試験		10C	—	1.3			
		分解点検		130M	—	1.3			
		漏えい試験	高	10C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査		
3V-DC-627A 3A 空気がめ安全弁 (A)		機能・性能試験		10C	—	1.3			
		分解点検		130M	—	1.3			
		漏えい試験	高	10C	—	1.3	0N3-86 1次系安全弁検査		
3V-DC-627B 3A 空気がめ安全弁 (B)		機能・性能試験		10C	—	1.3			
		分解点検		130M	—	9			
		漏えい試験	低	10C	—	9	0N3-86 1次系安全弁検査		
3V-DC-630A 3A 空気がめ安全弁 (A)		機能・性能試験		10C	—	9			
		外観点検		10C	—	9			
		分解点検		130M	—	1.0			
3V-DC-630B 3B 空気がめ安全弁 (B)		漏えい試験	低	10C	—	1.0			
		機能・性能試験		10C	—	1.0	0N3-86 1次系安全弁検査		
		外観点検		10C	—	1.0			
3V-DC-630A 3A 空気がめ安全弁 (A)		分解点検		130M	—	9			
		漏えい試験	低	10C	—	9	0N3-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	9	0N3-86 1次系安全弁検査		
3V-DC-630B 3B 空気がめ安全弁 (B)		外観点検		10C	—	9			
		分解点検		130M	—	9			
		漏えい試験	低	10C	—	9	0N3-86 1次系安全弁検査		

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (発電機設備) (発電機、変圧器 他)	3V-DC-630B 3 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	1 0	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 0		
		機能・性能試験		10C	—	1 0		
		外観点検		10C	—	1 0		
	3V-DC-633A 3 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	9	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9		
		外観点検		10C	—	9		
	3V-DC-633B 3 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	1 0	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 0		
		機能・性能試験		10C	—	1 0		
		外観点検		10C	—	1 0		
3V-DC-015A 3 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	○	—	第 1.4 回定検より点検項目変更		
	取替	高	65M	○	—	第 1.4 回定検より点検項目変更		
3V-DC-015B 3 B 温水循環ポンプ出口逆止弁	普通点検 (軸受点検)	低	26M	○	1 4			
	分解点検		78M	—	1 4			
発電機	機能・性能試験 (縦立状況)	低	1C	○	1 5	GN3-129 蒸気タービン開放検査		
	普通点検 (軸受点検他)		26M	○	1 4			
動燃機	分解点検	低	78M	—	1 4			
	特性試験		26M	○	1 4			
発電機保護装置 (継電器)	普通点検 (特性試験他)	低	13M	○	1 5			
	分解点検		195M	—	1 3			
主変圧器	普通点検 (特性試験他)	高	13M	○	1 5			
	分解点検		195M	—	1 1			
所内変圧器	普通点検 (特性試験他)	高	13M	○	2 0 2 1 年度			
	分解点検		15M	—	2 0 2 1 年度			
予備変圧器	特性試験	低	26M	○	1 4			
	特性試験		21M	○	2 0 1 9 年度			
主変圧器・所内変圧器保護装置 (継電器)	普通点検 (特性試験他)	低	13M	○	1 5			
	分解点検		156M	—	1 5			
1 Lユニット	普通点検 (特性試験他)	低	13M	○	1 5			
	分解点検		13M	○	1 5			
3 MTrユニット	普通点検 (特性試験他)	高	13M	○	1 5			
	分解点検		156M	○	1 1			

プラント運転中

定検中止中又はプラント運転中

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	E.Trユニット	普通点検 (特性試験他) 分解点検	低	13M 12Y	○ —	2021年度 2018年度	プラント運転中	
	3C 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	—	第16回定検より追加	
	3C トロツパ盤	機能・性能試験	高	1C	○	—	第16回定検より追加	
	3C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C	○	—	第16回定検より追加	
	制御保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M	—	1.3		
	送電線保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M	—	1.3		
	予備電源線保護装置 (継電器)	特性試験	低	6Y	○	2016年度	プラント運転中	
	原子炉装置 (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F	○	2021年度	定検中止中又はプラント運転中	
	電流計 (500kV 立海幹線1L) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M	—	1.5		
	電流計 (500kV 立海幹線2L北線) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M	—	1.5		
	電流計 (220kV 予備電源線) (3,4号機共用)	特性試験	低	2Y	—	2021年度	プラント運転中	
	遮断器 4-3AEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	— —	1.5 1.5		
	遮断器 4-3BEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	○ —	1.4 1.4		
	6.6kV 4-3C母線	機能・性能試験	高	4C	—	1.5		
	6.6kV 4-3C母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	1.5		
	6.6kV 4-3C母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	1.5		
	6.6kV 4-3D母線	機能・性能試験	高	4C	○	1.3		
	6.6kV 4-3D母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	1.3		
	6.6kV 4-3D母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	1.3		
	受電遮断器 4-3EC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	— —	1.5 1.5		
	受電遮断器 4-3ED	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	○ —	1.4 1.4		
	受電遮断器 4-3HC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	— —	1.5 1.5		
	受電遮断器 4-3HD	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	○ —	1.4 1.4		
	遮断器 3-3C1H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	— —	1.5 1.5		
	遮断器 3-3C2H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M	— —	1.5 1.5		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保令方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
遮断器 3-3D1H		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		内部点検		130M	-	1.4		
遮断器 3-3D2H		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		内部点検		130M	-	1.4		
4-3C 6.6kVメタクラ (安全系遮断器)		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		内部点検		130M	-	1.5		
4-3D 6.6kVメタクラ (安全系遮断器)		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		内部点検		130M	-	1.4		
所内電源保護装置 (継電器)		特性試験	高	20M	○	1.4		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
遮断器 3-3C1L		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		蓄勢部点検		78M	-	1.1		
440V 3-3C1母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	-	1.3		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
3C1 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
440V 3-3C2母線		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
遮断器 3-3C2L		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		蓄勢部点検		78M	-	1.1		
440V 3-3C2母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	-	1.3		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
440V 3-3C2母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	-	1.3		
		機能・性能試験		4C	-	1.3		
3C2 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	-	1.5		
		機能・性能試験		4C	-	1.4		
遮断器 3-3D1L		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		蓄勢部点検		78M	-	1.2		
440V 3-3D1母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	-	1.4		
		機能・性能試験		4C	-	1.4		
440V 3-3D1母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	-	1.4		
		機能・性能試験		4C	-	1.4		
3D1 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		機能・性能試験		4C	-	1.4		
440V 3-3D2母線		機能・性能試験	高	4C	-	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
遮断器 3-3D2L		機能・性能試験	高	78M	-	1.2		
		蓄勢部点検		4C	-	1.4		
440V 3-3D2母線PT-1		機能・性能試験	高	4C	-	1.4		
		機能・性能試験		4C	-	1.4		
440V 3-3D2母線PT-2		機能・性能試験	高	4C	-	1.4		
		機能・性能試験		2C	○	1.4		
3D2 動力変圧器		機能・性能試験	高	2C	○	1.4		
		機能・性能試験		78M	-	1.2		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	3-3C 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	1.5			
		劣勢部点検		78H	—	1.1			
	3-3D 440Vパワーセンタ (安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	1.4			
		劣勢部点検		78H	—	1.2			
	所内電源保護装置 (継電器)	特性試験	機能・性能試験	高	26M	○	1.5		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.3		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.4		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.4		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.4		
			機能・性能試験	高	6C	—	1.5		
機能・性能試験			高	6C	○	1.0			
機能・性能試験			高	16C	—	1.3			
機能・性能試験	高	1C	○	1.5					
機能・性能試験	高	1C	○	1.5					
3A 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-222 直流電源系機能検査			
	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-223 直流電源系作動検査			
3B 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	1.3				
	機能・性能試験	高	1C	○	1.5				
	機能・性能試験	高	1C	○	1.5				
3B 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-222 直流電源系機能検査			
	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-223 直流電源系作動検査			
所内電源保護装置 (継電器)	特性試験	機能・性能試験	高	26M	○	1.4			
		機能・性能試験	高	16C	—	1.5			
		機能・性能試験	高	16C	—	1.1			
計量用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	1.5	GN-112 インバータ機能検査			
	分解点検	低	1Y	○	2021年度	定検停止中又はプラント運転中			
火気防護設備 (消火設備)	電動消火ポンプ (3,4号機共用)	分解点検	低	10Y	—	2018年度	定検停止中又はプラント運転中		
	電動消火ポンプ用電動機 (3,4号機共用)	分解点検	低	1Y	○	2021年度	定検停止中又はプラント運転中		
	ディーゼル消火ポンプ (3,4号機共用)	開放点検	低	10Y	—	2020年度	定検停止中又はプラント運転中		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備)	原子炉補助建屋水密扉 (3,4号機共用)	7箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉周辺建屋水密扉	2箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	海水ポンプエリア水密扉	4箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	海水ポンプエリア防護壁 (3,4号機共用)		低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉周辺建屋扉	4箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉補助建屋扉 (3,4号機共用)	13箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉周辺建屋管理区域外伝は防止扉	5箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉補助建屋管理区域外伝は防止扉	12箇所	低	1F	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
	浸水防護施設 (その他設備)	床ドレンライン逆止弁	61台	低	10Y	—	—	定検中止又はプラント運転中	
		床ドレンライン逆止弁 (3,4号機共用)	5台	低	10Y	—	—	第1.3定検より追加	
		A1 湧水サンポンプ		低	3Y	○	2019年度	定検中止又はプラント運転中	
		A1 湧水サンポンプ用電動機		低	1Y	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中	
		A2 湧水サンポンプ		低	10Y	○	2019年度	定検中止又はプラント運転中	
		A2 湧水サンポンプ用電動機		低	3Y	—	2021年度	定検中止又はプラント運転中	
		B1 湧水サンポンプ		低	1Y	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中	
B1 湧水サンポンプ用電動機			低	10Y	—	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
B2 湧水サンポンプ			低	3Y	—	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
B2 湧水サンポンプ用電動機			低	1Y	○	2021年度	定検中止又はプラント運転中		
非常用取水設備 (取水設備)	取水口 (重大事故等時のみ3,4号機共用)		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	取水管路 (重大事故等時のみ3,4号機共用)		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	取水セット (重大事故等時のみ3,4号機共用)		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉格納容器		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉周辺建屋		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	原子炉補助建屋		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	燃料取替用水タンク建屋		高	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	廃棄物処理建屋		低	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	3-1固体廃棄物貯蔵庫		低	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		
	4-1固体廃棄物貯蔵庫		低	1C	○	1.5	定検中止又はプラント運転中		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
プラント総合全廠機器	海水管ダクト (3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	1.5			
	格納用原子炉及びその附属施設(非常用電源設備を除く)	総合性能試験	高	1C	○	1.5	03-55 総合負荷性能検査	定検起動後	
	電源防護ネット (海水ポンプエリア) (3,4号機共用)	外観点検	低	1C	○	1.5			
	ディーゼル発電機室水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	中央制御室排気塔入口扉 (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	ディーゼル発電機室排気塔入口扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	蓄電池室 (安全系) 排気塔入口扉	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	タンクローリー車庫 (入口扉含む) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	第1重大事故等対処設備保管庫 (入口扉含む) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	第2重大事故等対処設備保管庫 (入口扉含む) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	第3重大事故等対処設備保管庫 (入口扉含む) (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	中央制御室排気塔防護鋼板 (3,4号機共用) 1式	外観点検	低	1C	○	1.5			
	ディーゼル発電機室排気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	1.5			
	蓄電池室 (安全系) 排気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	1.5			
	タンクローリー車庫防護鋼板 (3,4号機共用) 1式	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	緊急時対策所	酸素濃度計 (3,4号機共用) [緊急時対策所用] 3個 (予備含む)	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
		二酸化炭素濃度計 (3,4号機共用) [緊急時対策所用] 3個 (予備含む)	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

なし

4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

なし

クラス1機器供用期間中検査GN3-1 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(1/16)

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回	第16回	SM75	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ｼｰム	水中UT(内面)	100%								100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲5%→100%へ変更(第15回定検以降)	
		下部胴とフラグ・ショルダとの周溶接継手	体積	100%	1ｼｰム	水中UT(内面)	100%									100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲5%→100%へ変更(第15回定検以降)
B3.105	B-C	フラグ・ショルダとの周溶接継手	体積	100%	1ｼｰム	水中UT(内面)	100%								100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲5%→100%へ変更(第15回定検以降)	
B3.106	B-C	上部胴と上部胴フラグとの溶接継手	体積	100%	1ｼｰム	水中UT(内面)	100%(可能範囲)								100%	SA2		
B3.10	B-D	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	4箇所	UT	100%	15%	15%	10%	15%				15%	SA2		
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT(内面)	100%(4箇所)									100%	SA2	
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT(内面)	100%(4箇所)									100%	SA2	
		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT(内面)	100%(4箇所)									100%	SA2	
B5.10	B-F	冷却材出口管台とセメントとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT(内面)	100%(4箇所)								4箇所			
		冷却材入口管台とセメントとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	PT	100%(4箇所)		B								SA2	UT及びPTについてはNIG基金金使用部位に係る検査対象(亀裂の検出(※2)対応)
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100%(54個)									SA2		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100%(54本)									SA2		
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100%(可能範囲)									SA2		
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	54個	VT-1	100%(54個)									SA2		
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマーンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25%(1箇所)									SA2	「カイ・マート」近傍は検査不可能。	

※1 第15回定検以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013.2014年追補含む) を適用
 ※2 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の検出(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

クラス1機器供用期間中検査GN3-1 (保全重要度:高)
 1. 原子炉容器(2/16)

発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子炉発電所3号機検査計画(10年間)										備考				
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回	第16回
B14.10	制御棒駆動装置の溶接継手 及びDT/Cの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	最外周24箇所	PT	最外周の25% (6箇所)	7年間	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		SA2
B15.10	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	10年間	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		-
F1.41	支持構造物	VT-3	25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)	10年間						A,B出口 2箇所			SA2
G1.10	原子炉容器の内部	VT-3	約3年毎に100%	1基	VT-3 (水中サビ)	約3年毎に100% (可能範囲)	10年間	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2
G1.40	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	6箇所	VT-3 (水中サビ)	100% (可能範囲)	10年間									SA2
G1.50	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中サビ)	100% (可能範囲)	10年間									SA2
	下部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中サビ)	100% (可能範囲)	10年間									SA2

加圧水型軽水炉の原子炉冷却圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	玄海原子炉発電所3号機検査計画							備考			
									第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回	SM75	
-	-	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)		7年間										・RV入口管台の検査頻度については、8回定検でのRV-ISIを1回目として、2回目の検査は検査範囲内の延びの考えを用いて、第16回定検にて実施する。 ・第16回定検INLAY工事により、第3サイクル以降は維持規格で管理	
			ベアメタル検査																SA2
-	-	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)		3 C										・RV出口管台の検査頻度については、8回定検でのRV-ISIを1回目として、2回目の検査は検査範囲内の延びの考えを用いて、第13回定検にて実施する。 ・第16回定検INLAY工事により、第3サイクル以降は維持規格で管理	
			ベアメタル検査																SA2
-	-	原子炉容器上蓋の表面	定検毎に100% (可能範囲)	1箇所	1箇所	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	1 C	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2		
-	-	原子炉容器底部の表面	5年毎に100% (可能範囲)	1箇所	1箇所	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	5年間									100%	SA2	

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
 1. 原子炉容器(3/16)

項目番号	カテゴリー	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ-A	水中UT (内面)	100%							100%	SA2	
		下部胴とトランジションングとの周溶接継手	体積	100%	1ヶ-A	水中UT (内面)	100%							100%		
B3.105	B-C	トランジションングと下部鏡との周溶接継手	体積	100%	1ヶ-A	水中UT (内面)	100%							100%	SA2	
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ-A	水中UT (内面)	100% (可能範囲)							100%		
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ-A	UT	100%	15%	15%	10%	15%			15%	SA2	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%		
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%		
B3.10	B-F	冷却材入口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面) PT	100% (4箇所)							4箇所	SA2	・UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※)対応)
		冷却材出口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面) PT	100% (4箇所)	B			D	A		C		
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)	7個	8個	7個	7個	7個	9個	9個	SA2	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100% (54本)	7本	8本	7本	7本	7本	9本	9本	SA2	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100% (可能範囲)	7箇所	8箇所	7箇所	7箇所	7箇所	9箇所	9箇所	SA2	・オキド・スクラッド近傍は検査不可能。
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)	7個	8個	7個	7個	7個	9個	9個	SA2	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)				1箇所				SA2	

※ 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
 1. 原子炉容器(4/16)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	
B14.10	B-O	制御室前装置の溶接継手及びT/Cの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%	最外周24箇所	PT	最外周の25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)						A,B出口 2箇所	SA2	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中プレバ)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	6箇所	VT-3 (水中プレバ)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中プレバ)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	1基	VT-3 (水中プレバ)	100% (可能範囲)						100%	SA2	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	玄海原子力発電所3号機検査計画										備考
						検査方法	検査範囲	検査頻度	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2
-	-	原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	100%	100%							SA2

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
2. 加圧器(5/16)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 JSME S NAI-2012				北海道原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA775	備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回				
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%									SA2		
		下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%							5%		SA2		
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ所	UT	10%	A:10%								SA2		
		中間胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ所	UT	10%	A:10%								SA2		
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ所	UT	10%			A:10%						SA2		
B2.13	B-B	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%									SA2		
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%							5%		SA2		
B3.30	B-D	サージ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	6箇所	UT	管台数の25% (2箇所)	1箇所	1箇所									
		1箇所																
		3箇所																
		1箇所																
B3.40	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	6箇所	UT	管台数の25% (2箇所)	1箇所	1箇所									
		1箇所																
		3箇所																
		1箇所																

クラス1 機器供用期間中検査 GN 3-1 (保全重要度：高)
2. 加圧器 (6/16)

項目番号	カテゴリ	発電用原千力設備規格 JSME S NAI-2012 玄海原千力発電所 3号機検査計画 (10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回		第20回	第21回	第22回	SAマフス
B5. 40	B-F	サージ用管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT・PT	管台数の25% (2箇所)	1箇所							SA2	・ UT及びPTについてはN+基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※)対応)
		スプレライイン用管台とセーフエントとの溶接継手			1箇所											
		安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手			3箇所											
		逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手			1箇所						1箇所					
B7. 20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)	1本	1本			2本	SA2	・ 漏えい検査時実施		
B8. 20	B-H	スカート取付溶接継手	体積	7.5%	1シム	UT	7.5%					7.5%	SA2			
B15. 20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)			100%	100%	100%	100%	—		
F1. 41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎ボルト含む。)	VT-3	25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)						6箇所	SA2		

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器(7/16)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012										備考				
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回		第19回	第20回	第21回	第22回
B2.40	B-B	管板と水室鏡との溶接継手	体積	代表1基の25%	1ヶ所/基×4基	UT	代表1基の25%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA2	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25% (1箇所)	A:1箇所	A:1箇所					SA2	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の溶接継手の25% (1箇所)					A:1箇所	A:1箇所	SA2	<ul style="list-style-type: none"> UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(電裂の解析※)対応 超音波探傷試験の代替試験必要箇所
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25% (8本)	A:1箇所	A:1箇所				A:1箇所	SA2	<ul style="list-style-type: none"> 漏えい検査時実施
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)						A:1箇所	SA2	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	
B16.20	B-Q	伝熱管(ノコ690)	体積	100%	4基	ECT	—	—	—	—	—	—	—	SA2	<ul style="list-style-type: none"> 別要領書により実施。
F1.41	F-A	支持構造物 [支持脚ベースプレート、基礎] ボルトを含む。	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25% (1箇所)				A:1箇所			SA2	

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	玄海原子力発電所3号機検査計画					備考	
									第16回	第17回	第18回	第19回	第20回		第21回
—	—	冷却材出入口管台とセーフティとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	E C T	UT実施箇所100%	UT実施時							<ul style="list-style-type: none"> 超音波探傷試験の代替措置計画に基づく検査対象箇所(電裂の解析※)対応

クラス1機器供用期間中検査GN3-1 (保全重要度:高)
4. 配管(8/19)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規程 維持規程 JSME S NAI-2012										玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	SA77s		
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	8箇所	VT-1	25% (2箇所)	1箇所		1箇所			1箇所	1箇所	SA2	・漏えい検査時実施	
		一次冷却材管	体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA2		
		加圧器サージライン	体積	25%	8箇所	UT	25% (2箇所)				1箇所		1箇所		SA2		
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	27箇所	UT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	SA2		
		加圧器逃がしライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所				1箇所			SA2		
		加圧器サブレイライン	体積	25%	61箇所	UT	25% (16箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	—		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%	15箇所	UT	25% (4箇所)		1箇所	1箇所			1箇所	1箇所	SA2		
		番圧注入ライン	体積	25%	63箇所	UT	25% (16箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	SA2		
		高温側低圧注入ライン	体積	25%	43箇所	UT	25% (11箇所)	1箇所	1箇所	2箇所		2箇所	3箇所	2箇所	SA2		
B9.21	B-J	低温側低圧注入ライン	体積	25%	26箇所	UT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2			
		加圧器逃がしライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	SA2			
		加圧器補助スプレイレイン	表面	25%	25箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	—			
		クロスパレダレック/抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%	28箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		充てんライン	表面	25%	15箇所	PT	25% (4箇所)	1箇所		1箇所			1箇所	1箇所	SA2		
		封水注入ライン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)							1箇所	SA2		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	10箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所					1箇所	1箇所	SA2		

クラス1機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
4. 配管(12/18)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012			玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)													SA7ス	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数			検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		
F1.10 F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	7箇所	RH 2箇所	VT-3	25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
				MS 5箇所														
				RH 2箇所														
				MS 6箇所														
				SH 2箇所														
				1箇所														
	加圧器逃げシライン	VT-3	25%	10箇所	RH 2箇所	VT-3	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA2	
				MS 6箇所														
				SH 2箇所														
				RH 41箇所														
				MS 20箇所														
				SH 3箇所														
加圧器スプレイライン	VT-3	25%	65箇所	RH 41箇所	VT-3	25% (17箇所)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	-		
			MS 20箇所															
			SH 3箇所															
			CH 1箇所															
			RH 42箇所															
			MS 3箇所															
加圧器補助スプレイライン	VT-3	25%	47箇所	RH 42箇所	VT-3	25% (12箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-		
			MS 3箇所															
			SH 1箇所															
			AN 1箇所															
			RH 18箇所															
			MS 4箇所															
コアバブルクォンタリティ、抽出ライン、 余剰抽出ライン	VT-3	25%	22箇所	RH 18箇所	VT-3	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
			MS 4箇所															

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
4. 配管(13/18)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所 3号機検査計画(10年間)										SA775	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回		
F1.10 F-A	充てんライン	VT-3	25%	4箇所	RH 2箇所	VT-3	25% (1箇所)		1箇所							
				MS 1箇所												
				AN 1箇所												
	封水注入ライン	VT-3	25%	17箇所	RH 15箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所		1箇所				1箇所		
				MS 2箇所												
	余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	17箇所	RH 5箇所	VT-3	25% (5箇所)							1箇所		
				MS 10箇所												
				SH 2箇所												
	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	18箇所	RH 9箇所	VT-3	25% (5箇所)							1箇所		
				MS 8箇所												
HS 1箇所																
蓄圧注入ライン	VT-3	25%	29箇所	RH 20箇所	VT-3	25% (8箇所)	1箇所		1箇所				1箇所			
			MS 9箇所													
高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	20箇所	RH 13箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所						1箇所			
			MS 4箇所													
			SH 2箇所													
			AN 1箇所													

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度：高)
4. 配管(14/18)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)										SA77S	備考									
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回												
F1.10	F-A	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	19箇所	RH 10箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所		1箇所		1箇所		1箇所		1箇所				SA2					
					5箇所	MS 5箇所																	1箇所			
					4箇所	HS 4箇所					1箇所															
F1.10	F-A	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	41箇所	RH 39箇所	VT-3	25% (11箇所)	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所		2箇所		2箇所		2箇所		SA2					
					2箇所	MS 2箇所																				
F1.10	F-A	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	14箇所	RH 13箇所	VT-3	25% (4箇所)	1箇所				1箇所				1箇所		1箇所		SA2					
					1箇所	MS 1箇所																				

クラス1 機器供用期間中検査 GN3-1 (保全重要度:高)
6. 弁(14/17)

項目 番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所 3号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の 対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	SA75					
B6. 210	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	体積	代表1台の 25%	2台	UT	代表1台の 100%					1台 (430)				SA2				
B6. 220	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%				1台 (430)					SA2	・分解点検時に実施			
B6. 230	B-G-1	圧力保持用ボルト締付け部(ナット, ワッシャ)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%						1台 (430)			SA2	・分解点検時に実施			
B7. 70	B-G-2	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, 挿込みボルト, ナット)																		
		加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の 25%	3台	VT-1	代表1台の 100%		1台 (055)							SA2	・漏えい検査時に実施			
B7. 70	B-G-2	加圧器逃がしライン (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%			1台 (054A)						SA2	・漏えい検査時に実施			
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%						1台 (452A)			SA2	・分解点検時に実施			
		加圧器スプレイライン (3PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%							1台 (451B)			SA2	・漏えい検査時に実施		
		加圧器補助スプレイライン (3V-CS-227)	VT-1	代表1台の 25%	1台	VT-1	代表1台の 100%		1台									・使用時に実施		
		加圧器ベントリフライン, 抽出リフ, 余剰抽出リフ (3V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%			1台 (019B)							SA2	・漏えい検査時に実施		
		加圧器ベントリフライン, 抽出リフ, 余剰抽出リフ (3LCV-451, 452)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%								1台 (452)			SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器ベントリフライン, 抽出リフ, 余剰抽出リフ (3V-RC-017)	VT-1	代表1台の 25%	1台	VT-1	代表1台の 100%							1台				SA2	・漏えい検査時に実施	
		充てんライン (3V-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の 25%	2台	VT-1	代表1台の 100%									1台 (233)			SA2	・漏えい検査時に実施

クラス1 機器供用期間中検査 GN 3-1 (保全重要度：高)
6. 弁(15/17)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所 3号機検査計画(10年間)										SA775	備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回				
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (3V-SI-134A~D, 136A~D)	VT-1	代表1台の 25%	8台	VT-1	代表1台の 100%				1台 (136A)						SA2	・漏えい検査時に実施 (第1 逆止弁を選択)
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%					1台 (082B)					SA2	・漏えい検査時に実施 (第1 逆止弁を選択)
			VT-1	代表1台の 25%	4台	VT-1	代表1台の 100%			1台 (050A)							SA2	・使用時に実施
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台	3台	VT-3	代表1台		1台 (055)								SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台			1台 (420)							SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	2台	VT-3	代表1台								1台 (002A)		SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	8台	VT-3	代表1台							1台 (136B)			SA2	・分解点検時に実施
			VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台					1台 (051A)					SA2	・分解点検時に実施
B15.70	B-P	低溫側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-3	代表1台	4台	VT-3	代表1台										SA2	・分解点検時に実施
			VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		—	

クラス1機器供用期間中検査GN3-1 (保全重要度:高)
6. 弁(18/18)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012				玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA75s	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回						
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の25%	3箇所 AN	VT-3	代表1台の25% (1箇所)		1箇所 (055)									SA2		
		加圧器逃がしライン (3V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所 MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)			1箇所 (054A)								SA2		
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所 MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)				1箇所 (452A)							SA2		
		加圧器スプレイレイン (3PCV-451A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所 MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)						1箇所 (451A)					—		
		加圧器補助スプレイレイン (3V-CS-227)	VT-3	代表1台の25%	1箇所 RH	VT-3	代表1台の25% (1箇所)								1箇所			—		
		クオースバレッジドレゾライズ、抽出74%、余剰抽出74% (3LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の25%	2箇所 RH	VT-3	代表1台の25% (1箇所)									1箇所 (451)			SA2	
		余熱除去ポンプスロライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の25%	4箇所 MS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)										1箇所 (430)		SA2	
		余熱除去ポンプスロライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												SA2	1箇所 (002A)

クラス2機器供用期間中検査GN3-5 (保全重要度:高)
 1. 余熱除去冷却器(1/12)

余熱除去冷却器(管側) 発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)												
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	SA775	備考
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ｼｰﾄﾞ/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	B:7.5%					SA2	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ｼｰﾄﾞ/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%		B:7.5%				SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)					B入口1箇所	SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)
2. 配管(3/15)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S_NA1-2008 玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										SA77s	備考		
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回
C5.11	C-F	燃料取扱用水タンク出口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所			SA2	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所					SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	56箇所	PT	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
C5.21	C-F	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所					SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	47箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
C5.21	C-F	低温側高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	19箇所	PT	7.5% (2箇所)						SA2	
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)			1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
C5.30	C-F	封水注入ライン	表面	7.5%	15箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所				SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所		1箇所	1箇所	SA2	
C5.30	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	24箇所	PT	7.5% (2箇所)						SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	16箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)
2. 配管(7/14)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		北海道原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	SA/77s		
FL.21	F-A	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	55箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
					RH 55箇所 AN 0箇所										
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	26箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	RH 15箇所						SA2	
					MS 1箇所										
					HS 8箇所				1箇所						
					AN 2箇所										
		高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	20箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	RH 18箇所		1箇所			1箇所	SA2	
					AN 2箇所										
		低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	57箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	RH 54箇所		1箇所			1箇所	SA2	
					AN 3箇所										
低温側高圧補助注入ライン 連絡管	VT-3	7.5%	15箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	RH 11箇所		1箇所				SA2			
			AN 4箇所						1箇所						
高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%	3箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	RH 2箇所					1箇所	SA2			
			AN 1箇所												
高温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	2箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	RH 1箇所		1箇所				SA2			
			AN 1箇所												

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度：高)
 2. 配管(8/14)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考								
		検査の対象箇所	検査範囲	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法		検査範囲	検査回数	検査方法					
F1.21	F-A	格納容器再循環サブ出口ライン	7.5%	VT-3	16箇所	RH	13箇所	7.5% (2箇所)	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	SA2	
						HS	3箇所															
						RH	4箇所															
F1.21	F-A	燃料取替用水タンク出口ライン	7.5%	VT-3	8箇所	RH	4箇所	7.5% (1箇所)	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	SA2	
						HS	2箇所															
						AN	2箇所															
F1.21	F-A	封水注入ライン	7.5%	VT-3	22箇所	RH	22箇所	7.5% (2箇所)	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所	SA2	
						AN	0箇所															

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
 3. ボンプ(7/12)

充てんボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)											
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	SA77s	備考
C3.30	ボンプ支持脚部材取付け 溶接継手	表面	7.5%	16箇所 ×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所		A:1箇所	B:1箇所	B:1箇所	SA2	
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%	16本 ×3台	UT	代表1台の 7.5% (2本)			A:2本			SA2	
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	1箇所 ×3台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)			A:1箇所			SA2	
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×3台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			A:1箇所			SA2	

余熱除去ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)											
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	SA77s	備考
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)				A:1箇所		SA2	
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				A:1箇所		SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度:高)
4. 弁(8/12)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)							SA/パス	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回			第16回	第17回	
F1.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (3FCV-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	4箇所	1箇所 (603)					SA2	
			VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	4箇所	1箇所 (614)					SA2	
		VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所	RH	3箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (067B)			SA2	
		VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所	RH	3箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (066A)			SA2
		封水注入ライン (3V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	4箇所						SA2	1箇所 (026A)

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度: 高)

5. クラス2機器漏えい検査(9/12)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考	
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2				○			
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 充てんポンプ出口ライン	VT-2		●					
C7.30, C7.50 C7.70			B 充てんポンプ出口ライン	VT-2		●					
C7.30, C7.50 C7.70			C 充てんポンプ出口及び密封水注入ライン	VT-2			●				
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (1)	VT-2			●				
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (2)	VT-2			●				
C7.30, C7.70			抽出ライン (3)	VT-2			●				
C7.30, C7.70			体積制御タンク入口ライン	VT-2			●				
C7.10, C7.30 C7.70			A ほう酸ポンプ入口ライン	VT-2		●					
C7.10, C7.30 C7.70			B ほう酸ポンプ入口ライン	VT-2		●					
C7.30, C7.50 C7.70			A ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2			●				
C7.30, C7.50 C7.70			B ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2			●				
C7.30, C7.70			ほう酸混合器及び出入口ライン	VT-2				○			
C7.30, C7.70			RCP 封水注入戻りライン	VT-2		●					
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統	A, B 高圧注入ポンプ入口ライン	VT-2					○		
C7.30, C7.50 C7.70			燃料取替用水タンク水位 96%以上(水張り)	VT-2							
C7.30, C7.50 C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ライン (1)	VT-2				○			
C7.30, C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ライン (2)	VT-2				○			
C7.30, C7.50 C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ライン (1)	VT-2					○		
C7.30, C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ライン (2)	VT-2						○	
C7.30, C7.70			A 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2						○	
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2						○	
C7.10, C7.30 C7.70			A 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●				
C7.10, C7.30 C7.70			B 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●				
C7.10, C7.30 C7.70			C 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2				●			
C7.10, C7.30 C7.70			D 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2				●			
C7.30, C7.70			蓄圧タンクテストライン	VT-2				●			
C7.30, C7.70			蓄圧タンク N ₂ 供給ライン	VT-2				●			

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度: 高)

5. クラス2機器漏えい検査(10/12)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ入口ライン	原子炉停止時冷却運転圧力 (2.75MPa) 以上	●					
C7.30, C7.50 C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ライン	原子炉停止時冷却運転圧力 (2.75MPa) 以上		●				
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上			●			
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	原子炉停止時冷却運転圧力 (3.8MPa) 以上			●			
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ入口ライン	A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	定常運転水位 燃料取替用水タンク水位 96%以上 (水張り)	●					
C7.30, C7.50 C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ライン	定常運転水位 燃料取替用水タンク水位 96%以上 (水張り)	●					
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上			●			
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上			●			
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上					○	
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	機能試験圧力 (1.79MPa) 以上					○	
C7.10, C7.30 C7.70			よう素除去薬品タンク及びび出入ライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			A よう素除去薬品タンク出口ライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上	●					
C7.30, C7.70			B よう素除去薬品タンク出口ライン	定常運転圧力 (0.03MPa) 以上						
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水タンク及びび出入ライン	定常運転水位 燃料取替用水タンク水位 96%以上 (水張り)	●					
C7.30, C7.70			原子炉キャビティ浄化入口ライン	—	—					
C7.30, C7.70			原子炉キャビティ浄化出口ライン	原子炉停止時水位 原子炉キャビティ水位 EL+10.87m以上 (水張り)	●					
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上						
C7.10, C7.30 C7.70			B 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上						
C7.10, C7.30 C7.70			C 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上					○	
C7.10, C7.30 C7.70			D 蒸気発生器給水入口ライン	定常運転圧力 (6.2MPa) 以上					○	
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	A 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上						
C7.30, C7.70			B 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上						
C7.30, C7.70			C 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上					○	
C7.30, C7.70			D 蒸気発生器蒸気出口ライン	定常運転圧力 (5.9MPa) 以上					○	

・C種漏えい率検査で代替

クラス2機器供用期間中検査 GN3-5 (保全重要度: 高)

5. クラス2機器漏えい検査(12/12)

項目 番号	カテゴリー	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		系統名	ライン名称		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C7.30, C7.70	C-H	換気空調系統	A 格納容器換気水素バーージ給気ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 格納容器換気水素バーージ給気ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A 格納容器減圧ライン	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	・C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70			B 格納容器減圧ライン	VT-2	—	—	—	—	—	—	—	・C種漏えい率検査で代替
C7.30, C7.70	C-H	補助蒸気系統	格納容器補助蒸気ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70	C-H	所内用空気系統	格納容器所内用空気ライン	VT-2					○			
C7.30, C7.70	C-H	消火用水系統	格納容器消火用水ライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	格納容器再循環ユニットA 冷却水出入口ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットA 冷却水出入口ライン	VT-2	●							
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットB 冷却水出入口ライン	VT-2				●				
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC, D 冷却水出入口ライン	VT-2								
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットC 冷却水出入口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			格納容器再循環ユニットD 冷却水出入口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70			制御棒駆動装置冷却水出入口ライン	VT-2							○	
C7.30, C7.70			一次冷却材ポンプ及び弁制御用冷却器冷却水出入口ライン	VT-2			●					
C7.30, C7.70	一次冷却材ポンプ及び弁制御用冷却器冷却水出入口ライン	VT-2			●							
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	制御用空気Aヘッダライン	VT-2								
C7.30, C7.70			制御用空気Bヘッダライン	VT-2								

クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査 GN3-9.9 (保全重要度:高)
 クラス2管特別検査(1/1)

項目 番号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考		
								第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回		第12回	第11回
		配管の円周方向溶接継手													SA77A	
		抽出ライン	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	2箇所								
		充てんライン	体積	25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所				SA2	
		再生熱交換器連絡管														
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)		1箇所	1箇所						
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)				1箇所				SA2	

第2サイクル

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(1/26)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B2.111	B-B	上部胴とドラフトシヨリングとの周溶接継手 下部胴とドラフトシヨリングとの周溶接継手 ドラフトシヨリングと下部胴との周溶接継手	体積	100%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分 冷却材入口管台とセーフエドとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエドとの溶接継手	体積及び表面	100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマニカアップリング	VT-1	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(2/26)

項目番号	発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012				検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ウツリクの溶接継手及びT/Cウツリクの溶接継手	体積及び表面	25%	最外周の25%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%		
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%		
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%		
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		検査範囲	備考
			体積及び表面	ベアメタル検査		
-	-	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	ベアメタル検査	100%	
			体積及び表面	ベアメタル検査	100%	
-	-	冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	
			体積及び表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201(保全重要度:高)
2. 加圧器(3/26)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2012		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手	体積	5%	北海道電力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%	
		上部胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.12	B-B	中間胴の長手溶接継手	体積	10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	
		上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	
B2.13	B-B	中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
B3.30	B-D	サージ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	
		スプレイライオン用管台と容器との溶接継手			
		安全弁用管台と容器との溶接継手			
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			
B3.40	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	
		スプレイライオン用管台内面の丸みの部分			
		安全弁用管台内面の丸みの部分			
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201(保全重要度:高)
2. 加圧器(4/26)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2012			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B5.40	B-F	サージ用管台とセメントとの溶接継手	体 種 及び表面	溶接継手 (管台) 数の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理
		スプレイン用管台とセメントとの溶接継手			
		安全弁用管台とセメントとの溶接継手			
		逃がし弁用管台とセメントとの溶接継手			
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体 種	7.5%	
FL.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器(5/26)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
B2.40	B-B	管板と水室鏡との両溶接継手	体積	代表1基の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%		
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエイトとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%		
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%		
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(ワコネ690)	体積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物 〔支持脚ベアプレート、基礎〕 ボルト含む。	VT-3	代表1基の25%		

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエイトとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管 (6/27)

項目 番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考			
	カテ ゴリ	検査の対 象 箇 所							
B7.50	B-G-2		封水注入ライン	VT-1	25%				
			一次冷却材管	体 積	25%				
			加圧器サージライン	体 積	25%				
			加圧器安全弁ライン	体 積	25%				
			加圧器逃がしライン	体 積	25%				
			B9.11	B-J			余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体 積	25%
							余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体 積	25%
							蓄圧注入ライン	体 積	25%
							高温側低圧注入ライン	体 積	25%
			B9.21	B-J			低温側低圧注入ライン	体 積	25%
加圧器逃がしライン	表 面	25%							
クロスバレーブド・レライク、抽出クワ、 余剰抽出クワ	表 面	25%							
充てんライン	表 面	25%							
封水注入クワ	表 面	25%							
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表 面	25%							
			高温側高圧補助注入ライン	表 面	25%				
			低温側高圧補助注入ライン	表 面	25%				

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(7/27)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリー	検査の対 象 箇 所				
B9.31	B-J	一次冷却材管	体 積	25%	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	
		一次冷却材管	表 面	25%		
		余熱除去ポンプ入口ラライン(2)	表 面	25%		
B9.32	B-J	高温側低圧注入ライン	表 面	25%		
		低温側低圧注入ライン	表 面	25%		
		一次冷却材管	表 面	25%		
		カラムベリッドラライン, 抽出ラライン, 余剰抽出ラライン	表 面	25%		
B9.40	B-J	封水注入ラライン	表 面	25%		
		高温側高圧補助注入ライン	表 面	25%		
		低温側高圧補助注入ライン	表 面	25%		
B10.20	B-K	余熱除去ポンプ入口ラライン(2)	表 面	7.5%		

原子炉冷却材圧カバワンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	検査の対 象 箇 所		検査方法	検査範囲	備 考
	カテゴリー	検査の対 象 箇 所			
-	-	余熱除去ポンプ入口ラライン (2) 配管と管台との溶接継手	表 面	100%	玄海原子力発電所3号機点検計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(10/28)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	カテゴリ	検査方法				
FL.10 F-A			加圧器サージライン	VT-3	25%	北海道電力 3号機 検査計画 (10年間) クラス1 機器供用期間中検査で管理
			加圧器逃がしライン	VT-3	25%	
			加圧器ドレドレライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	VT-3	25%	
			充てんライン	VT-3	25%	
			封水注入ライン	VT-3	25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	
			蓄圧注入ライン	VT-3	25%	
			高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
			低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	
			高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	
			低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201(保全重要度:高)
 5.1次始期材ポンプ(9/26)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012				玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体積	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の25%		
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%		
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の25%		
		[支持脚、ベースプレート、基礎ボルト含む。]				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
6. クラス1弁 (10/27)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012					
		圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)			玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
B6. 210	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	体積	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	体積	代表1台の 25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)			
B6. 220	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の 25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(ナット, ワッシャ)			
B6. 230	B-G-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の 25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の 25%	
		圧力保持用ボルト締付け部(ボルト, 挿込みボルト, ナット)			
		加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (3V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の 25%	
		加圧器逃がしライン (3PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の 25%	
B7. 70	B-G-2	クロスバードレック, 抽出7分, 余剰抽出7分 (3V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の 25%	
		クロスバードレック, 抽出7分, 余剰抽出7分 (3LCV-451, 452)	VT-1	代表1台の 25%	
		クロスバードレック, 抽出7分, 余剰抽出7分 (3V-RC-017)	VT-1	代表1台の 25%	
		表てんライン (3V-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 6. クラス1弁 (11/27)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MAI-2012						
B7.70	B-G-2	蓄圧注入ライン (3V-SI-134A～D, 136A～D)	VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-1	代表1台の25%		
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A～D)	VT-1	代表1台の25%		
		弁本体の内表面				
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台		
		蓄圧注入ライン (3V-SI-134A～D, 136A～D)	VT-3	代表1台		
		高温側低圧注入ライン (3V-RH-051A, B, 3V-SI-082B, C)	VT-3	代表1台		
		低温側低圧注入ライン (3V-RH-050A～D)	VT-3	代表1台		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 6. クラス1弁 (14/28)

項目番号	発用原子力設備規格 維持規格 JSME S N41-2012		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所 3号機検査計画 (10年間)	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所					
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (3V-RC-055, 056, 057) 加圧器逃がしライン (3V-RC-054A, B) 加圧器逃がしライン (3PCV-452A, B) プロセス・レグドレック、抽出ライン、 余剰抽出ライン (3LCV-451, 452) 余熱除去ポンプ入口ライン(1) (3PCV-420, 430) 余熱除去ポンプ入口ライン(2) (3V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
			VT-3	代表1台の 25%			
			VT-3	代表1台の 25%			
			VT-3	代表1台の 25%			
			VT-3	代表1台の 25%			
			VT-3	代表1台の 25%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 G N 3 - 2 0 1 (保全重要度：高)

7. 容器(13/26)

余熱除去冷却器 (管側)		J S M E S N A 1 - 2 0 0 8		検査範囲	備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
C1.30	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%		
C2.21	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%		

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)		J S M E S N A 1 - 2 0 0 8										検査範囲	備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
C1.10	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	2ヶ/基 × 1基	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%				
C1.10	胴側胴の周継手	体積	2ヶ/基 × 1基	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%						7.5%		
C2.21	胴側出入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	2箇所 × 1基	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%				1箇所				
C2.22	胴側出入口管台内面の丸みの部分	体積	2箇所 × 1基	体積	代表1基の管台数の7.5%							1箇所	
C3.10	胴と当板との溶接継手	表面	12箇所 × 1基	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%							1箇所	
F1.43	支持脚	VT-3	3箇所 × 1基	VT-3	代表1基の7.5%				1箇所				

格納容器スプレイ冷却器 (管側)		J S M E S N A 1 - 2 0 0 8										検査範囲	備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
C1.10	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	1ヶ/基 × 2基	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%			A:7.5%					
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	1ヶ/基 × 2基	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%					A:7.5%			
C4.10	カラーボルト	体積	36本 × 2基	体積	代表1基の7.5%				A:1本			A:1本	
C4.10	全ネジボルト	体積	12本 × 2基	体積	代表1基の7.5%				A:1本			A:1本	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管(14/29)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008										玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)				備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回			
C3.20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所			1箇所	
		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						
		A格納容器再循環ユニット入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所			
		格納容器再循環ユニット出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所							
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%												
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%												
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%												
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%												
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%												
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%												
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%												
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%												
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%												
高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%														
C5.11	C-F	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回			
		余熱除去冷却器出口ライン(COCS)	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	13箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所							
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)					1箇所				
		主蒸気逃がしライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

8. 配管 (16/29)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008				検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)			
C5.21	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面			7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面			7.5%	
		低温側高圧補助注入ライン	表面			7.5%	
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	表面			7.5%	
		高圧補助注入ライン	表面			7.5%	
		封水注入ライン	表面			7.5%	
		高温側高圧補助注入ライン	表面			7.5%	
C5.30	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面			7.5%	
		封水注入ライン	表面			7.5%	
		格納容器再循環サブ出口ロライン	表面			7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
8. 配管 (22/29)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3 7.5%	
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3 7.5%	
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3 7.5%	
		高温側高圧補助注入ライン	VT-3 7.5%	
		低温側低圧注入ライン	VT-3 7.5%	
		高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3 7.5%	
		低温側高圧補助注入ライン	VT-3 7.5%	
		低温側高圧補助注入ライン連絡管	VT-3 7.5%	
		高圧補助注入ライン	VT-3 7.5%	
		高温側低圧注入ライン	VT-3 7.5%	
		格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3 7.5%	
		燃料取替用水タンク出口ライン	VT-3 7.5%	
		封水注入ライン	VT-3 7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 9. ボンプ(20/26)

充てんボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%											
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%											
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

余熱除去ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

原子炉補機冷却水ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	備考
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)		A:1箇所					

格納容器スプレイボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	備考
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				A:1箇所			

常設動注入ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	備考
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						1箇所	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 10. 弁 (21/26)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008		玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回					
F1.43	F-A	格納容器再循環ユニット出口ライン (3-TCV-2430, 2431)	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (2430)								
		主蒸気逃がしライン (3FCV-3610, 3620, 3630, 3640)	VT-3	代表1台の 7.5%	8箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)											
		余熱除去冷却器出入口ライン (3HCV-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%														
		余熱除去冷却器出入口ライン (3FCV-604, 614)	VT-3	代表1台の 7.5%														
		高温側高圧補助注入ライン (3V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%														
		低温側高圧補助注入ライン-連絡管 (3V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%														
		封水注入ライン (3V-SI-026A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%														

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(22/26)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	○	○	○		
B15.20			加圧器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	○	○	○	○		
B15.30			蒸気発生器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	○	○	○		
B15.50			クラス1配管	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	○	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	○	○	○		
B15.70			クラス1弁	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	○	○	○		
C7.30, C7.70			C-H	化学体種制御系統	B充てんポンプ自己冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●					
C7.30, C7.70	B充てんポンプ自己冷却水戻りライン	SA時の使用圧力			VT-2				○				
C7.30, C7.70	体積制御タンク及び出入ロライン	SA時の使用圧力			VT-2				○				
C7.10, C7.30	A充てんポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.50, C7.70	B充てんポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.30, C7.50	C充てんポンプ出口及び封水注入ライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.70	Aほう酸ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2							○	
C7.10, C7.30	Bほう酸ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2							○	
C7.70	Aほう酸ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.30, C7.50	Bほう酸ポンプ出口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.30, C7.70	B高圧注入ポンプ海水排水ライン	SA時の使用圧力			VT-2			●					
C7.30, C7.70	A, B高圧注入ポンプ入口ロライン	SA時の使用圧力			VT-2						○		
C7.30, C7.50	A高圧注入ポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力			VT-2						○		
C7.70	A高圧注入ポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力			VT-2						○		
C7.30, C7.70	B高圧注入ポンプ出口ロライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.70	B高圧注入ポンプ出口ロライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.30, C7.70	A格納容器再循環サンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.30, C7.70	B格納容器再循環サンプ出口ロライン	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.30, C7.70	A蓄圧タンク及び出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2			●							
C7.10, C7.30	B蓄圧タンク及び出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2			●							
C7.70	C蓄圧タンク及び出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							○			
C7.10, C7.30	D蓄圧タンク及び出入ロライン	SA時の使用圧力	VT-2							○			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(23/26)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)					備考		
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	
C7.30.C7.70	C-H	余熱除去系統	格納容器スプレイ系統~余熱除去系統間のタ イライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	A余熱除去ポンプ出口ライン(1)						○	
C7.50.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	A余熱除去ポンプ出口ライン(2)						○	
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	B余熱除去ポンプ出口ライン(1)							
C7.50.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	B余熱除去ポンプ出口ライン(2)							
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	可搬型ポンプ用送水ライン(1)						○	
C7.30.C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	可搬型ポンプ用送水ライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	A格納容器スプレイポンプ入口ライン							○
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	B格納容器スプレイポンプ入口ライン							○
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	A格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)		●					
C7.50.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	A格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)		●					
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	B格納容器スプレイポンプ出口ライン(1)						○	
C7.50.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	B格納容器スプレイポンプ出口ライン(2)						○	
C7.30.C7.70	C-H	使用済燃料ピット浄化 冷却系統	使用済燃料ピット補給用給水ライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30.C7.70				SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30.C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30.C7.50				SA時の使用圧力	VT-2								
C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	常設電動注入ポンプ出口ライン							
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	燃料取替用水タンク及び出入ロライン		●					
C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	B蒸気発生器給水入口ライン		●					
C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	C蒸気発生器給水入口ライン							
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	D蒸気発生器給水入口ライン							
C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	補給水ポンプ入口ライン							
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	A電動補給水ポンプ出口ライン							
C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	B電動補給水ポンプ出口ライン							
C7.10.C7.30				SA時の使用圧力	VT-2	タービン動補給水ポンプ出口ライン						○	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(24/26)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回			
C7.30、C7.70	C-H	主蒸気系統	A	蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●					
C7.30、C7.70			B	蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30、C7.70			C	蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30、C7.70			D	蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30	C-H	換気空調系統		中央制御室換気空調ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○		技術基準規則第58条第2項のただし書による「他の方法」として外観検査を実施	
C7.30、C7.70				アニユラス空気浄化ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30、C7.70				代替緊急時対策所加圧ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30、C7.70			A	原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●				
C7.30、C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統		A 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30、C7.70				B 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30、C7.70				原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●				
C7.30、C7.70			A, B	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●				
C7.10、C7.30 C7.50、C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	A, B	原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30、C7.70			C, D	原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10、C7.30 C7.70				原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●				
C7.10、C7.30 C7.50、C7.70			A, B	海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●				
C7.30、C7.70			C, D	海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(25/26)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回		
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	A加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			アニュラス空気浄化ファン弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2						●		
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2						●		
C7.30, C7.70			A制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						●		
C7.30, C7.70	B制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.10	C-H	ディーゼル発電機始動用空気系統	Aディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.10			Bディーゼル発電機始動空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン(1)	SA時の使用圧力	VT-2					●			
C7.10, C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン(2)	SA時の使用圧力	VT-2						●		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN3-201 (保全重要度：高)
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(26/26)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年間)	備考
---	---	配管の円周方向溶接継手			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

第2サイクル

重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN3-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	ライン(設備)名	検査対象箇所 機器名	検査方法	設備数	玄海原子力発電所3号機検査計画(10年)										備考					
						2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027		2028				
D2.30	D-B		サクションユニット(3, 4号機共用)	VT-2	5																
D2.30	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ入口ライン給水用5mホース出口接続口～可搬型ディーゼル注入ポンプ(3, 4号機共用)	VT-2	6						○										
D2.30	D-B		No.5,6可搬型ディーゼル注入ポンプ～可搬型ディーゼル注入ポンプ出口ライン送水用4mホース入口接続口(3, 4号機共用)	VT-2	2						○										
D2.30	D-B		接続用中継ユニット(3, 4号機共用)	VT-2	5							○									
D2.30	D-B		接続用中継ユニット出口接続口～接続用中継ユニット出口ライン使用済燃料ピットスタブレイ用5mホース入口接続口(3, 4号機共用)	VT-2	5								○								
D2.30	D-B		空ポンベ(代替緊急時対策所用)～代替緊急時対策所加圧ラインフレキシブルホース接続口(3, 4号機共用)	VT-2	25															○	
D2.30	D-B		原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	VT-2	2																●
D2.30	D-B		A, B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	VT-2	3																●
D2.10	D-B		中容量発電機車燃料油サービスタンク(3, 4号機共用)	VT-2	2																○
D2.10	D-B		高圧発電機車燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	4																○
D2.10	D-B		直流電源用発電機燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	6																○
D2.10	D-B		代替緊急時対策所用発電機燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	3																○
D2.10	D-B		水中ポンプ用発電機燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	10																○
D2.10	D-B		使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム発電機燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	4																○
D2.10	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	6																●
D2.10	D-B		移動式大容量ポンプ車燃料タンク(3, 4号機共用)	VT-2	4																●

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査

○また、第16サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA-1-2008/2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試 験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外 表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査申請内容（添付書類二、三、四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）
なし

添付書類二

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	化学体積制御系統	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	3
2	余熱除去系統	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	3
3	原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)及び事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	4
4	給水系統 (HP Htr～SG)	異常状態の緩和機能は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	6
5	主単線結線図 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能(情報提供系)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	6
6	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能(情報提供系)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	6
7	原子炉保護制御装置	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	7

2. 系統レベル

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
1 冷却材系統	原子炉冷却材圧カバウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧カバウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	安全弁及び逆がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	未届昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	系統共通箇所以外 <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧カバウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【高圧注入系】 A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル 【低圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	
	未届昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧カバウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル 【よう薬除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	
放射線除去系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル 【よう薬除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	
原子炉精溜容器スプレイ系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <1時間/2サイクル B トレイン <1時間/2サイクル	
制御用空気系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<1時間/2サイクル	
燃料取替用水系統	燃料プールの補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧力バウングラに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備構築物	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (格納容器給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	
換気空調設備 (排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室冷却系)	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (燃料採取室給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
給水系統 (HPHtr~S/G)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプAトレイ】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプBトレイ】 <240時間/2サイクル 【復水タンク】 <168時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
S/Gプロローグダウン及びサンプリング系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイ <240時間/2サイクル B トレイ <240時間/2サイクル	
海水系統	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
主車線結線図 (M/C、P/C)	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
主車線結線図 (R/C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
電磁弁用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
所内保護・計量設備	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	過剰反応の抑制防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置 (機械系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	制御棒維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
制御稼働装置（電気系）	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
ディーゼル発電機始動用空気系統	安全上特に重要な関連機能（ディーゼル機関の始動用空気系）（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能（ディーゼル機関の燃料油系）（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能（ディーゼル機関の潤滑油系）（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能（ディーゼル機関の冷却水系）（MS-1）	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能（PS-2）	<2回/サイクル	—	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能（MS-1）	<1回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号劣部】 <48時間/2サイクル/チャンネル（手動トリップ） <6時間/2サイクル/チャンネル（自動トリップ） （ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル） <11時間/2サイクル/チャンネル（バックアップ）	
		<1回/サイクル	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号劣部】 <48時間/2サイクル/チャンネル（手動起動） <6時間/2サイクル/チャンネル（自動起動） <11時間/2サイクル/チャンネル（バックアップ） 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 【中央制御室非常用保護系作動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル <720時間/2サイクル/チャンネル	
炉外稼働装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
エリア・プロセッサ装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
中央制御室遠征時制御盤	制御室外からの安全停止機能（MS-2）	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
原子炉周辺建屋	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能（アニュラス部を構成する機能）（MS-1）	<1回/サイクル	—	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能（海水供給機能）（MS-1）	<1回/サイクル	—	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設(使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 3A、3B 使用済燃料ピット冷却器	確率論的リスク評価(PRA)により、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	2/106
2	原子炉冷却系統施設(非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-004A、004B 3A、3B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	18/106
3	原子炉冷却系統施設(非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-064A、064B 3A、3B 高压注入ライン隔離逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	19/106
4	原子炉冷却系統施設(非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-095A、095B 3A、3B 安全注入系ポンプC/V再循環ポンプ側入口逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	20/106
5	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3LCV-1200 3号CCWポンプタンク水位制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
6	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-014A、014B 3号CCWポンプライン止弁A、B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
7	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-024 3号CCWポンプタンク補給ライン連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
8	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-025 3号CCWポンプタンクB側補給ライン切替弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
9	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-026 3号CCWポンプタンクA側補給ライン切替弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
10	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-043A、B 3AC、3BC CCW戻り母管連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
11	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-056A、B 3AC、3BC CCW供給母管連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/106
12	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-057A、B 3号CCWP出口連絡弁A、B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	30/106
13	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-064A、B 3A、3B CCW冷却器CCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	30/106
14	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-106A 3AB CCWP側CCW出口止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	30/106
15	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-107A、B 3A、3B RHR冷却器CCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	30/106

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
16	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-118B 3B SIPモータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
17	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-119B 3B SIP油冷却器CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
18	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-120B 3B SIP CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
19	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-124A 3A RHRP、ポンプ、モータCCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
20	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-127A、B 3A、3B SIP、ポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
21	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-133 3号AM用3A RHRPポンプ、モータCCW第1入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
22	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-134 3号AM用3A RHRPポンプ、モータCCW第2入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
23	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-135 3号AM用3A RHRPポンプ、モータCCW第1出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
24	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-136 3号AM用3A RHRPポンプ、モータCCW第2出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
25	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-137 3号AM用3A RHRPポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
26	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-165 3号封水冷却器CCW出口止弁A	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/106
27	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-207A、B 3A、3B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/106
28	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-222B 3B CHP CCW入口ライン第2切替弁B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
29	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-223A、C 3A、3C CHP ポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
30	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-229B 3B CHPモータCCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
31	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-235B 3B CHP Ccw出口ライン第1切替弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
32	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-241 3A C C W冷却器海水供給ライン第二止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
33	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-246 3B S I Pポンプ・モータ冷却水戻りライン 海水排水ライン止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
34	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-247 3B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン 海水排水止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
35	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-248A、B 3A、3B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン 海水排水第一止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
36	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-251 3B CHP自己冷却水供給ライン第二止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
37	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-252 3B CHP自己冷却水戻りライン第一止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/106
38	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1319 3A RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
39	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1320 3B RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
40	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1321 3C RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
41	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1322 3D RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
42	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-PS-002B 3B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(継手側)	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
43	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却水設備) 3V-PS-006B 3B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/106
44	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却海水設備) 3V-SW-502A、B、C、D 3A、3B、3C、3D SWP出口逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	35/106

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
45	原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却海水設備) 3V-SW-509A、B、C、D 3A、3B、3C、3D SWP出口スレーブ出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	36/106
46	計測制御系統施設(その他設備) 原子炉安全保護計装盤等	原子炉安全保護計装盤等更新工事の実施による、機能の統合に伴う変更。	43/106
47	放射線管理施設(換気設備) 3V-CH-262 3号空調用冷水膨張タック純水補給止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	68/106
48	原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備) 3Aサブール冷却器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	73/106
49	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) A、B 2次系純水タンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、開放点検の頻度を「4Y」から「5Y」に変更した。	85/106
50	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 3V-FW-587 3号T/D AFWP2次系純水タック側入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	91/106
51	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 3V-FW-589 3号T/D AFWP2次系純水タック側逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	91/106
52	主変圧器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	100/106
53	所内変圧器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	100/106
54	3MT r ユニット	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	100/106
55	3C 充電器盤	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	101/106
56	3C ドロッパ盤	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	101/106
57	3C 蓄電池	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	101/106

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉冷卻系統施設 (一次冷卻用の循環設備)	3 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	3 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中	
	3 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中	
	3 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y		プラント運転中	
	3 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y		プラント運転中	
	3 A 使用済燃料ピット配管塔	外観点検	低	1C			
	3 B 使用済燃料ピット配管塔	外観点検	低	1C			
	3号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検 (加入替他) 分解点検	低	1Y 6Y		プラント運転中	
	3号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	3号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	10Y		プラント運転中	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	3W-SF-011 3 A AM用 S F Pポンプ出口弁	駆動部点検 分解点検 機能・性能試験 電動機分解点検	低	10Y 10Y 10F 10Y		プラント運転中
		3W-SF-094 3号 S F P配管水補給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	GN3-S7 1次系逆止弁検査	
		3 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検 (加入替他)	高	1Y		プラント運転中 (振動診断：切替毎)
			分解点検	高	4Y		
			機能・性能試験	高	4F	GN3-S4 1次系ポンプ機能検査	
		3 A 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y		プラント運転中 (振動診断：切替毎)
		3 B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検 (加入替他)	高	1Y		プラント運転中 (振動診断：切替毎)
			分解点検	高	4Y		
			機能・性能試験	高	4F	GN3-S4 1次系ポンプ機能検査	
		3 B 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y		プラント運転中 (振動診断：切替毎)
	3号 燃料取替用水タンク	開放点検	高	130M			
	3号 燃料取替用水補助タンク	開放点検	低	130M			
	3 A 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	3 B 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	3 C 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	3 D 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	3 A 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	26M		GN3-6 蒸気発生器伝熱管本体検査	
3 B 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	26M		GN3-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		
3 C 蒸気発生器伝熱管 3, 382本	非破壊試験	高	26M		GN3-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	3F-SI-004A 3 A 安全注入系ポンプ入口逆止弁	分解点検	高	130M	GN3-S6 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	3F-SI-004B 3 B 安全注入系ポンプ入口逆止弁	分解点検	高	130M	GN3-S6 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	3F-SI-011A 3 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		分解点検		130M		
	3F-SI-014A 3 A 高圧注入ポンプミニニフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-014B 3 B 高圧注入ポンプミニニフロー逆止弁	分解点検	高	130M			
	駆動部点検		130M			
	分解点検		130M			
3F-SI-015A 3 A 高圧注入ポンプ第一ミニニフロー弁	分解点検	高	130M			
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-015B 3 B 高圧注入ポンプ第一ミニニフロー弁	分解点検	高	130M			
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-016A 3 A 高圧注入ポンプ第二ミニニフロー弁	分解点検	高	130M			
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-016B 3 B 高圧注入ポンプ第二ミニニフロー弁	分解点検	高	130M			
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-026A 3 A 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁	分解点検	低	130M	GN3-18 非常用中心冷却系主要弁分解検査		
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-026B 3 B 高圧注入ポンプ封水注入ライン止弁	分解点検	低	130M	GN3-18 非常用中心冷却系主要弁分解検査		
	電動機分解点検		130M			
	駆動部点検		130M			
3F-SI-062A 3 A 高圧注入ライン外漏継弁	分解点検	高	130M	GN3-S5 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3V-SI-062B 3 B 高圧注入ライン外漏離弁		駆動部点検	高	130M	GN3-S5 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
3V-SI-064A 3 A 高圧注入ライン隔離逆止弁		分解点検	高	195M		
		分解点検	高	195M		
3V-SI-066A 3 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁A		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
3V-SI-066B 3 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁B		分解点検	高	130M		
		電動機分解点検	高	130M		
3V-SI-067A 3号 A B ループ 高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
3V-SI-067B 3号 C D ループ 高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		駆動部点検		130M		
3V-SI-072A 3号 A ループ 低圧側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-072B 3号 B ループ 低圧側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-072C 3号 C ループ 低圧側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-072D 3号 D ループ 低圧側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-073A 3号 A ループ 高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-073B 3号 B ループ 高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-073C 3号 C ループ 高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-073D 3号 D ループ 高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-082A 3号 A ループ 高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-082B 3号 B ループ 高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-082C 3号 C ループ 高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-082D 3号 D ループ 高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
		分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN3-18	
		分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 GN3-204	
3V-SI-093A 3 A C/V 再循環ポンプ外漏離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
3F-SI-009B 3 B C/V再循環ポンプ外漏離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
3F-SI-005A 3 A 安全注入系ポンプC/V再循環ポンプ側入口逆止弁 3F-SI-005B 3 B 安全注入系ポンプC/V再循環ポンプ側入口逆止弁		分解点検	高	195H		
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-132A 3 A 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-132B 3 B 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-132C 3 C 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-132D 3 D 蓄圧タンク出口弁		電動機分解点検	高	130M	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-133A 3 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		電動機分解点検	低	10C	GN9-S5 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-133B 3 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		機能・性能試験	低	10C	GN9-S5 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-133C 3 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		機能・性能試験	低	10C	GN9-S5 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-133D 3 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		機能・性能試験	低	10C	GN9-S5 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-134A 3 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁		機能・性能試験	高	10C	GN9-S5 1次系弁検査	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-134B 3 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁		機能・性能試験	高	10C	GN9-S5 1次系弁検査	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-134C 3 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁		機能・性能試験	高	10C	GN9-S5 1次系弁検査	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
3F-SI-134D 3 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁		機能・性能試験	高	10C	GN9-S5 1次系弁検査	GN9-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN9-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
3 B 原子炉補機冷却水冷却器	3号 C.C.W.サージタンク	簡易点検 (垂れ取書他)	高	13M	GN9-92 1次系熱交換器検査		
		開放点検		26M			
		非破壊試験		52M			
	3号 原子炉補機冷却水サージタンク	3号 C.C.W.サージタンク水位制御弁	開放点検	高	65M		
			駆動部点検	高	130M		
			分解点検	高	130M		
	3F-CCT-101 3号 原子炉補機冷却水サージタンク真空遮断弁	3号 C.C.W.サージタンク通がし弁	分解点検	低	130M	GN9-S8 1次系真空遮断弁検査	
			外観点検	低	10C		
			分解点検	低	195M		
		3号 C.C.W.サージタンク通がし弁	漏えい試験	低	15C	GN9-S6 1次系安全弁検査	
機能・性能試験			低	15C			
分解点検			高	195M			
3F-CC-010 3号 C.C.W.サージタンクA		3号 C.C.W.サージライン止弁A	分解点検	高	195M		
			分解点検	高	195M		
			分解点検	高	195M		
		3号 C.C.W.サージタンク補給ライン通弁	分解点検	高	195M		
	分解点検		高	195M			
	分解点検		高	195M			
	3号 C.C.W.サージタンクB臨補給ライン通弁	分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
	3F-CC-026 3号 C.C.W.サージタンクA臨補給ライン通弁	3号 C.C.W.サージタンクA	分解点検	高	195M		
駆動部点検							
分解点検			高	195M	GN9-S5 1次系弁検査		
3号 C.C.W.戻り母管止弁		電動機分解点検			130M		
		分解点検	高	195M			
		電動機分解点検					
3F-CC-043A 3 A C. C.C.W.戻り母管通弁		3 A C. C.C.W.戻り母管通弁	分解点検	高	195M		
			分解点検	高	195M		
			分解点検	高	195M		
		3 B C. C.C.W.戻り母管通弁	分解点検	高	195M		
	分解点検		高	195M			
	分解点検		高	195M			
	3 A C.C.W.P.出口逆止弁	分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
	3 B C.C.W.P.出口逆止弁	分解点検	高	195M			
分解点検		高	195M				
分解点検		高	195M				
3 C C.C.W.P.出口逆止弁	分解点検	高	195M				
	分解点検	高	195M				
	分解点検	高	195M				
3RY-056 3号 C.C.W.サージタンク通がしライン止弁	3号 C.C.W.サージタンク通がしライン止弁	分解点検	高	195M			
		駆動部点検					
		分解点検	低	195M			
	3号 C.C.W.戻り母管通弁	機能・性能試験	低	15C	GN9-S5 1次系弁検査		
		分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
	3 B C. C.C.W.戻り母管通弁	分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			
		分解点検	高	195M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
3F-CC-067A 3号 C.CWP出口連絡弁A 3F-CC-067B 3号 C.CWP出口連絡弁B 3F-CC-068 3号 C.CWP供給管止弁	3F-CC-067A 3号 C.CWP出口連絡弁A	分解点検	高	195M		
		分解点検	高	195M		
	3F-CC-068 3号 C.CWP供給管止弁	駆動部点検	高	195M	GN3-S5 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M		
	3F-CC-063A 3号 C.CWP出口弁	駆動部点検	高	195M		
		分解点検	高	195M		
		機能・性能試験	高	15C	GN3-S5 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M		
	3F-CC-063B 3号 C.CWP出口弁	駆動部点検	高	195M		
		分解点検	高	195M		
		機能・性能試験	高	15C	GN3-S5 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M		
3F-CC-063C 3号 C.CWP出口弁	駆動部点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	機能・性能試験	高	15C	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検	高	130M			
3F-CC-063D 3号 C.CWP出口弁	駆動部点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	機能・性能試験	高	15C	GN3-S5 1次系弁検査		
	電動機分解点検	高	130M			
3F-CC-064A 3号 C.CWP冷却器C.W入口弁 3F-CC-064B 3号 C.CWP冷却器C.W入口弁	分解点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	漏えい試験	低	15C	GN3-S6 1次系安全弁検査		
3F-CC-065 3号 C.CWP戻り管逆止弁	機能・性能試験	低	15C			
	電動機分解点検	低	130M			
	分解点検	高	195M			
	漏えい試験	高	15C	GN3-S6 1次系安全弁検査		
3F-CC-082 3号 AM用蒸素マニホールド出口ライオン安全弁 3F-CC-083 3号 AM用蒸素マニホールド出口弁 3F-CC-106A 3号 C.CWPモータC.CWP出口止弁	分解点検	高	195M			
	漏えい試験	高	15C	GN3-S6 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験	高	15C			
	分解点検	高	130M			
3F-CC-107A 3号 R.I.R冷却器C.W入口弁 3F-CC-107B 3号 R.I.R冷却器C.W入口弁	分解点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			
	分解点検	高	195M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
	3F-CC-114A 3 A RHR冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-114B 3 B KHR冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
		電動機分解点検		130M			
		3F-CC-118B 3 B S I PモータCCW出口弁	分解点検	高	195M		
			分解点検		195M		
			分解点検		195M		
			分解点検		195M		
3F-CC-119B 3 B S I P前冷却器CCW出口弁		分解点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		分解点検		195M			
		分解点検		195M			
3F-CC-120B 3 B S I P CCW出口弁		分解点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		分解点検		195M			
		分解点検		195M			
3F-CC-124A 3 A RHR P、ポンプ、モータCCW入口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-127A 3 A S I P、ポンプ、モータCCW出口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-127B 3 B S I P、ポンプ、モータCCW出口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-133 3号 AM用3 A RHR Pポンプ、モータCCW第1入口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-134 3号 AM用3 A RHR Pポンプ、モータCCW第2入口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-135 3号 AM用3 A RHR Pポンプ、モータCCW第1出口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-136 3号 AM用3 A RHR Pポンプ、モータCCW第2出口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
3F-CC-137 3号 AM用3 A RHR Pポンプ、モータCCW出口弁	分解点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	3F-CC-149A 3 A SFP冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-149B 3 B SFP冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-165 3号 封水冷却器CCW出口止弁A	分解点検	高	195M			
		駆動部点検		195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
3F-CC-178A 3 A C/Vスプレイ冷却器CCW第二出口弁	電動機分解点検	高	130M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	機能・性能試験		15C				
	電動機分解点検	高	130M				
	分解点検		195M				
	分解点検		195M				
	機能・性能試験		15C				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
	3F-CC-178B 3 B C/Vスプレイ冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		機能・性能試験		15C			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-189A 3 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		電動機分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-189B 3 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M			
		分解点検		195M			
		電動機分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
3F-CC-195A 3 A B C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M				
	漏えい試験		10C				
	機能・性能試験		10C				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-195B 3 C D C/V再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M				
	漏えい試験		10C				
	機能・性能試験		10C				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-198A 3 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-198B 3 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-198C 3 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-198D 3 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁	駆動部点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-207A 3 A 制御用空気圧縮装置CCW出口弁 3F-CC-207B 3 B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	駆動部点検	高	195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	電動機分解点検		130M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術	
	3F-CC-210 3号 AM用代替循環ポンプCCW入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-211 3号 AM用代替循環ポンプCCW出口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		電動機分解点検		130M			
	3F-CC-212 3号 AM用代替循環ポンプCCW出口逆止弁	分解点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		漏えい試験 機能・性能試験		10C 10C			
	3F-CC-213 3号 AM用代替循環ポンプCCW入口ライン逆がし弁	分解点検	高	195M		GN3-86 1次系安全弁検査	
		分解点検		195M			
		分解点検		195M			
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
分解点検		195M					
3F-CC-222B 3 B CHP CCW入口ライン第2逆止弁B 3F-CC-223A 3 A CHP ポンプ、モータCCW出口弁 3F-CC-223C 3 C CHP ポンプ、モータCCW出口弁 3F-CC-229B 3 B CHPモータCCW入口弁 3F-CC-235B 3 B CHP CCW出口ライン第1逆止弁B 3F-CC-241 3 A CCW冷却器海水供給ライン第二止弁 3F-CC-246 3 B S I P ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁 3F-CC-247 3 B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水止弁 3F-CC-248A 3 A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁 3F-CC-248B 3 B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第二止弁 3F-CC-251 3 B CHP自己冷却水供給ライン第二止弁 3F-CC-252 3 B CHP自己冷却水戻りライン第一止弁	駆動部点検	高	195M		GN3-85 1次系弁検査		
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	駆動部点検		195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	駆動部点検		195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
	駆動部点検		195M				
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-348 3号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M		GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-401 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン止弁	駆動部点検	高	195M		GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-403 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M		GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		195M				
	電動機分解点検		130M				
3F-CC-405 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン隔離逆止弁	分解点検	高	130M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術		
3FCV-1319 3 A RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁	3FCV-1320 3 B RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁	駆動部点検	高	130M				
		分解点検		130M				
	3FCV-1321 3 C RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁	駆動部点検	高	130M				
		分解点検		130M				
	3FCV-1322 3 D RCP熱源へい装置CCW出口流量制御弁	駆動部点検	高	130M				
		分解点検		130M				
	3F-CC-421A 3 A RCP熱源へい装置CCW速がし弁		分解点検	低	130M			
			漏えい試験		10C			GN3-S6 1次系安全弁検査
			機能・性能試験		10C			
			分解点検		130M			
	3F-CC-421B 3 B RCP熱源へい装置CCW速がし弁		分解点検	低	130M			
			漏えい試験		10C			GN3-S6 1次系安全弁検査
機能・性能試験			10C					
分解点検			130M					
3F-CC-421C 3 C RCP熱源へい装置CCW速がし弁		分解点検	低	130M				
		漏えい試験		10C			GN3-S6 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C				
		分解点検		130M				
3F-CC-421D 3 D RCP熱源へい装置CCW速がし弁		分解点検	低	130M				
		漏えい試験		10C			GN3-S6 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C				
		分解点検		130M				
3F-CC-425 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン速がし弁		分解点検	低	130M				
		漏えい試験		10C			GN3-S6 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C				
		分解点検		130M				
3F-CC-427 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		分解点検		130M				
		電動機分解点検		130M				
		駆動部点検		195M				
3F-CC-429 3号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン外隔離弁		分解点検	高	195M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		電動機分解点検		130M				
		駆動部点検		195M				
		分解点検		195M				
3F-PS-002B 3 B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(継手側)		分解点検	高	195M				
		電動機分解点検		195M				
		駆動部点検		195M				
		分解点検		195M				
3F-PS-005B 3 B CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)		分解点検	高	195M				
		電動機分解点検		195M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4個	機能・性能試験	高	IC	GN3-115 原子炉補機冷却系機能検査		
		簡易点検 (フラット・ベネ取替他)		13M			
		分解点検	高	26M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管部	
	3 A 海水ポンプ	外観点検			4C		
		機能・性能試験			2C	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	
		簡易点検 (組入替他)	高	13M			(振動診断：切替毎)
	3 A 海水ポンプ用電動機	普通点検 (軸受点検)			26M		
		分解点検			52M		
		簡易点検 (フラット・ベネ取替他)			13M		
	3 B 海水ポンプ	分解点検		高	26M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検			4C		保温材施工附属配管部
		機能・性能試験			2C	GN3-122 2次系ポンプ機能検査	
3 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)			13M			
	普通点検 (軸受点検)	高		26M		(振動診断：切替毎)	
	分解点検			52M			
3 C 海水ポンプ	簡易点検 (フラット・ベネ取替他)			13M			
	分解点検		高	26M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査		
	外観点検			4C		保温材施工附属配管部	
3 C 海水ポンプ用電動機	機能・性能試験			2C	GN3-122 2次系ポンプ機能検査		
	簡易点検 (組入替他)	高		13M		(振動診断：切替毎)	
	普通点検 (軸受点検)			26M			
3 D 海水ポンプ	分解点検			52M			
	簡易点検 (フラット・ベネ取替他)			13M			
	分解点検		高	26M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査		
3 D 海水ポンプ用電動機	外観点検			4C		保温材施工附属配管部	
	機能・性能試験			2C	GN3-122 2次系ポンプ機能検査		
	簡易点検 (組入替他)	高		13M		(振動診断：切替毎)	
3 A SWP 出口逆止弁	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			
3 C SWP 出口逆止弁	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			
3 D SWP 出口逆止弁	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			
	分解点検		高	65M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の 漏れを監視する装置) 非潤滑油系統施設 (潤滑材)	3S-SW-507A 3 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M		
	3S-SW-507B 3 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M		
	3S-SW-507C 3 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M		
	3S-SW-507D 3 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M		
	3V-SW-509A 3 A SWP出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M		
	3V-SW-509B 3 B SWP出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M		
	3V-SW-509C 3 C SWP出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M		
	3V-SW-509D 3 D SWP出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M		
	3V-SW-590A 3号 海水供給母管連絡弁 A	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 65M 130M		GN3-123 2次系弁検査
	3V-SW-590B 3号 海水供給母管連絡弁 B	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 65M 130M		GN3-123 2次系弁検査
	3V-SW-570A 3 A CCW冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 130M 130M		GN3-S5 1次系弁検査
	3V-SW-570B 3 B CCW冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検 分解点検 電動機分解点検	高	130M 130M 130M		GN3-S5 1次系弁検査
	海水配管 (屋外)	開放点検	高	39M		
	海水配管 (屋内)	開放点検	高	65M		
	原子炉冷却系施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の 漏れを監視する装置) 非潤滑油系統施設 (潤滑材)	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	低	IC	GN3-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏れ検出器機能検査
1. 停止グループ制御機クラスタ 24本 2. 制御グループ制御機クラスタ 29本		機能・性能試験	高	IC	GN3-30 制御機駆動系機能検査 GN3-107 制御機クラスタ動作検査	
1. 制御機クラスタ 2. パーナルボイス 3. 2次中性子源 4. フラケングアダプタ		外観点検	高	IC	GN3-108 制御機クラスタ検査	※: 炉心設計による
制御機位置指示装置		特性試験	低	13M	GN3-109 制御機位置指示装置点検	
非潤滑油系統施設 (制御機駆動装置)	3 A MGセット用発電機	簡易点検 (組入時他) 普通点検 (軸受点検) 分解点検	低	13M 39M 65M		(振動診断: 1ヶ月)

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉トリップ遮断器 (RTC-2)		機能・性能試験	高	IC		
		弱勢部点検		78M		
原子炉トリップ遮断器 (RTD-1)		機能・性能試験	高	IC		
		弱勢部点検		78M		
原子炉トリップ遮断器 (RTD-2)		機能・性能試験	高	IC		
		弱勢部点検		78M		
1. 原子炉保護系ロジック回路 28回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 26回路		機能・性能試験	高	IC	GN3-33 安全保護系機能検査	
		弱勢部点検		78M		
1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うための伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材管計測装置 68個 送器 設定器 (保護継電器含む) 146個 (2) 核計測装置 20個 設定器 2. 重要な指示計器 11個 現場指示計 20個 (1) 1次冷却材管計測装置 中央制御室指示計 (2) 核計測装置 中央制御室指示計 8個		機能・性能試験	高	IC	GN3-34 安全保護系設定値確認検査	
		特性試験		13M		
1. パーミットロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミットロジック回路 1回路 (安全防護系ロジック関連)		機能・性能試験	高	IC	GN3-111 安全保護系機能検査 (パーミットロジック検査)	
		特性試験		13M		
事故時監視計器 指示計 35個		機能・性能試験	高	IC	GN3-25 プラント状態監視設備機能検査	
事故時資料採取設備 格納容器空室気ガス試料採取設備 1台		機能・性能試験	低	IC		
格納容器空室気ガスサンプル冷却器 (3, 4号機共用)		外観点検	高	IC		
格納容器空室気ガスサンプル水分分離器 (3, 4号機共用)		外観点検	高	IC		
1. 制御室制御系 2. 加工型水化制御系 3. 加工型圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系		機能・性能試験	高	IC	GN3-72 計測制御系機能検査	一部定検点検後
		特性試験	高	13M	GN3-73 計測制御系監視機能検査	
		機能・性能試験	高	IC	GN3-113 総合インテグレーションロック検査	
		特性試験	高	13M	GN3-105 核計装設備検査	一部定検点検後
原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構		機能・性能試験	高	IC	GN3-106 核計装設備検査	
		特性試験	低	IC		
炉内核計装装置 1式		機能・性能試験	高	13M		
		特性試験	高	IC		
原子炉安全保護計装盤 1式		機能・性能試験	高	IC		
原子炉安全保護シーケンス盤 1式		機能・性能試験	高	IC		
原子炉安全保護ロジック盤 1式		機能・性能試験	高	4C		
炉外核計装保護盤 1式		特性試験	高	13M		
6. 6 kV非常用母線電圧保護継電器 1式		特性試験	高	13M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
機器又は系統名	A 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中	
	A 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	B 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中	
	B 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	A 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中	
	A 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	B 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中	
	B 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	C 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中	
	C 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中	
	オフガス装置	機能・性能試験	低	1C		GN9-78 1次系換気空調設備検査	
	A オフガスファン	簡易点検 (組入替他)	低	2Y		プラント運転中	
		分解点検		5Y		プラント運転中	
	A オフガスファン用電動機	分解点検	低	3Y		プラント運転中	
	B オフガスファン	簡易点検 (組入替他)	低	2Y		プラント運転中	
		分解点検		5Y		プラント運転中	
	B オフガスファン用電動機	分解点検	低	3Y		プラント運転中	
	廃棄物処理建屋給気ユニット	開放点検	低	9Y		プラント運転中	
	A 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	9Y		プラント運転中	
	B 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	9Y		プラント運転中	
	A オフガスフィルタ	開放点検	低	2Y		プラント運転中	
	B オフガスフィルタ	開放点検	低	2Y		プラント運転中	
	D-VS-5875 WD/B給気元タンバ	駆動部点検	低	14Y		プラント運転中	
	D-VS-5876 WD/B排気元タンバ	駆動部点検	低	14Y		プラント運転中	
	3V-CIT-101 空調用冷媒充填タンク真空度がし弁	分解点検	低	130M		GN9-S8 1次系真空設備検査	
	3V-CIT-262 3号 空調用冷媒充填タンク補充給止弁	分解点検	高	193M			
	3 A 空調用冷凍機	簡易点検 (組入替他)	高	13M			
		分解点検		39M			
		非破壊試験		39M			
	3 A 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M			
簡易点検 (組入替他)			13M				
分解点検		高	39M				
3 B 空調用冷凍機	非破壊試験		39M				
	分解点検	高	39M				
	分解点検		39M				
3 B 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
	3V-DP-311A 3号 C/V減圧ライン内隔離弁A	駆動部点検	高	130M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	3V-DP-311B 3号 C/V減圧ライン内隔離弁B	駆動部点検	高	130M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	3V-DP-313A 3号 C/V減圧ライン外隔離弁A	駆動部点検	高	130M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
	3V-DP-313B 3号 C/V減圧ライン外隔離弁B	駆動部点検	高	130M	GN3-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
	3V-PP-085 3号 A/L所内用空気加圧ライン安全弁	分解点検	低	130M	GN3-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	3V-RM-001 3号 C/V空気サンプリング取出ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	3V-RM-002 3号 C/V空気サンプリング取出ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
	3V-RM-008 3号 C/V空気サンプリング取りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		65M		
	3V-IG-009 3号 炉内核計測装置ガスハースライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	3V-IG-010 3号 炉内核計測装置ガスハースライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
3V-FS-502 3号 水消火ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	GN3-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
3V-FS-536 3号 AM用水消火ライン第一隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
3V-FS-537 3号 AM用水消火ライン第二隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
3 A サンプリング処理器	外観点検	高	1C			
	外観点検		1C			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (フラットヘッド取替他)	低	13M	GN3-121 2次系ポンプ分解検査	
		分解点検		39M		
	3号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)	低	13M		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M		
	3 A タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	分解点検	低	26M	GN3-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
		機能・性能試験		2C		
	3 A タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)	低	13M		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M		
	3 B タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	52M		
		機能・性能試験		26M		
	3 B タービン駆主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)	低	13M	GN3-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検 (軸受点検)		26M		
3 A 循環水ポンプ	分解点検	低	52M			
	機能・性能試験		26M			
3 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)	低	13M		(振動診断: 1ヶ月)	
	普通点検 (軸受点検)		26M			
3 B 循環水ポンプ	分解点検	低	52M			
	機能・性能試験		26M			
3 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (フラットヘッド取替他)	低	13M	GN3-138 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 1ヶ月)	
	分解点検		26M			
3 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検 (組入替他)	低	13M			
	普通点検 (軸受点検)		26M			
3 B 循環水ポンプ用電動機	分解点検	低	52M			
	機能・性能試験		26M			
純水装置調脂塔 A系	開放点検	低	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y			
純水装置調脂塔 B系	開放点検	低	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y			
純水装置調脂塔 C系	開放点検	低	3Y		プラント運転中	
	開放点検		3Y			
A 2次系純水タンク	開放点検	低	5Y		プラント運転中	
	開放点検		5Y			
B 2次系純水タンク	開放点検	低	5Y		プラント運転中	
	開放点検		5Y			
3 A 部分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M			
	開放点検		26M			
3 B 部分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M			
	開放点検		26M			
3 C 部分離加熟器第1段ドレンタンク	開放点検	低	26M			
	開放点検		26M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	3V-FW-581 3号 復水タンク T/D AFWP 截止弁	駆動部点検	高	130M	GN9-S5 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	3V-FW-587 3号 T/D AFWP 2次系補水タンク 側入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
		分解点検		195M		
	3V-FW-589 3号 T/D AFWP 2次系補水タンク 側停止弁 スチームコンバータ	駆動部点検	低	13M		
		開放点検 (目視)		13M		
		開放点検 (非破壊)		39M		
		開放点検 (目視)		13M		
	主蒸気管	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M		
		開放点検 (目視)		13M		
		開放点検 (非破壊)		78M		
	低温再熱蒸気管 (A部分分離器左側)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検 (非破壊)		78M		
		開放点検 (目視)		13M		
		開放点検 (非破壊)		78M		
低温再熱蒸気管 (A部分分離器右側)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		78M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		78M			
低温再熱蒸気管 (A部分分離器上側)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		78M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		78M			
低温再熱蒸気管 (B部分分離器左側)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		78M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		78M			
低温再熱蒸気管 (B部分分離器右側)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		78M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		78M			
高温再熱蒸気管 (LP-1)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		39M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		39M			
高温再熱蒸気管 (LP-2)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		39M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		39M			
高温再熱蒸気管 (LP-3)	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検 (非破壊)		39M			
	開放点検 (目視)		13M			
	開放点検 (非破壊)		39M			
第7抽気管	開放点検 (目視)	低	39M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	外観点検		IC			
第6抽気管	開放点検 (目視)	低	13M	GN9-129 蒸気タービン開放検査	開放点検 (非破壊) については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	外観点検		IC			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (発電機設備) (発電機、変圧器 他)	3V-D6-630B 3 B 空気圧縮機 2段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-S6 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外觀点検		10C		
	3V-D6-633A 3 A 空気圧縮機 3段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-S6 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外觀点検		10C		
	3V-D6-633B 3 B 空気圧縮機 3段安全弁	分解点検	低	130M	GN3-S6 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
		外觀点検		10C		
3V-D6-015A 3 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M			
	取替		65M			
	普通点検 (軸受点検)		26M			
	分解点検		78M			
発電機	機能・性能試験 (組立状況)	低	IC	GN3-F29 蒸気タービン開放検査		
	普通点検 (軸受点検他)		26M			
	分解点検		78M			
	特性試験		26M			
励磁機	普通点検 (軸受点検他)	低	13M			
	分解点検		195M			
	特性試験		13M			
	普通点検 (特性試験他)		195M			
発電機保護装置 (継電器)	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		195M			
	普通点検 (特性試験他)		1Y			
	分解点検		15Y			
主変圧器	普通点検 (特性試験他)	高	26M		プラント運転中	
	分解点検		2Y			
	特性試験		13M			
	普通点検 (特性試験他)		156M			
所内変圧器	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		13M			
	普通点検 (特性試験他)		1Y			
	分解点検		15Y			
予備変圧器	普通点検 (特性試験他)	低	26M			
	分解点検		2Y			
	特性試験		13M			
	普通点検 (特性試験他)		156M			
主変圧器・所内変圧器保護装置 (継電器)	普通点検 (特性試験他)	低	13M			
	分解点検		13M			
	普通点検 (特性試験他)		1Y			
	分解点検		15Y			
予備変圧器保護装置 (継電器)	普通点検 (特性試験他)	低	26M		定検停止中又はプラント運転中	
	分解点検		2Y			
	特性試験		13M			
	普通点検 (特性試験他)		156M			
1 Lユニット	普通点検 (特性試験他)	低	13M			
	分解点検		13M			
	普通点検 (特性試験他)		1Y			
	分解点検		15Y			
3 MTrユニット	普通点検 (特性試験他)	高	13M			
	分解点検		13M			
	普通点検 (特性試験他)		1Y			
	分解点検		15Y			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術
その他電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	E T r a n s m i t t e r	普通点検 (特性試験他) 分解点検	低	13M 12Y		プラント運転中
	3 C 充電器盤	機能・性能試験	高	1C		
	3 C ドロップレギュレータ	機能・性能試験	高	1C		
	3 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C		
	母線保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M		
	送電線保護装置 (継電器)	特性試験	低	78M		
	予備電源線保護装置 (継電器)	特性試験	低	6Y		プラント運転中
	母子充電装置 (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	電流計 (500kV 玄海幹線1I) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M		
	電流計 (500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M		
	電流計 (220kV 予備電源線) (3,4号機共用)	特性試験	低	2Y		プラント運転中
	遮断器 4-3 A F G	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 4-3 B E G	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	6.6kV 4-3 C 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-3 C 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-3 C 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-3 D 母線	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-3 D 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6.6kV 4-3 D 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	受電遮断器 4-3 E C	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
受電遮断器 4-3 E D	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
受電遮断器 4-3 H C	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
受電遮断器 4-3 H D	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
遮断器 3-3 C 1 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
遮断器 3-3 C 2 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）についての評価結果

玄海原子力発電所 第3号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF: 2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31 UA: 2019. 2. 1 ～ 2021. 8. 31	系統レベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	不適合報告書、是正処置報告書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	玄海 3 号機及び玄海 4 号機の安全性向上評価の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	未然防止処置対策実施確認票の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報 (NUCIA 情報)		
	⑧海外情報	2019. 2. 1 ～ 2020. 4. 30	通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、特定重大事故等対処施設設置工事及び常設直流電源設備（3 系統目）設置工事等を設計及び工事の計画へ反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	玄海 3/4 号機の確率論的リスク評価（PRA）の実施に伴うリスク重要度の変更情報を確認し評価を行った結果、保全活動管理指標、保全重要度等の変更を行う。
	⑪電力共同研究・技術開発	2019. 2. 1 ～ 2020. 4. 30	保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	⑫以上に該当しない情報	2020. 5. 1 ～ 2021. 8. 31	社内方針決定文書等の内容を確認し評価を行った結果、2 次系純水タンクの点検頻度の変更、海水ポンプ取替工事及び原子炉容器出入口管台溶接部計画保全工事等の設計及び工事の計画へ反映する。

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			インプット情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後			評価内容		
1	化学体積制御系統 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)	予防可能故障回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	リスク重要度が「低」から「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。		
2	余熱除去系統 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
3	原子炉補機冷却水系統 事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
4	原子炉補機冷却水系統 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
5	給水系統 (HPHtr-SG) 異常状態の緩和機能	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
6	主幹線結線図 (M/C、P/C) 安全上特に重要な関連機能 (情報提供系)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
7	直流電源系統 安全上特に重要な関連機能 (情報提供系)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					
8	原子炉保護制御装置 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障回数目標値	2回	1回					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更					4つの評価項目※		
		項目	変更前	変更後					
(設計基準事故対処設備等)									
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 3A、3B 使用済燃料ピット冷却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
2	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-004A、004B 3A、3B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	GN3-86 1次系安全弁検査
3	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-064A、064B 3A、3B 高圧注入ライン隔離逆止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
点検及び試験の項目	—	分解点検							
頻度	—	195M							
4	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 3V-SI-095A、095B 3A、3B 安全注入系ポンプ C/V再循環ポンプ側入口逆止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
点検及び試験の項目	—	分解点検							
頻度	—	195M							
5	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3LCV-1200 3号CCポンプの水位制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
点検及び試験の項目	—	駆動部点検							
頻度	—	130M							
6	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-014A、014B 3号CCポンプの逆止弁A、B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
点検及び試験の項目	—	分解点検							
頻度	—	195M							
7	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-024 3号CCポンプの補給ライン連絡弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」になったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
点検及び試験の項目	—	分解点検							
頻度	—	195M							

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は 点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目※	
		項目	変更前	変更後					
8	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-025 3号CCWPポンプA側補給ライン切替弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
9	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-026 3号CCWPポンプA側補給ライン切替弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
10	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-043A,B 3AC,3BC CCW戻り母管連絡弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
11	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-056A,B 3AC,3BC CCW供給母管連絡弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
12	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-057A,B 3号CCWP出口連絡弁A、B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
13	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-064A,B 3A,3B CCW冷却器CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
14	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-106A 3AB CCWP→9CCW出口止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
15	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-107A,B 3A,3B RHRC冷却器CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
16	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-118B 3B SIP→9CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
17	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-119B 3B SIP油冷冷却器CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
18	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-120B 3B SIP CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
19	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-124A 3A RHRCポンプ、モータCCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
20	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-127A,B 3A,3B SIP、ポンプ、モータCCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
21	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-133 3号AM用3A RHRCポンプ、モータCCW第1入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
22	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-134 3号AM用3A RHRCポンプ、モータCCW第2入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
23	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-135 3号AM用3A RHRCポンプ、モータCCW第1出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
24	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-136 3号AM用3A RHRCポンプ、モータCCW第2出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は 点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目※	
		項目	変更前	変更後					
25	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-137 3号AM用3A RHRポンプ、モータCCW出 口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
26	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-165 3号封水冷却器CCW出口止弁A	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
27	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-207A,B 3A,3B 制御用空気圧縮装置CCW出 口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
28	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-222B 3B CHP CCW入口ライン第2切替弁B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
29	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-223A,C 3A,3C CHP ポンプ、モータCCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
30	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-229B 3B CHP-CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
31	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-235B 3B CHP CCW出口ライン第1切替弁B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
32	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-241 3A C C W冷却器海水供給ラ イン第二止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
33	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-246 3B S I P ポンプ、モータ冷 却水戻りライン海水排水ライン 止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
34	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-247 3B 制御用空気圧縮装置冷却 水戻りライン海水排水止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
35	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-248A,B 3A,3B C/V再循環ユニット冷却 水戻りライン海水排水第一止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
36	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-251 3B CHP自己冷却水供給ライン 第二止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-CC-252 3B CHP自己冷却水戻りライン 第一止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
38	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1319 3A RCP熱源へい装置CCW出口流量 制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					
39	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1320 3B RCP熱源へい装置CCW出口流量 制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					
40	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3FCV-1321 3C RCP熱源へい装置CCW出口流量 制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価(PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は 点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目※	
		項目	変更前	変更後					
41	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3CV-1322 3D HCT熱源へい装置CCW出口流量 制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検 分解点検					
		頻度	—	130M					
42	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-PS-002B 3B CHP3771ボツタス冷却水入口弁 (継手側)	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
43	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3V-PS-006B 3B CHP3771ボツタス冷却水入口弁 (軸端側)	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
44	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 3V-502A、B、C、D 3A、3B、3C、3D SWP出口逆止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	65M					
45	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 3V-SW-509A、B、C、D 3A、3B、3C、3D SWP出口逆止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	65M					
46	放射線管理施設 (換気設備) 3V-C1-262 3号空調用冷水膨張ワ純水補給 止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
47	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設 備) 3A#1ボツタス冷却器	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	外観点検					
		頻度	—	1C					
48	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備) 3V-FW-587 3号T/D AFWP2次系純水ワ側入口 弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検 分解点検					
		頻度	—	電動機分解 点検 130M					
49	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備) 3V-FW-589 3号T/D AFWP2次系純水ワ側逆止 弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に変更した。 また、見直しに伴い、左記機器について 点検計画に反映した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
50	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 主変圧器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
51	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 所内変圧器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
52	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 3MTユニット	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
53	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 3C充電器盤	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
54	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 3Cドロツバ盤	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
55	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 3C蓄電池	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試 験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
56	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備) A、B 2次系純水タンク	開放点検 頻度	4Y	5Y	「その他」	保全計画の最適化として点検頻 度の見直しを検討した	過去の点検結果に問題がなかったこと及 び過去にトラブルがなかったこと等を綜 合的に評価し、開放点検の頻度を「4Y」 から「5Y」に変更する。	①	

※点検頻度の変更に適用した評価方法
 ①点検及び取替結果の評価
 ②劣化トレンドによる評価
 ③類似機器等のベンチマークによる評価
 ④研究成果等による評価

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事の計画の認可又は届出 対象工事又はその他主要工事)	インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	
1	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設設置工事	「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第53条に規定される特定重大事故等対処施設を設置する。	第16回定期事業者検査において、特定重大事故等対処施設を設置する。	
2	重大事故等対処設備 非常用電源設備	常設直流電源設備（3系統目）設置工事	「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第72条第2項に規定される常設の直流電源設備を設置する。	第16回定期事業者検査において、常設直流電源設備（3系統目）を設置する。	
3	重大事故等対処設備 緊急時対策棟	緊急時対策棟設置工事	「通達等の文書」	緊急時対策所機能について、現在運用中の代替緊急時対策所から緊急時対策所（緊急時対策棟内）に移行する。 上記に合わせて、竜巻防護対策の同軸として、既に適用しているたるみ巻取装置に加え、余長を有する同軸を新たな同軸装置として追加する。	第16回定期事業者検査において、緊急時対策棟を設置する。	
4	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 非常用ディーゼル発電機	非常用DG高エネルギーアーク損傷対策工事	「通達等の文書」	高エネルギーアーク放電による非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤の損傷の拡大を防止するために必要な措置を講じる。	第16回定期事業者検査において、非常用DG高エネルギーアーク損傷対策工事を実施する。	
5	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 海水ポンプ	海水ポンプ取替工事	「その他」	事故時におけるポンプ再起動時の信頼性向上を目的として、軸保護管及び軸受潤滑水供給設備が不要な無給水軸受を採用した海水ポンプへの取替を実施する。	第16回定期事業者検査において、無給水軸受を採用した海水ポンプへの取替を実施する。	GN3-121 2次系ポンプ分解検査 GN3-122 2次系ポンプ機能検査
6	原子炉本体 原子炉容器	原子炉容器出入口管台溶接部計画保全工事	「その他」	600系Ni基合金溶接部の1次冷却水中応力腐食割れ(PWSC)による国内の損傷事例を受け、予防保全として原子炉容器出入口管台溶接部の内面補修(690系Ni基合金化)工事を実施する。	第16回定期事業者検査において、原子炉容器出入口管台溶接部の内面補修(690系Ni基合金化)工事を実施する。	GN3-1 7731機器供用期間中検査 SA7732機器供用期間中検査
7	蒸気タービン附属設備 高pH運転対応設備	高pH運転対応設備導入	「その他」	蒸気発生器長期信頼性向上の観点から、蒸気発生器への鉄付込みを抑制する目的で、高pH運転を導入するための設備工事を実施する。	第16回定期事業者検査において、高pH運転を導入するための設備工事を実施する。	
8	計測制御系統施設 (その他設備) 原子炉安全保護計装盤等	原子炉安全保護計装盤等更新工事	その他	原子炉安全保護計装盤及び原子炉安全保護ロジック盤を保守向上の観点から、アナログ制御設備よりデジタル制御設備への更新を実施する。	第16回定期事業者検査において、原子炉安全保護計装盤及び原子炉安全保護ロジック盤の更新工事を実施する。	GN3-33 安全保護系機能検査 GN3-34 安全保護系設定値確認検査 GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
9	原子炉冷却系統施設 1次冷却材の循環設備	加圧器スプレイライン取替工事	「その他」	加圧器スプレイラインの一部に残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管を使用している箇所が存在することから、予防保全の観点より同一仕様(主要寸法、材料)の熱間曲げ管への取替を実施する。	第16回定期事業者検査において、加圧器スプレイラインのうち、残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管について、取替工事を実施する。	GN3-5 7732機器供用期間中検査 SA7732機器供用期間中検査
10	原子炉冷却系統施設 化学体積制御設備	充てん・抽出ライン取替工事	「その他」	充てんライン及び抽出ラインの一部に残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管を使用している箇所が存在することから、予防保全の観点より同一仕様(主要寸法、材料)の熱間曲げ管への取替を実施する。	第16回定期事業者検査において、充てん・抽出ラインのうち、残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管について、取替工事を実施する。	GN3-5 7732機器供用期間中検査 SA7732機器供用期間中検査
11	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) 遮断器	玄海3/4号機 母線保護盤取替工事	「その他」	予防保全の観点から、系統保護装置のうち母線保護盤の取替を実施する。	3号第16回定検において、母線保護盤の取替を実施する。	
12	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) 発電機	発電機変圧器保護盤更新工事	「その他」	既設の構成部品が製造中止となっているため、既設アナログ設備から、設備の信頼性向上を図るため、運用・保守性に優れたデジタル設備への更新を実施する。	3号第16回定検において、発電機変圧器保護盤の更新を実施する。	
13	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	1次系温度検出器修繕工事	「その他」	1次冷却材温度等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替を実施する。	3号第16回定検において、1次系温度検出器の取替を実施する。	
14	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	R C P S 伝送器修繕工事	「その他」	1次冷却材圧力等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替を実施する。	3号第16回定検において、R C P S 伝送器の取替を実施する。	GN3-34 安全保護系設定値確認検査 GN3-35 プラント状態監視設備機能検査
15	放射線管理施設 (放射線管理用計測装置) エリア・プロセスモニタ	放射線監視装置点検	「その他」	高感度主蒸気管モニタ等の放射線監視装置の検出器について、予防保全の観点から取替を実施する。	3号第16回定検において、エリア・プロセスモニタの検出器の取替を実施する。	GN3-77 放射線監視装置機能検査
16	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等) 低温再熱蒸気管	低温再熱蒸気管取替工事	「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替を実施する。	3号第16回定検において、減肉箇所の配管の取替を実施する。	GN3-127 2次系配管検査
17	計測制御系統施設 (その他設備) 炉外核計測装置	炉外中性子束検出器修繕工事	「その他」	炉外中性子束検出器(中性子源領域、中間領域、出力領域)について予防保全の観点から取替を実施する。	3号第16回定検において、炉外中性子束検出器の取替を実施する。	GN3-106 核計装設備検査
18	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 3A、3B 原子炉補機冷却水冷却器	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管取替	「その他」	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管について、予防保全の観点から非破壊検査(ECT)を行い、実施されている伝熱管、外面・内面減肉信号が確認された全ての伝熱管及び外面減肉の兆候が見られる伝熱管について取替を行う。	3号第16回定検において、実施されている伝熱管、外面・内面減肉信号が確認された全ての伝熱管及び外面減肉の兆候が見られる伝熱管について取替を実施する。	GN3-92 1次系熱交換器検査

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間：2020年5月1日～2021年8月31日)

項 目	目標値	実績値
計画外自動・手動トリップ回数	1回／7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回／7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF 回数評価対象期間: 2020年 5月 1日~2021年 8月31日, U/A時間評価対象期間: 2019年 2月1日~2021年 8月31日)

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFF 回数)		非符時間 (U/A時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1 冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	---
	安全弁及び逆がし弁の味止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	未燃炭素燃料機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	系統試験箇所以外 <240時間/2サイクル	系統試験箇所以外 0時間/2サイクル	---
	原子炉冷却材名内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
化学体積制御系統	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【高圧注入系】 A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル 【低圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	【高圧注入系】 A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル 【低圧注入系】 0時間/2サイクル/基	---
	未燃炭素燃料機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル	---
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル	---
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル	---
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉冷却材名内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル 【1号基停止薬品タンク】 <12時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル 【1号基停止薬品タンク】 0時間/2サイクル	---
放射除去系統	事故時のプラント状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル 【1号基停止薬品タンク】 <12時間/2サイクル	A トレーン 0時間/2サイクル B トレーン 0時間/2サイクル 【1号基停止薬品タンク】 0時間/2サイクル	---

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFE回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉補機冷排水系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接閉鎖系) (MS-2) 事故時のプラント状態の把握機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<2回/サイクル <2回/サイクル	0回/サイクル 0回/サイクル	---	---	
制御用空気系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <4時間/2サイクル B.トレイン <4時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	本線昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	炉心冷却機能、放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	燃料プールの水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	【燃料取扱設備用タンク】 0時間/2サイクル 【燃料貯留用タンク以外】 0時間/2サイクル	【燃料取扱設備用タンク】 0時間/2サイクル 【燃料貯留用タンク以外】 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉冷却炉圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射線物質を貯蔵する機能 (放射線物質を貯蔵する機能) (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取扱設備 (格納容器給排系統)	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接閉鎖系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (アニュラス等気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (排気筒)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <12時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (間接閉鎖系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
換気空調設備 (安全補機室冷排系)	炉心冷却機能 (直接閉鎖系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	本線昇降機機能 (直接閉鎖系) (MS-1) 原子炉停止後の除熱機能 (直接閉鎖系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	A.トレイン <240時間/2サイクル B.トレイン <240時間/2サイクル	A.トレイン 0時間/2サイクル B.トレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (燃料取扱設備給排系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接閉鎖系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFE回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全運転期間異常監視系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中間運転機空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (補助建屋換気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう線ポンプ室空調系)	本源界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (FS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クランプ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
燃料集合体及び燃料燃料棒貯蔵庫	炉心形状の維持機能 (FS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
原子炉格納容器	本源界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
1次系サブリング系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/弁 <240時間/2サイクル/エアロック	0時間/2サイクル/弁 0時間/2サイクル/エアロック	
	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう素濃度サブリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再沸器蒸気系統 (SG-高圧タービン)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <6時間/2サイクル/基 Bトレイン <6時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 <168時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】	【主蒸気安全弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】	
	異常状態の検知機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFE回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
給水系統 (HPH1~SG)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1) 異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【VA】補助給水ポンプ 0時間/2サイクル/基 【WB】補助給水ポンプAトレイ 0時間/2サイクル/基 【WB】補助給水ポンプBトレイ 0時間/2サイクル/基 【緊急タンク】 0時間/2サイクル/基	【VA】補助給水ポンプ 0時間/2サイクル/基 【WB】補助給水ポンプAトレイ 0時間/2サイクル/基 【WB】補助給水ポンプBトレイ 0時間/2サイクル/基 【緊急タンク】 0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<168時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
SGプロペラファン及びサンプリング系統	事故時のファン状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
主回路結線図 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用系統) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主回路結線図 (R/C/C)	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
計測用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電圧の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【整流器】 0時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【整流器】 0時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
電線用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
炉内保護・計量設備	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
制御棒移動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒移動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒移動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御棒移動装置 (電気系)	事故時のファン状態の把握機能 (RAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トレイ	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トレイ	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル/トレイ	0時間/2サイクル/トレイ	

システム名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFR回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
ディーゼル発電機始動用空気系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃費油系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の燃費油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な閉鎖機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ <240時間/2サイクル Bトレイ <240時間/2サイクル	Aトレイ 0時間/00分/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	
気体乗物処理系統	原子炉冷却材圧力パワングリに直接接続されていないものであって、放射能除灰を貯蔵する機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイ 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <60時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (1分間)	【原子炉保護系論理回路】 0時間/2サイクル/トレイ 【原子炉保護系信号部】 0時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <60時間/2サイクル/チャンネル) 0時間/2サイクル/チャンネル (1分間)	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイ 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) 【アイー0】 <60時間/2サイクル/チャンネル (信号発信) 【アイー1】 <60時間/2サイクル/チャンネル (信号発信) 【中央制御室非常用保護系作動論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	【工学的安全施設等作動論理回路】 0時間/2サイクル/トレイ 【工学的安全施設等作動信号部】 0時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) 【アイー0】 0時間/2サイクル/チャンネル (信号発信) 【アイー1】 0時間/2サイクル/チャンネル (信号発信) 【中央制御室非常用保護系作動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (0M機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (0M機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
中央制御室重要時間調整	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル			
原子炉内辺検出	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (フェニクス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			
原子炉補助建屋	安全上特に重要な閉鎖機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			
海水除設備	安全上特に重要な閉鎖機能 (海水供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル			

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFE回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対応設備	緊急停止吹出し時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉中ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	原子炉中ポンプ 0時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 0時間/2サイクル	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	代替炉心注入 (D基てんポンプ(自己冷却)) <720時間/2サイクル (可搬型炉心注入 装置)の炉心注入ポンプ <240時間/2サイクル 代替炉心注入ポンプ (D格納容器スプレイポンプ) <72時間/2サイクル	炉心注入 代替炉心注入 (D基てんポンプ(自己冷却)) 0時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型炉心注入 装置)の炉心注入ポンプ <240時間/2サイクル 代替炉心注入ポンプ (D格納容器スプレイポンプ) 0時間/2サイクル	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	原子炉格納容器スプレイ 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容積ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替補機冷却 <720時間/2サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 0時間/2サイクル 移動式大容積ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替補機冷却 0時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	--	--	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	水素濃度低減<0時間/2サイクル 水素濃度監視<0時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉周辺建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	使用済燃料ホットの冷却等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	--	--	
	発電炉外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の発生に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ 復水タンク(ヒート)補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取扱用タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ 復水タンク(ヒート)補給用水中ポンプ 0時間/2サイクル 燃料取扱用タンク、復水タンク 0時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対応用変圧器受電盤 <240時間/2サイクル 燃料貯蔵タンクローリー <48時間/2サイクル	電源設備 0時間/2サイクル 重大事故等対応用変圧器受電盤 0時間/2サイクル 燃料貯蔵タンクローリー 0時間/2サイクル	
	制御設備	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル 燃料設備	0時間/2サイクル 燃料設備	
中央制御室	<1回/サイクル	0回/サイクル	中央制御室非常用電源系 (可搬型照明、燃焼監視計、酸化炭素濃度計) <240時間/2サイクル	中央制御室非常用電源系 (可搬型照明、燃焼監視計、酸化炭素濃度計) 0時間/2サイクル		

系統名	要求機能	予防可能回数 (MPFE回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対策設備	監視測定設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	緊急時対策所 (代替緊急時対策所) (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	代替電源からの発電 <720時間/2サイクル 居住性の確保 <240時間/2サイクル 代替緊急時対策所エリアモータ	代替電源からの発電 0時間/2サイクル 居住性の確保 0時間/2サイクル 代替緊急時対策所エリアモータ	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	その他の設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし